

鳥取市  
後期高齢者の質問票等のデータ入力  
及び分析業務結果報告書

令和5年3月

鳥取県国民健康保険団体連合会  
(健康・医療データ分析センター)



I	はじめに	3
	➤ 目的	
	➤ 実施方法	
	➤ 回答状況	
	➤ 共通事項	
II	集計結果（全体）	8
III	体と心の健康状態について（全体・圏域）	30
IV	食習慣・口腔機能について（全体・圏域）	43
V	運動・転倒について（全体・圏域）	46
VI	認知機能について（全体・圏域）	48
VII	社会参加等について（全体・圏域）	50
VIII	総評	59

# I はじめに

## 1 目的

後期高齢者を対象に鳥取市が実施した介護予防アンケートをデータ化し、市全体や圏域ごとに分析を行うことで、優先的に介入すべき介護予防に関する圏域の選定の根拠とする資料を作成する。

また、後期高齢者の質問票に該当する項目を国保データベース（KDB）システムへ登録することにより一元的にデータ管理するほか、第9期介護保険事業・高齢者福祉計画策定のための資料として活用することを目的とする。

## 2 実施方法

### 【対象者】

鳥取市内在住の75歳以上の方（令和4年9月1日時点）で、要介護認定を受けていない方（20,099人）

### 【配布・回収】

アンケート用紙を郵送にて配布し、返信用封筒で郵送してもらう。

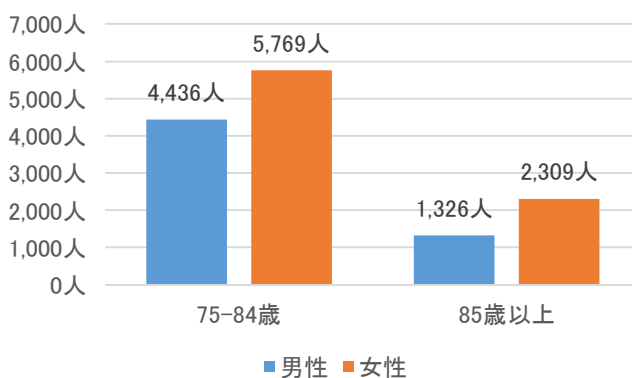
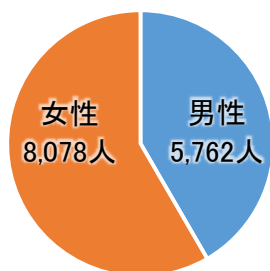
### 【アンケート期間】

令和4年11月30日から令和4年12月16日

## 3 回答状況

13,849人（うち、男性5,762人、女性8,078人、未回答9人）

回答率 69.2%



## 4 共通事項

### 【未回答の取り扱い】

原則、未回答は除いて集計する。

未回答には、読み取り不可の場合も含む。

## 5 質問ごとの回答状況

1. あなたの現在の健康状態はいかがですか

回答： 13,673 未回答・不明： 176 回答率： 98.73%

2. 毎日の生活に満足していますか

回答： 13,620 未回答・不明： 229 回答率： 98.35%

3. 1日3食きちんと食べていますか

回答： 13,556 未回答・不明： 293 回答率： 97.88%

4. 半年前に比べて固いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか

回答： 13,684 未回答・不明： 165 回答率： 98.81%

5. お茶や汁物等でむせることがありますか

回答： 13,655 未回答・不明： 194 回答率： 98.60%

6. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

回答： 13,553 未回答・不明： 296 回答率： 97.86%

7. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか

回答： 13,613 未回答・不明： 236 回答率： 98.30%

8. この1年間に転んだことがありますか

回答： 13,582 未回答・不明： 267 回答率： 98.07%

9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか

回答： 13,553 未回答・不明： 296 回答率： 97.86%

10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか

回答： 13,636 未回答・不明： 213 回答率： 98.46%

11. 今日が何月何日かわからない時がありますか

回答： 13,619 未回答・不明： 230 回答率： 98.34%

12. あなたはたばこを吸いますか

回答： 13,694 未回答・不明： 155 回答率： 98.88%

13. 週に1回以上は外出していますか

回答： 13,638 未回答・不明： 211 回答率： 98.48%

14. ふだんから家族や友人と付き合いがありますか

回答： 13,622 未回答・不明： 227 回答率： 98.36%

15. 体調が悪い時に、身近に相談できる人がいますか

回答： 13,463 未回答・不明： 386 回答率： 97.21%

16. 身長と体重を教えてください。（おおよそで構いませんので、数字をご記入ください）

【身長】 回答： 13,484 未回答・不明： 365 回答率： 97.36%

【体重】 回答： 13,503 未回答・不明： 346 回答率： 97.50%

※身長・体重の「未回答・不明」には、「XXX～XXX」のような記載を含む。（集計不可のため）

# I はじめに

17. 次の食べ物をどのくらいの頻度で食べていますか。該当する回答1つに○をしてください。

(1) 炭水化物(米、パン、イモ類)

回答： 13,721 未回答・不明： 128 回答率： 99.08%

(2) たんぱく質(肉類、魚介類、卵、牛乳、乳製品、大豆製品)

回答： 13,705 未回答・不明： 144 回答率： 98.96%

(3) 野菜・果物

回答： 13,698 未回答・不明： 151 回答率： 98.91%

18. 現在、あなたは年に1回程度、健診を受診していますか。どちらか1つに○をしてください。

回答： 13,310 未回答・不明： 539 回答率： 96.11%

19. あなたは現在、次のような病気や病気の後遺症をお持ちですか。

該当するものすべてに○をしてください。

回答： 13,414 未回答・不明： 435 回答率： 96.86%

20. 現在、あなたはどれくらいの頻度で外出していますか。

(買い物、趣味の活動、病院受診、畑仕事など) 該当する回答1つに○をしてください。

回答： 12,862 未回答・不明： 987 回答率： 92.87%

21. 次のような集まりに、どのくらいの頻度で参加していますか。

それぞれの集まりで、該当する回答1つに○をしてください。

(1) 介護予防・認知症予防・健康づくりを目的とした集まり(体操、軽い運動、脳トレ等)

この1年間 回答： 12,208 未回答・不明： 1,641 回答率： 88.15%

コロナ前の1年間 回答： 11,009 未回答・不明： 2,840 回答率： 79.49%

(2) スポーツをするための集まり(上記(1)以外)

この1年間 回答： 11,987 未回答・不明： 1,862 回答率： 86.55%

コロナ前の1年間 回答： 10,899 未回答・不明： 2,950 回答率： 78.70%

(3) 趣味活動や学習・教養のための集まり

この1年間 回答： 12,150 未回答・不明： 1,699 回答率： 87.73%

コロナ前の1年間 回答： 11,053 未回答・不明： 2,796 回答率： 79.81%

(4) ボランティアや地域・社会貢献活動のための集まり(町内会での活動も含む)

この1年間 回答： 12,105 未回答・不明： 1,744 回答率： 87.41%

コロナ前の1年間 回答： 11,068 未回答・不明： 2,781 回答率： 79.92%

(5) (1)～(4)以外の住民同士の交流を主目的とした集まり(サロン、コミュニティカフェ等)

この1年間 回答： 11,954 未回答・不明： 1,895 回答率： 86.32%

コロナ前の1年間 回答： 11,215 未回答・不明： 2,634 回答率： 80.98%

22. 経済状況について、それぞれの質問で、該当する回答1つに○をしてください。

(1) 現在、あなたはどれくらいの頻度で収入のある仕事をしていますか

回答： 13,300 未回答・不明： 549 回答率： 96.04%

(2) 現在の暮らしの状況を、経済的にみてどう感じていますか

回答： 13,416 未回答・不明： 433 回答率： 96.87%

# I はじめに

23. 以下の質問について、該当する回答1つに○をしてください。

(1) あなたは、近所の人とどの程度のつきあいがありますか

回答： 13,450 未回答・不明： 399 回答率： 97.12%

(2) 自分は他の人達から取り残されていると感じることはありますか

回答： 13,255 未回答・不明： 594 回答率： 95.71%

24. 現在、どの程度幸せですか。「とても不幸せ」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数1つに○をしてください。

回答： 13,313 未回答・不明： 536 回答率： 96.13%

25. インターネットに関連することについて、それぞれの質問で、該当する回答1つに○をしてください

(1) あなたはスマートフォンやパソコンを使用して、インターネットやSNSを利用していますか

回答： 13,596 未回答・不明： 253 回答率： 98.17%

(2) 同居家族で、スマートフォンやパソコンを使用している方はいますか

回答： 12,868 未回答・不明： 981 回答率： 92.92%

※選択肢にある「3. 不明」は、回答有りとして計上。

26. ご家族について、それぞれの質問で、該当する回答1つに○をしてください。

(1) あなたは現在、一緒に住んでいる（敷地内に住んでいる）方はいますか

回答： 13,637 未回答・不明： 212 回答率： 98.47%

(2) 現在、配偶者はいますか（内縁関係、事実婚含む）

回答： 13,500 未回答・不明： 349 回答率： 97.48%

27. 認知症について、それぞれの質問で、該当する回答1つに○をしてください。

(1) 自分が認知症でないかと不安に思うことがありますか

回答： 13,539 未回答・不明： 310 回答率： 97.76%

(2) 認知症について相談できる人がいますか

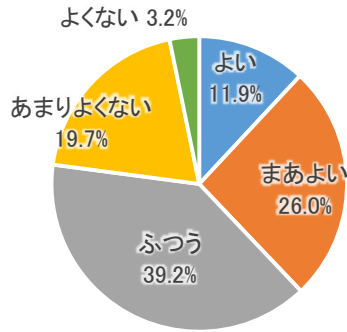
回答： 12,668 未回答・不明： 1,181 回答率： 91.47%

※「未回答・不明」は、記載がなかったものや不明瞭でデータ化できなかったものを集計。



## Ⅱ 集計結果（全体）

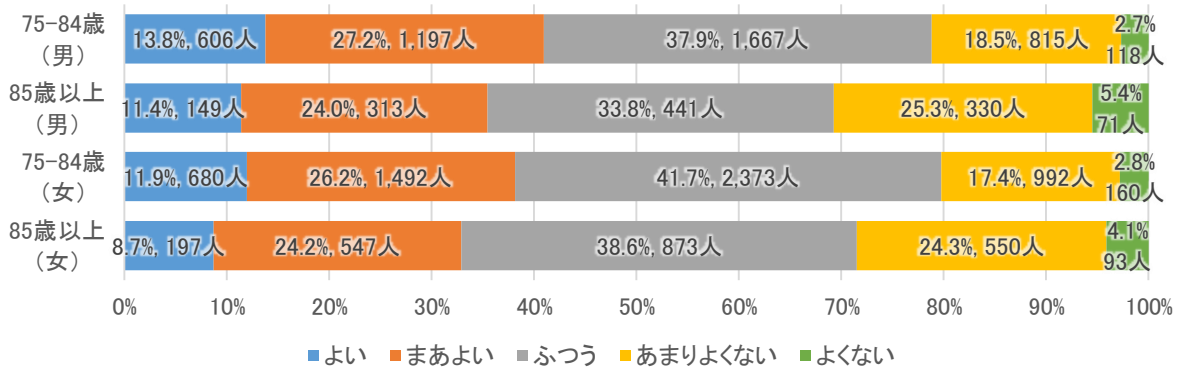
### 1. あなたの現在の健康状態はいかがですか



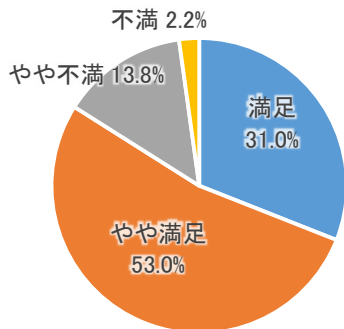
「よい」又は「まあよい」と回答した人の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

また、男女とも84歳以下よりも85歳以上の年代の方が割合が低くなっている。

一方で、「よくない」又は「あまりよくない」と回答した人の割合も、女性より男性の方が高くなっている。

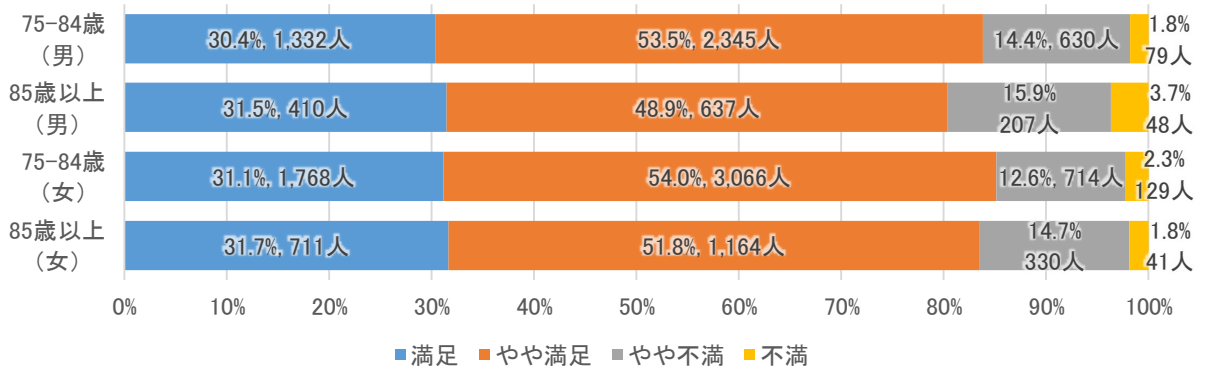


### 2. 毎日の生活に満足していますか



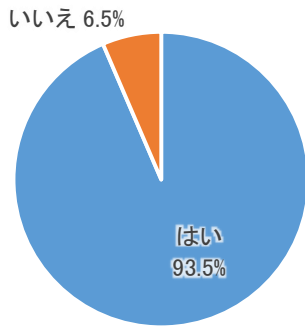
全体の84%は「満足」「やや満足」と回答している。

性別による差はあまり見られないが、85歳以上の年代の方が、「やや不満」「不満」と回答する割合が高くなっている。

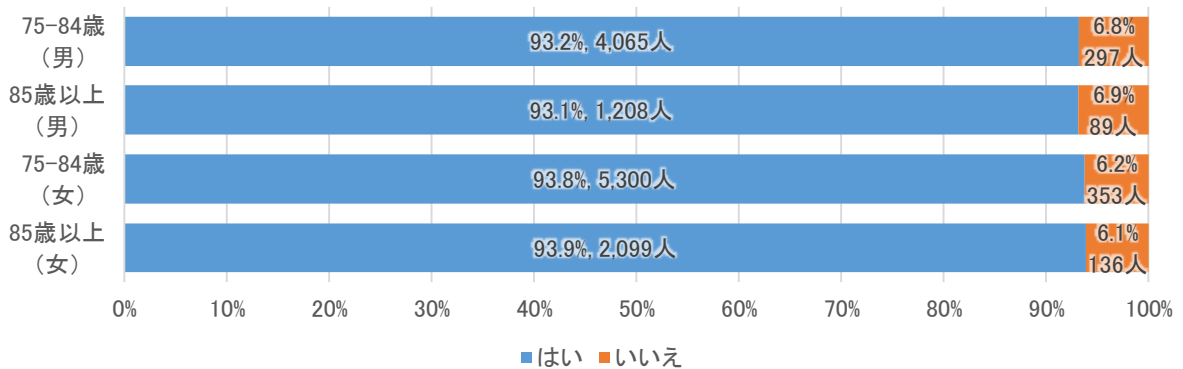


## Ⅱ 集計結果（全体）

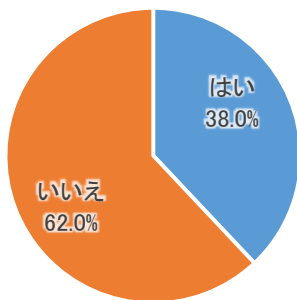
### 3. 1日3食きちんと食べていますか



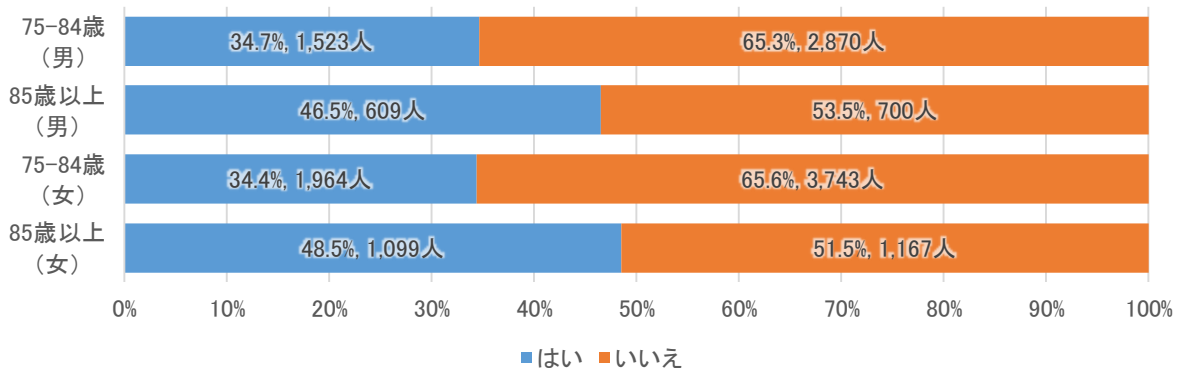
90%以上の方が3食きちんと食べていると回答している。  
年齢・性別による差も見られない。



### 4. 半年前に比べて固いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか

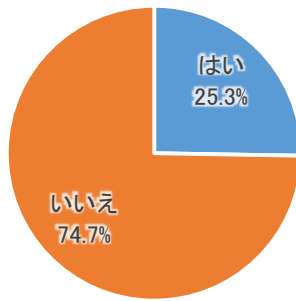


全体では4割近くの方が「はい」と回答している。  
性別による差はあまり見られないが、男女とも84歳以下では約35%であるのに対して、85歳以上では45%を超える割合で「はい」と回答している。

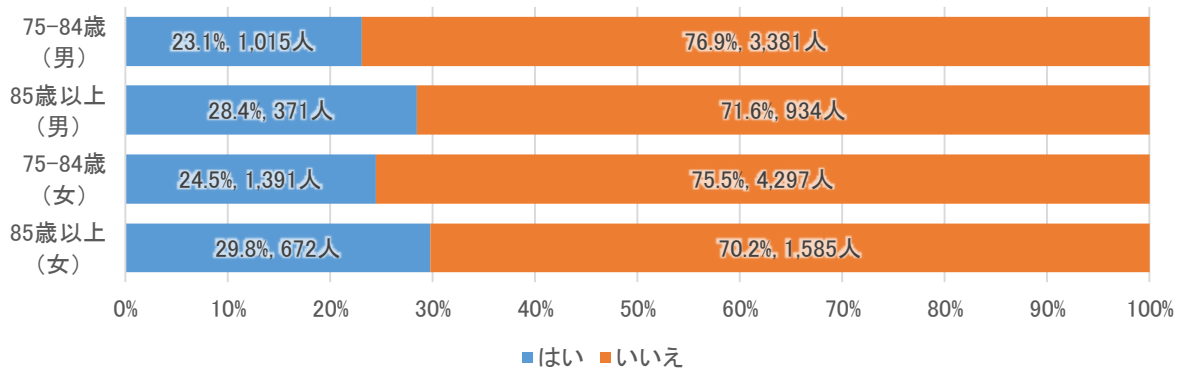


## Ⅱ 集計結果（全体）

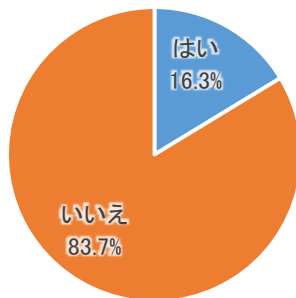
### 5. お茶や汁物などでむせることがありますか



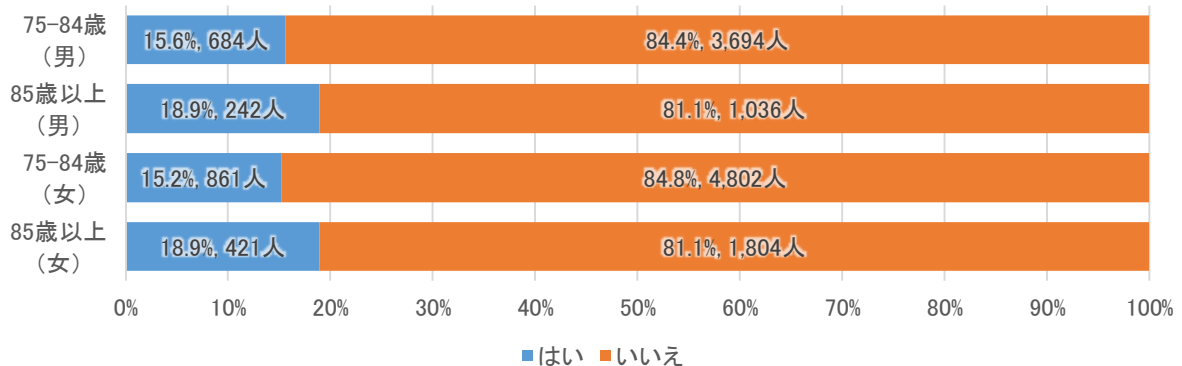
全体の4分の1が「はい」と回答している。  
性別による差はあまり見られないが、男女とも「はい」と回答する割合が、84歳以下よりも85歳以上の方が5ポイント高い。



### 6. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

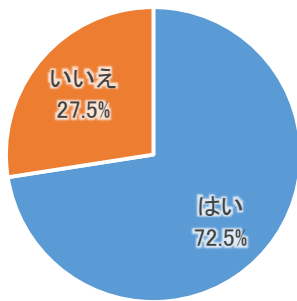


「はい」と回答した人の割合は、全体の約15%となっている。  
性別による差はあまり見られないが、男女とも84歳以下より85歳以上の方がやや「はい」と回答する割合が高くなっている。

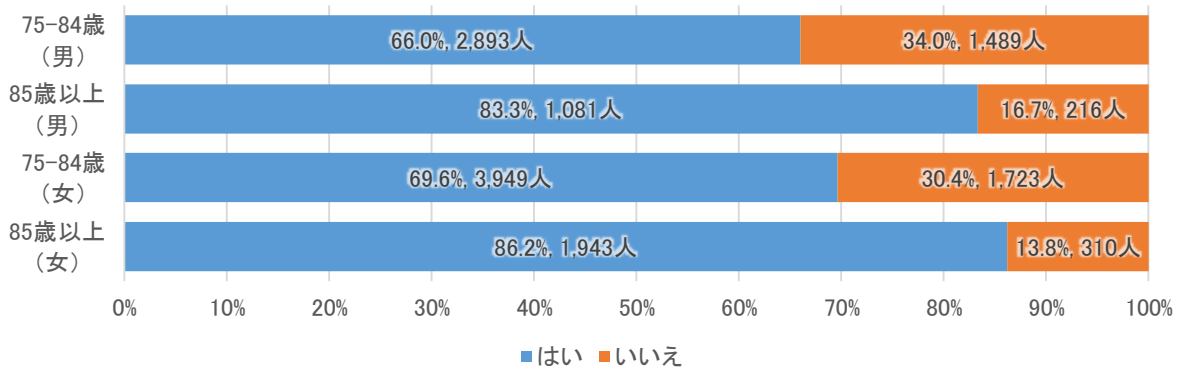


## Ⅱ 集計結果（全体）

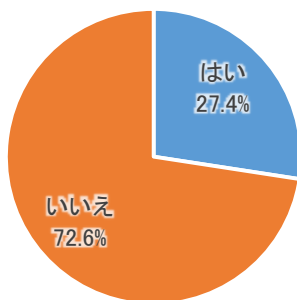
### 7. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか



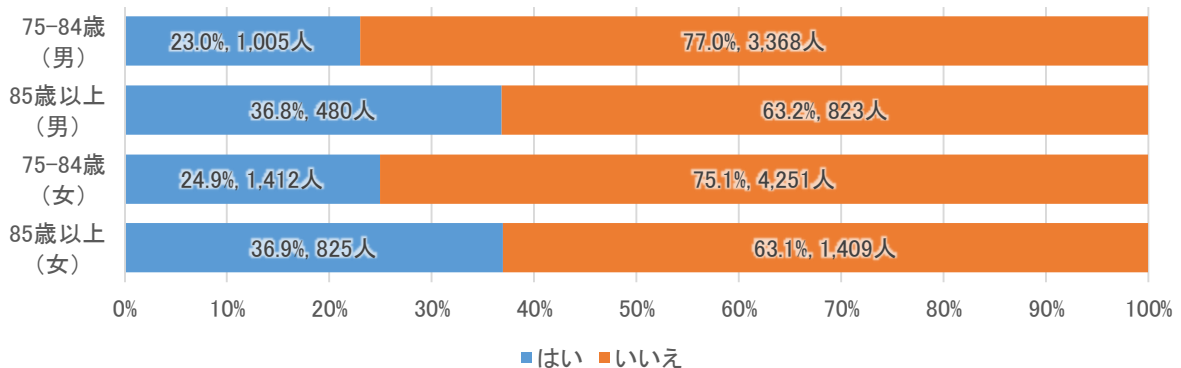
全体では7割以上が遅くなってきたと感じている。  
性別で比較すると、男性よりも女性の方がややその割合が高くなっている。  
年代別にみると、男女とも84歳以下より85歳以上の方が17ポイント高い。



### 8. この1年間に転んだことがありますか

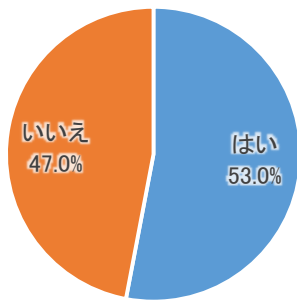


全体の3割近くが、この1年間に転倒した経験があると回答している。  
性別による差はあまり見られないが、男女とも84歳以下より85歳以上の方で転倒経験のある割合が10ポイント以上高い。

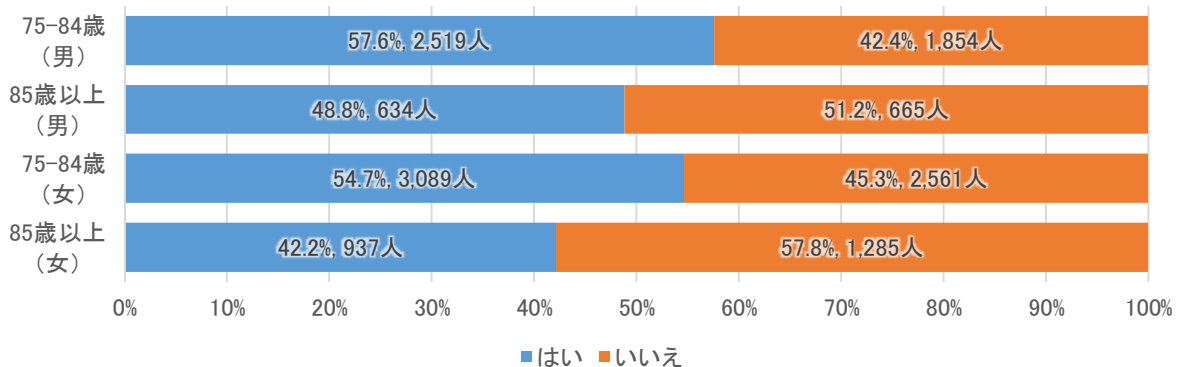


## Ⅱ 集計結果（全体）

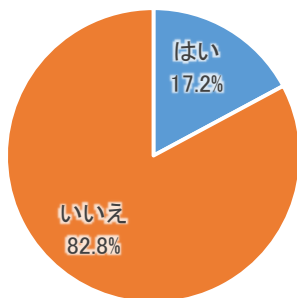
### 9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか



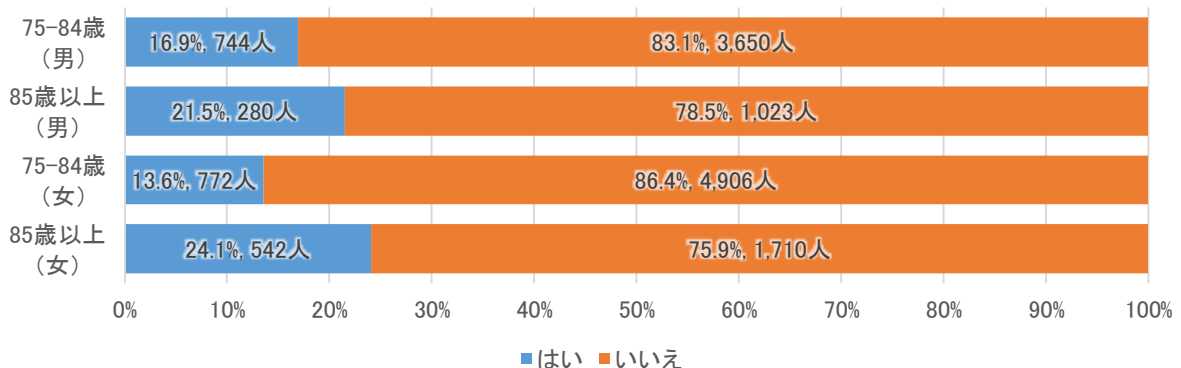
全体の半数以上が「はい」と回答している。  
女性より男性の方が「はい」と回答する割合が高く、  
年代が上るとその差が広がっていることから、加齢とともに女性は男性より運動機会が減少するものと思われる。



### 10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか

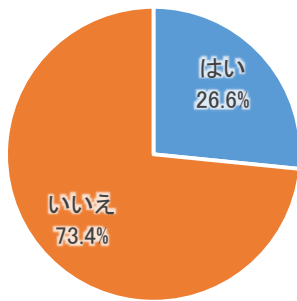


「はい」と回答したのは全体の2割以下となっている。  
84歳以下では男性の方がやや割合が高くなっているが、85歳以上では女性の方がやや高くなっている。

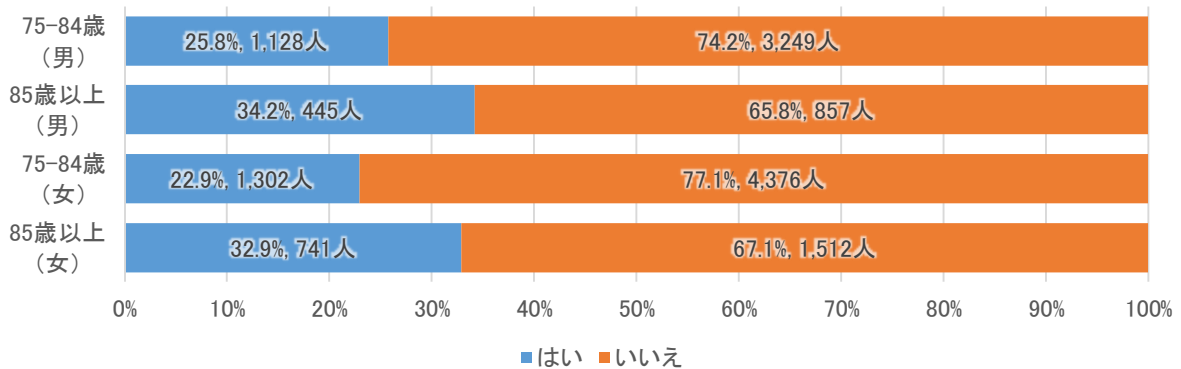


## Ⅱ 集計結果（全体）

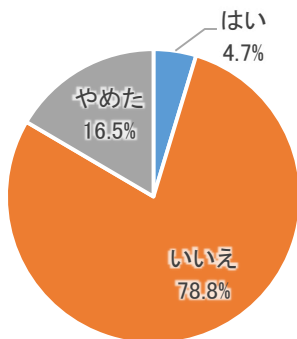
### 11. 今日が何月何日かわからない時がありますか



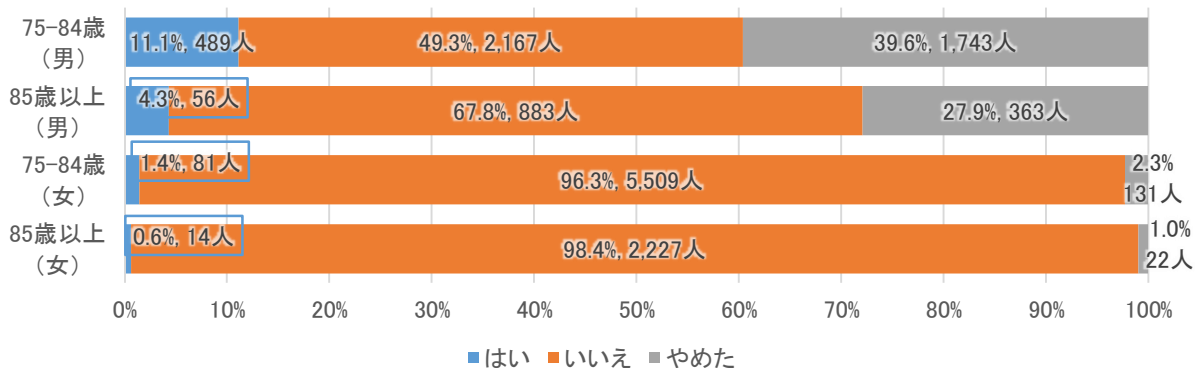
全体の4分の1程度の方が「はい」と回答している。性別による差はあまり見られないが、男女とも84歳以下より85歳以上の方が10ポイント程度高い。



### 12. あなたはたばこを吸いますか

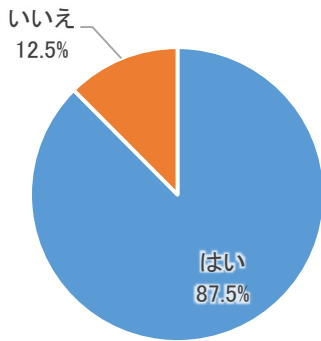


全体の5%程度が現在もたばこを吸っており、16%程度が「やめた」と回答している。女性よりも男性の方が「はい」又は「やめた」と回答している割合が非常に高くなっている。男女とも、「いいえ」と回答する割合が84歳以下より85歳以上で高くなっている。



## Ⅱ 集計結果（全体）

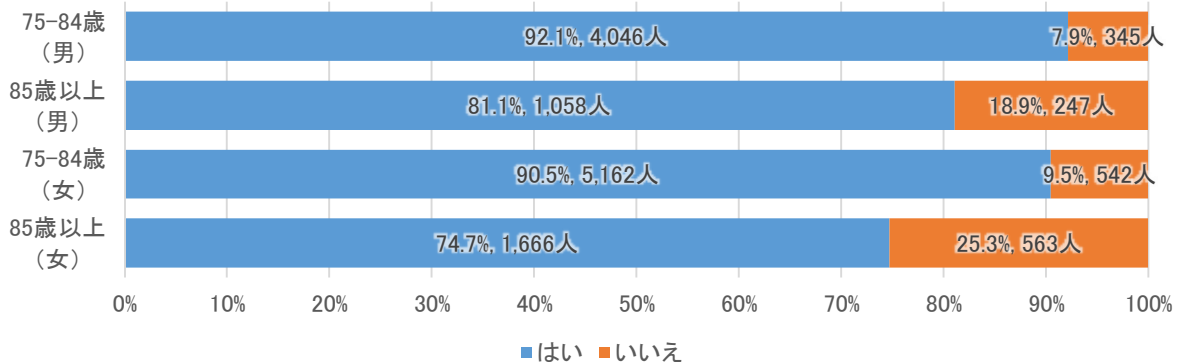
### 13. 週に1回以上は外出していますか



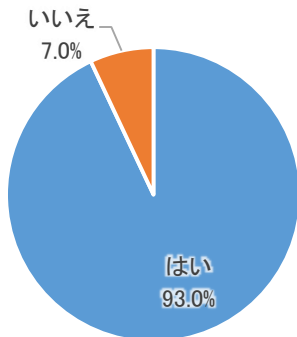
全体の1割強の人が、週に1回も外出していないと回答している。

年齢で見ると、84歳以下より85歳以上で外出しない人の割合が高くなっている。

また、84歳以下では性別による差はあまり見られないが、85歳以上では男性より女性の方が外出しない傾向が高くみられる。

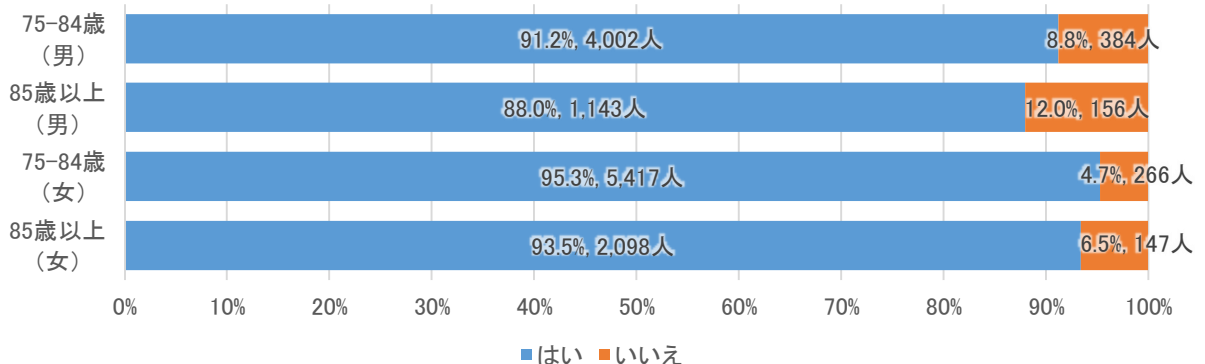


### 14. ふだんから家族や友人と付き合いがありますか



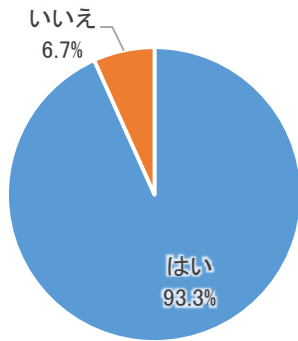
全体で見ると、9割以上が付き合いがあると回答している。

男女とも年齢が上がる方が「いいえ」と回答する割合が高くなっており、特に男性で顕著になっている。

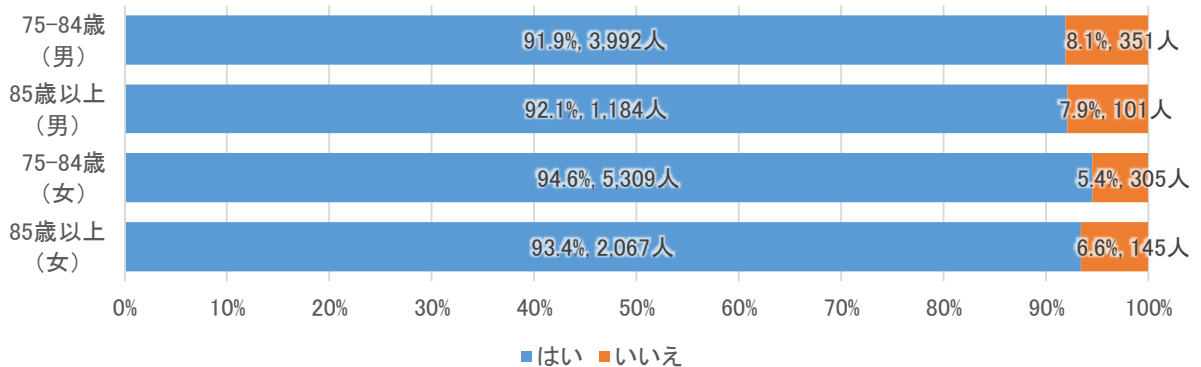


## Ⅱ 集計結果（全体）

### 15. 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか

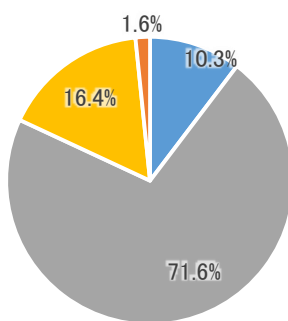


9割以上の方が「はい」と回答している。  
年齢・性別による差はほぼ見られない。

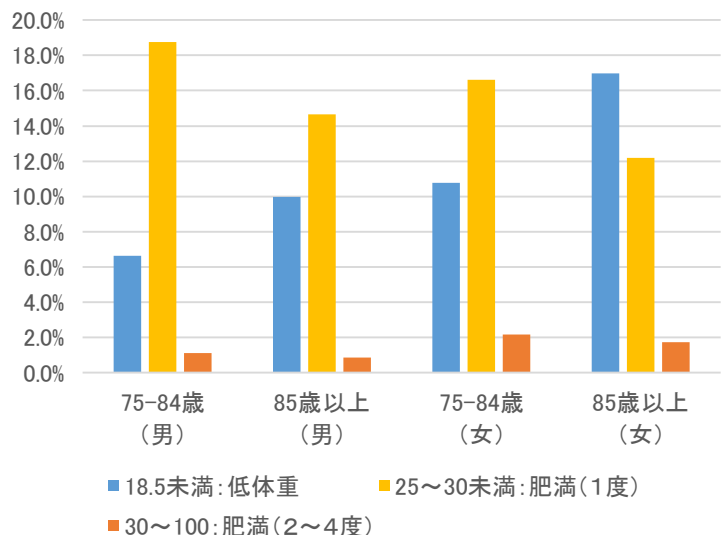


### 16. 身長と体重を教えてください（BMIとして集計）

7割以上の方が「普通体重」となっている。  
「低体重」になるのは、男性より女性が、84歳以下より85歳以上が、高くなる傾向にある。  
「肥満（1度）」では、女性より男性の方が高い傾向にある。



- 18.5未満: 低体重
- 18.5~25未満: 普通体重
- 25~30未満: 肥満(1度)
- 30~100: 肥満(2~4度)



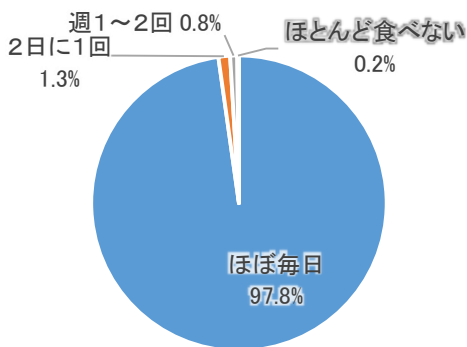
※棒グラフは「普通体重」を除いて作成



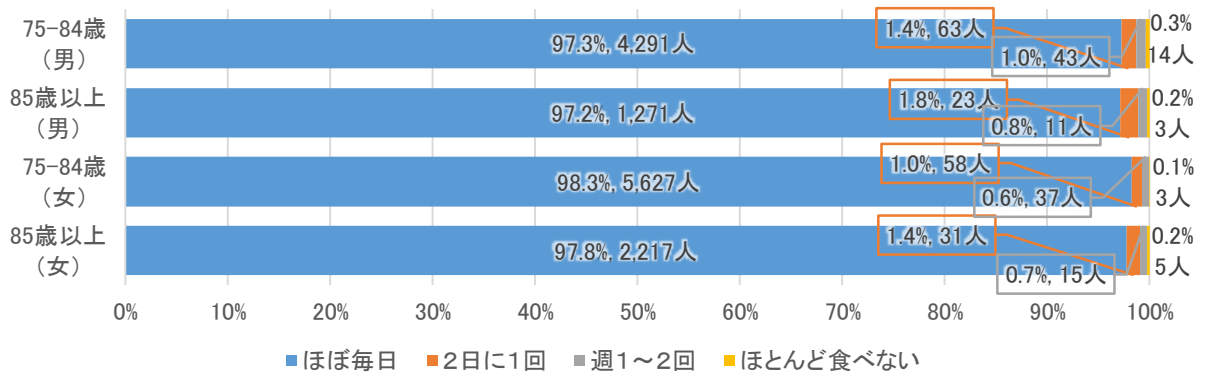
## Ⅱ 集計結果（全体）

### 17. 次の食べ物をどのくらいの頻度で食べていますか。（1つ選択）

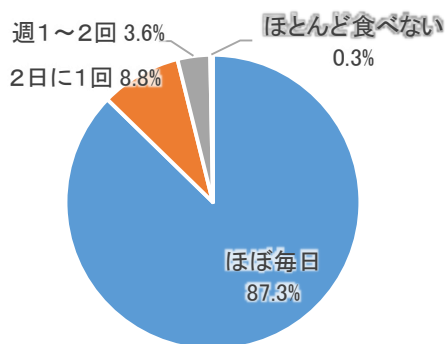
#### （1）炭水化物（米、パン、イモ類）



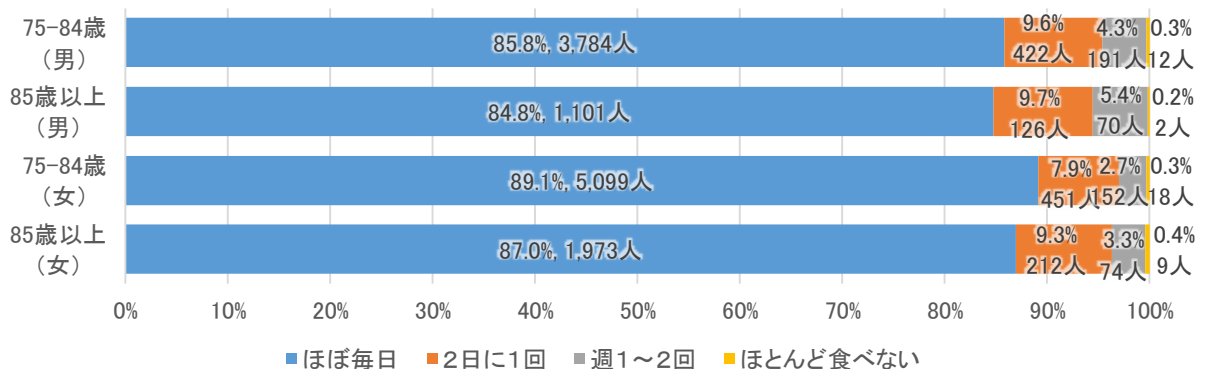
ほぼすべての人が、ほぼ毎日炭水化物を食べている。  
年齢・性別による差も見られない。



#### （2）たんぱく質類（肉類、魚介類、卵、牛乳、乳製品、大豆製品）

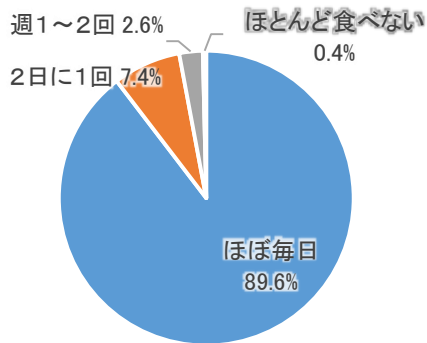


全体の9割弱が、たんぱく質をほぼ毎日食べている。  
年齢・性別による差もあまり見られないが、女性の方が「ほぼ毎日」と回答する人の割合がやや高くなる傾向にある。

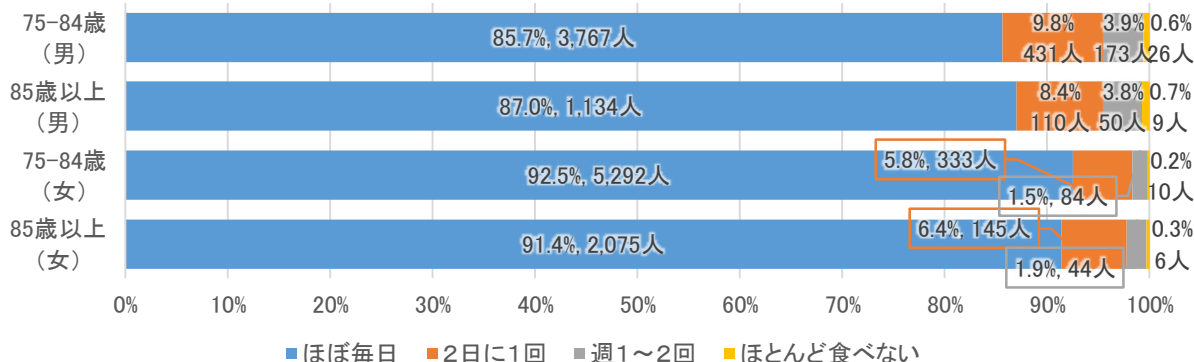


## Ⅱ 集計結果（全体）

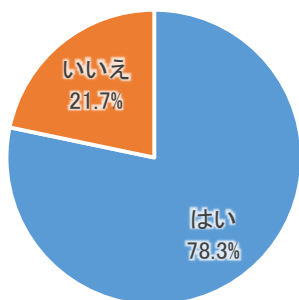
### （3）野菜・果物



全体の約9割が「ほぼ毎日」と回答している。  
男性より女性の方が野菜や果物を食べている割合が高く、女性は「ほぼ毎日」の回答が9割を超えている。



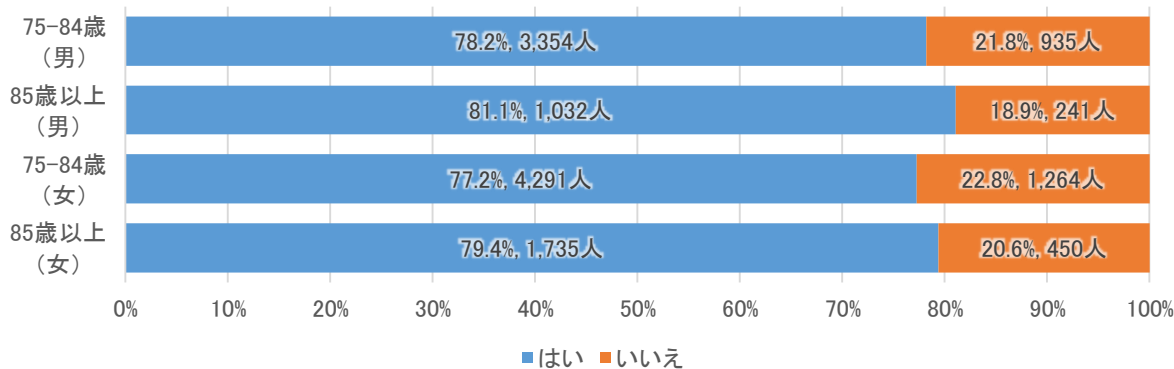
### 18. あなたは年に1回程度、健診を受診していますか。



全体の8割弱が年に1回程度、健診を受診していると回答している。

年齢・性別による差はあまり見られないが、男女とも85歳以上で受診している人の割合がやや高くなっている。

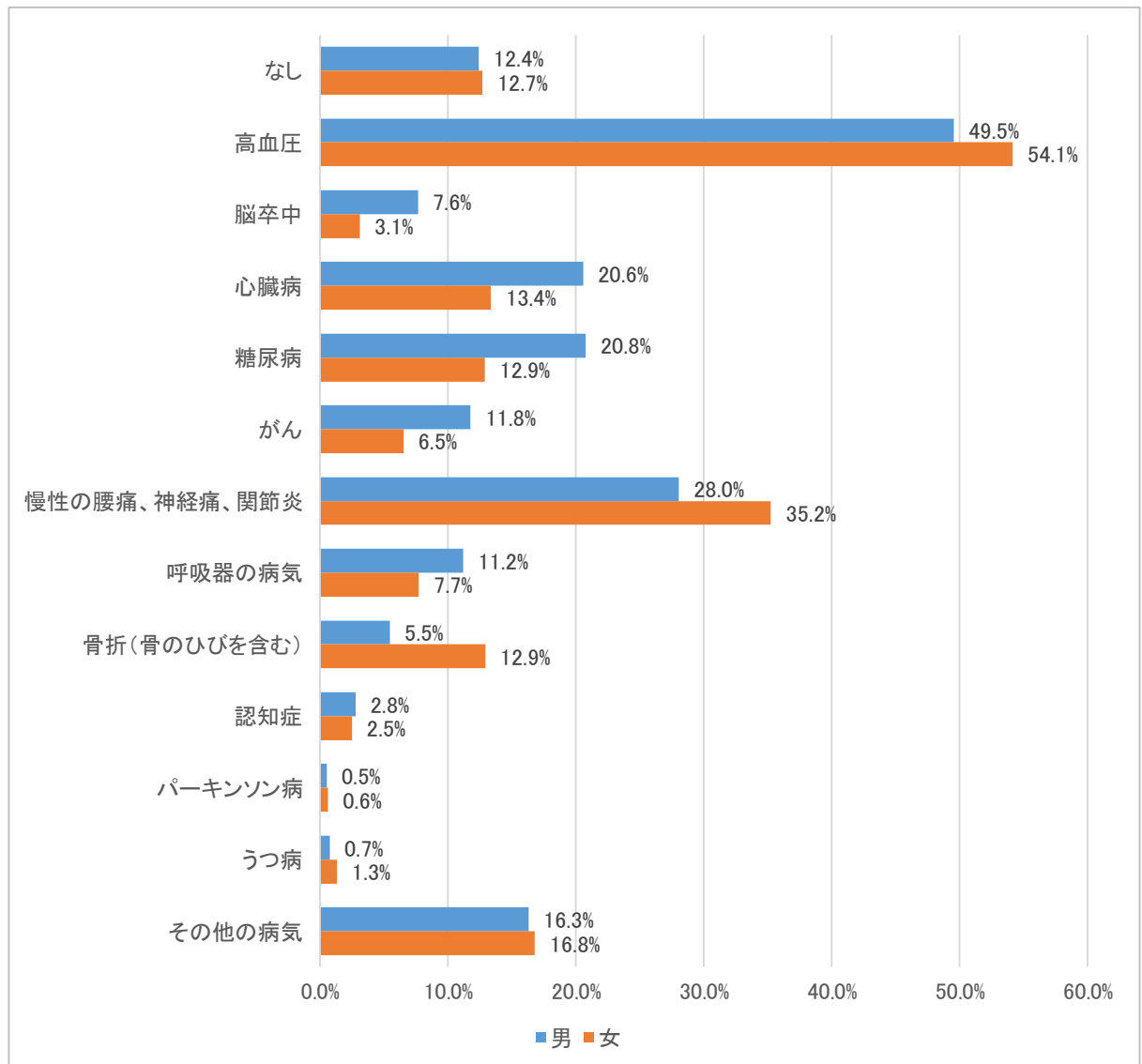
なお、鳥取市の高齢者健診受診率は20.5%（R3年度・KDBシステム「地域の全体像の把握」より）となっており、本人の認識と実際の受診状況が乖離している可能性がある。



## Ⅱ 集計結果（全体）

19. あなたは現在、次のような病気や病気の後遺症をお持ちですか。該当するものすべてに○をしてください。

男女とも、約半数が「高血圧」と回答しており最も高くなっている。  
「慢性の腰痛、神経痛、関節炎」や「骨折」と回答する割合は男性より女性の方が高く、逆に「脳卒中」「心臓病」「糖尿病」と回答した人の割合は男性の方が高い。



※未回答を除く回答者（男性5,613人・女性7,794人）に対するそれぞれの割合。

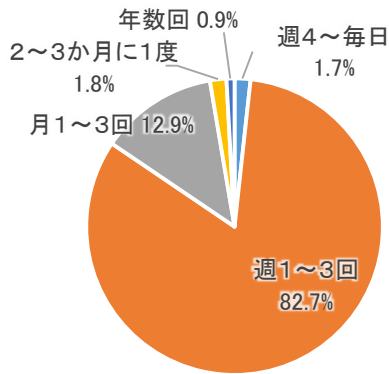
「高血圧又は糖尿病」のいずれかに該当する者と、「脳卒中又は心臓病」のいずれかに該当する者の、人数と割合

	男		女	
	人数	割合	人数	割合
高血圧・糖尿病	3,306人	58.9%	4,591人	58.9%
脳卒中・心臓病	1,472人	26.2%	1,238人	15.9%

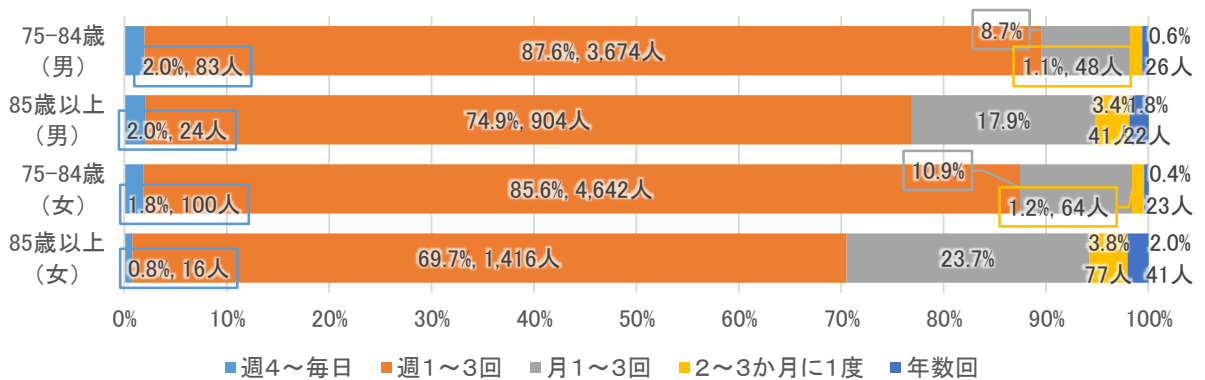
※未回答を除く回答者（男性5,613人・女性7,794人）に対するそれぞれの割合。

## Ⅱ 集計結果（全体）

20. 現在、あなたはどれくらいの頻度で外出していますか。（買い物、趣味の活動、病院受診、畑仕事など）該当する回答1つに○をしてください。



週に1回以上外出していると回答した割合は、全体で84.4%となっている。年齢・性別で見ると、年齢の高い方が外出機会が少なく、男性より女性の方が外出機会が少ない。



※「週4～毎日」は元々選択肢になかったが、アンケートの回答に手書きで記載されていることが多かったため、分けて集計したもの。

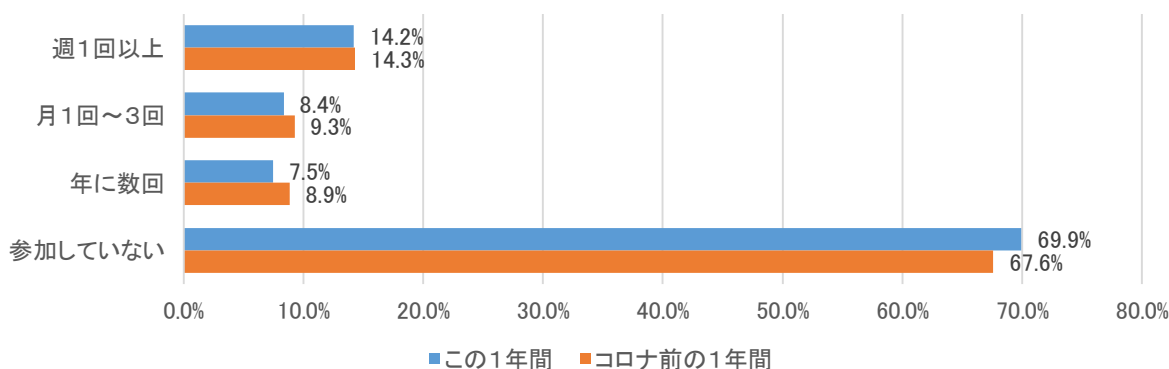
## Ⅱ 集計結果（全体）

21. 次のような集まりに、どのくらいの頻度で参加していますか。それぞれの集まりで、該当する回答1つに○をしてください。

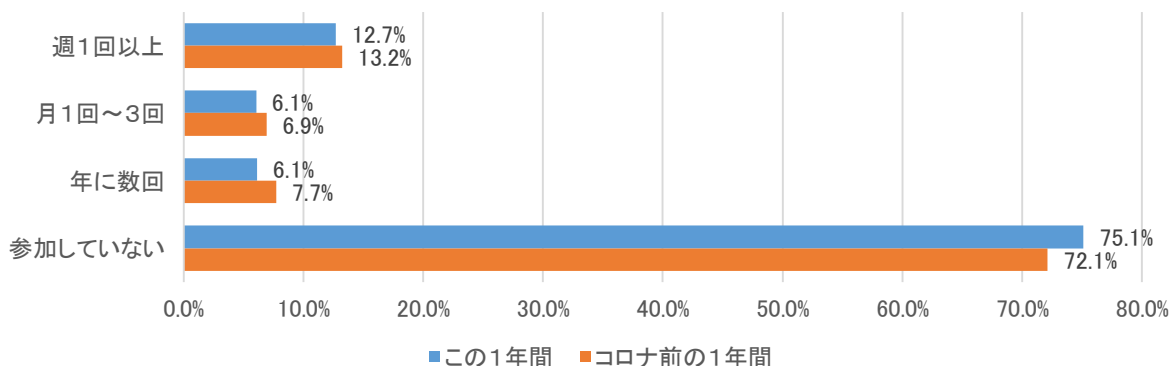
いずれの集まりも、コロナ前の1年間よりこの1年間の方が「参加していない」と回答する人の割合が高くなっている。

「週1回以上」と回答している人は、「月1～3回」「年に数回」と回答している人よりも、減少の幅が小さく、（5）では逆に0.1ポイント微増となっている。

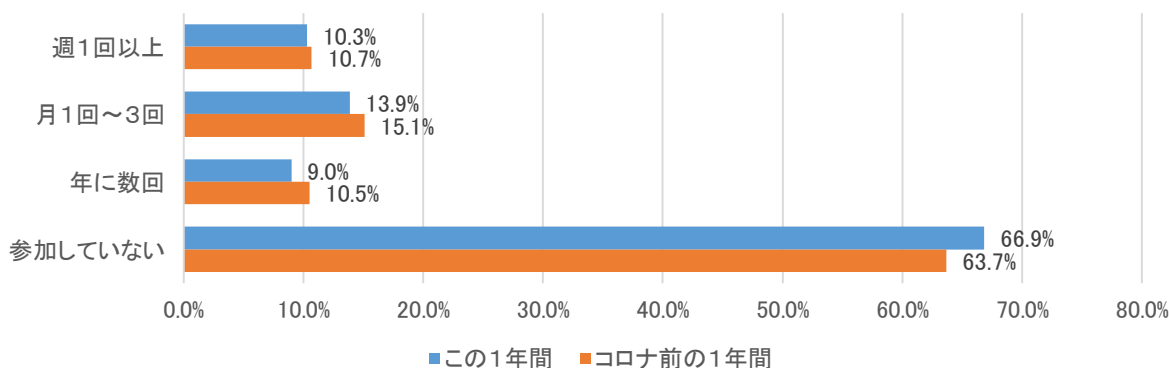
### （1）介護予防・認知症予防・健康づくりを目的とした集まり （体操、軽い運動、脳トレ等）



### （2）スポーツをするための集まり（上記（1）以外）

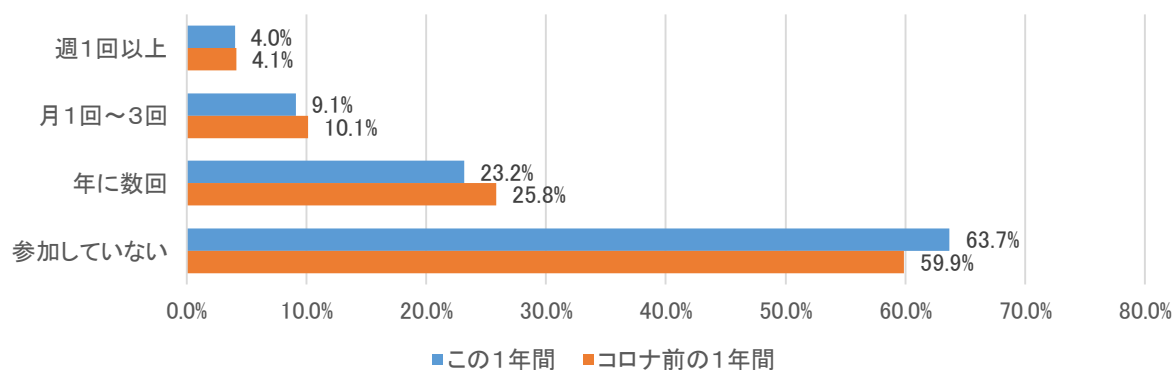


### （3）趣味活動や学習・教養のための集まり

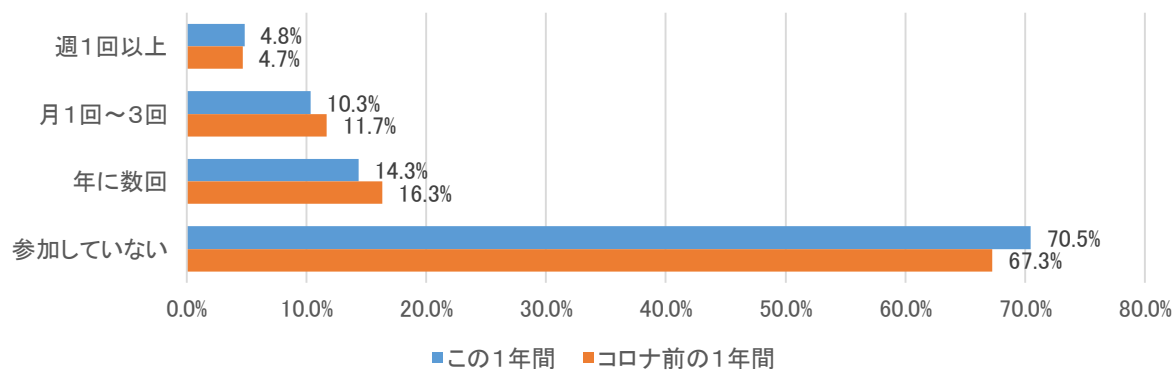


## Ⅱ 集計結果（全体）

### （４）ボランティアや地域・社会貢献活動のための集まり （町内会での活動も含む）



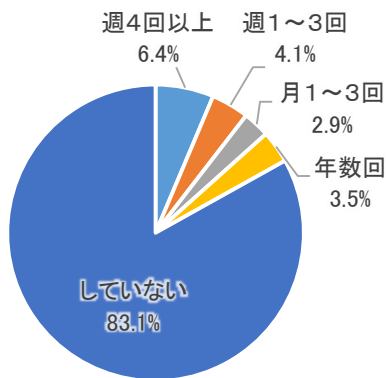
### （５）（１）～（４）以外の住民同士の交流を主目的とした集まり （サロン、コミュニティカフェ等）



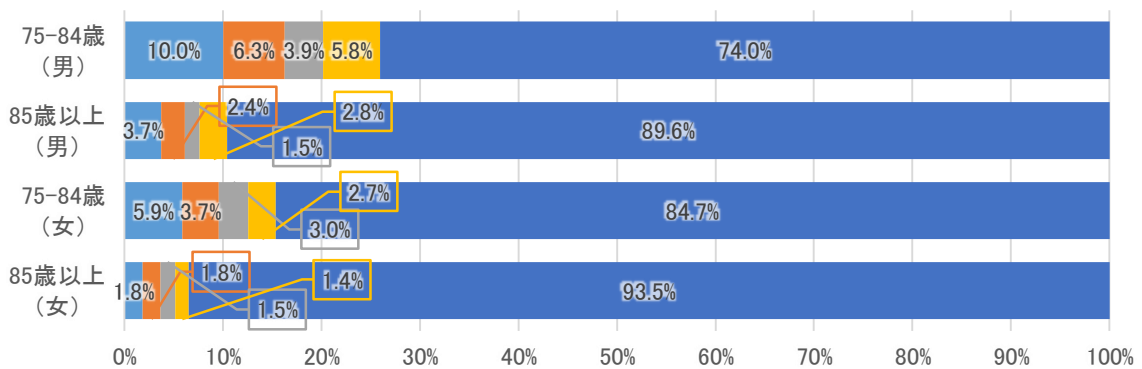
## Ⅱ 集計結果（全体）

### 22. 経済状況について

（1）現在、あなたはどれくらいの頻度で収入のある仕事をしていますか。



全体では、1割程度が週に数日仕事をしている。女性より男性の方が働いていると回答する割合が高くなっている。また、年齢が低い方が、働いていると回答する割合が高くなっており、84歳以下の男性では1割が週4回以上仕事をしている。



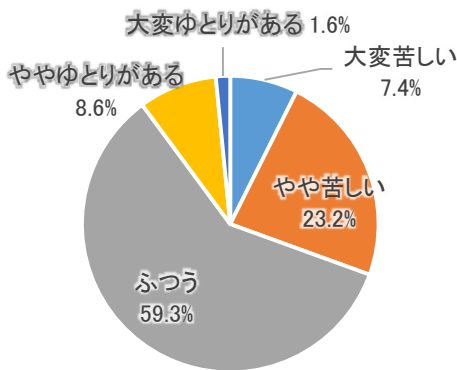
	85歳以上（女）	75-84歳（女）	85歳以上（男）	75-84歳（男）
■週4回以上	39人	326人	47人	433人
■週1～3回	39人	206人	30人	271人
■月1～3回	32人	168人	19人	168人
■年数回	30人	152人	35人	253人
■していない	2,000人	4,710人	1,126人	3,207人

■週4回以上 ■週1～3回 ■月1～3回 ■年数回 ■していない

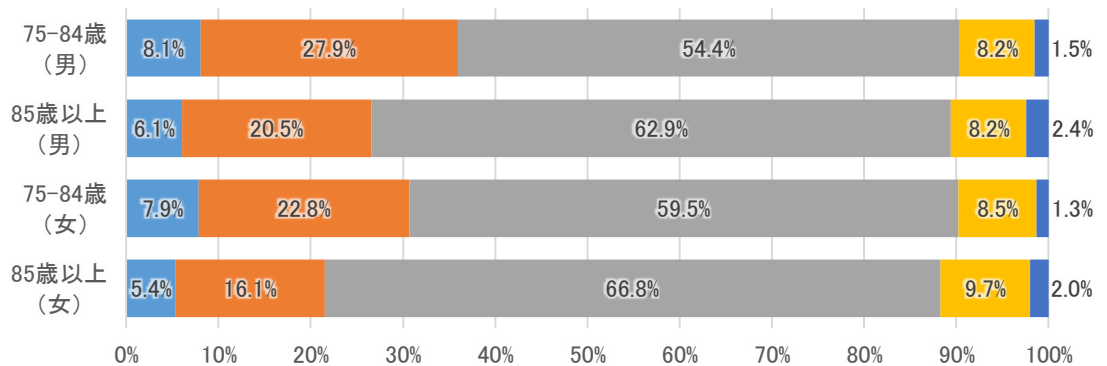
## Ⅱ 集計結果（全体）

### 22. 経済状況について

（2）現在の暮らしの状況を、経済的に見てどう感じていますか。



全体の3割程度の人が苦しいと感じている一方、ゆとりがあると感じている人は1割程度だった。「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」と回答する人の割合は年齢・性別で大きく差はないが、「大変苦しい」「やや苦しい」と回答する人の割合は84歳以下で高くなり、女性より男性の方が高くなる傾向がみられる。



	85歳以上 (女)	75-84歳 (女)	85歳以上 (男)	75-84歳 (男)
■大変苦しい	118人	442人	77人	349人
■やや苦しい	355人	1,279人	260人	1,209人
■ふつう	1,469人	3,339人	797人	2,355人
■ややゆとりがある	214人	477人	104人	353人
■大変ゆとりがある	44人	72人	30人	64人

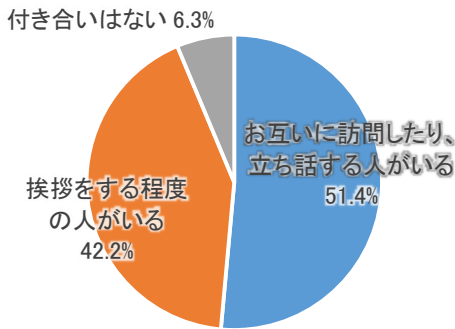
■大変苦しい ■やや苦しい ■ふつう ■ややゆとりがある ■大変ゆとりがある



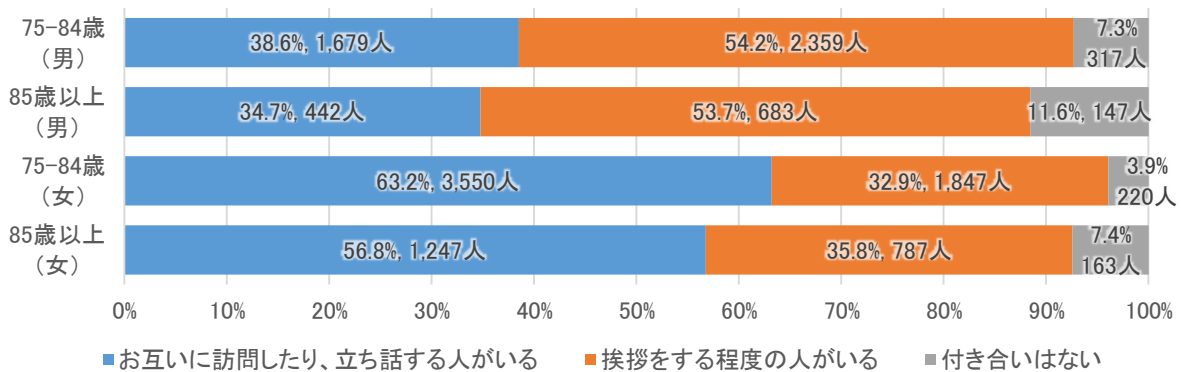
## Ⅱ 集計結果（全体）

### 23. 以下の質問について、該当する回答1つに○をしてください。

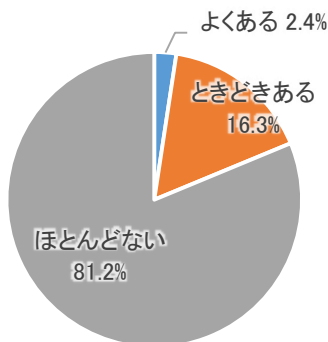
(1) あなたは、近所の人とどの程度のつきあいがありますか



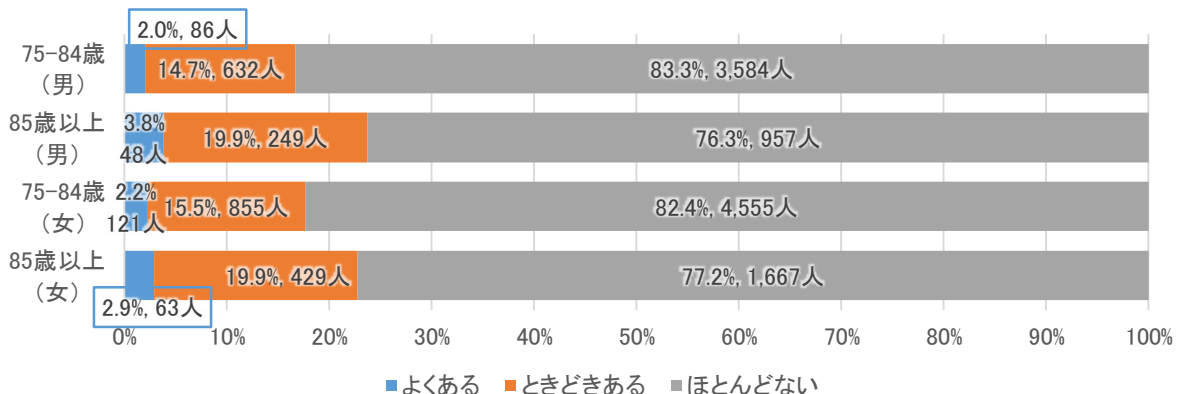
全体の9割以上がつきあいがあると回答している。  
男性では、「お互いに訪問したり、立ち話する人がいる」と回答した人の割合が4割を下回るのに対し、女性では84歳以下で約63%、85歳以上では約57%がいますと回答している。



(2) 自分は他の人達から取り残されていると感じることはありますか



全体の2割近くの人々が、取り残されていると感じることがあると回答している。  
性別による差はあまり見られないが、84歳以下より85歳以上の方が、取り残されていると感じる割合が高くなっている。



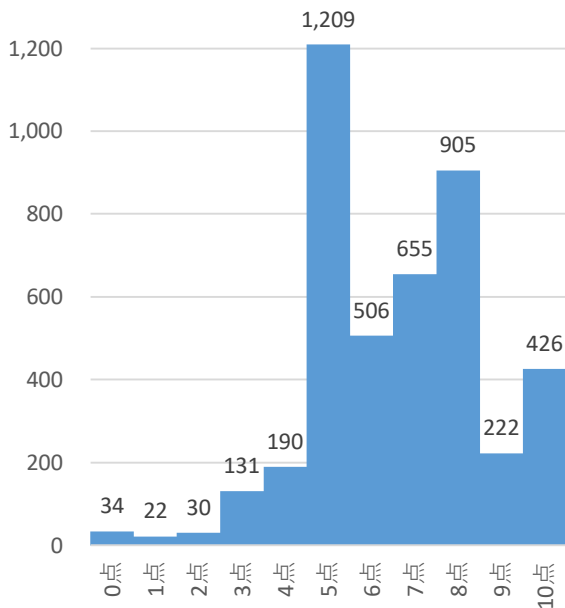
## Ⅱ 集計結果（全体）

24. 現在、どの程度幸せですか。「とても不幸せ」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数1つに○をしてください。

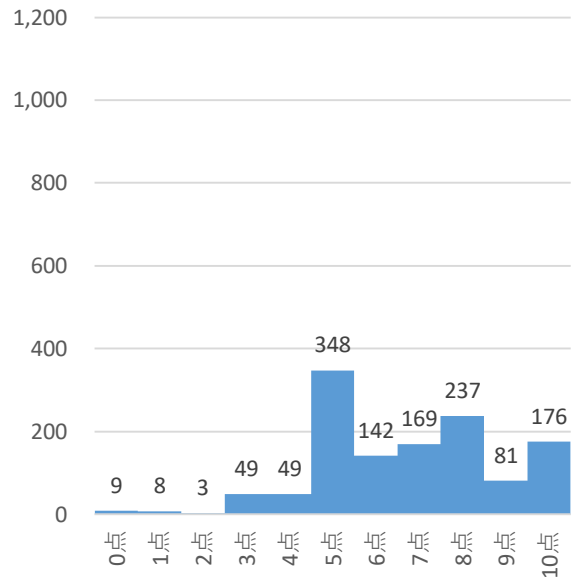
回答数の違いはあるが、それぞれは同じような傾向を示している。

概ね幸福と思われる8点以上と回答した人の割合は、男性より女性が高く、84歳以下より85歳以上の方が高くなっている。

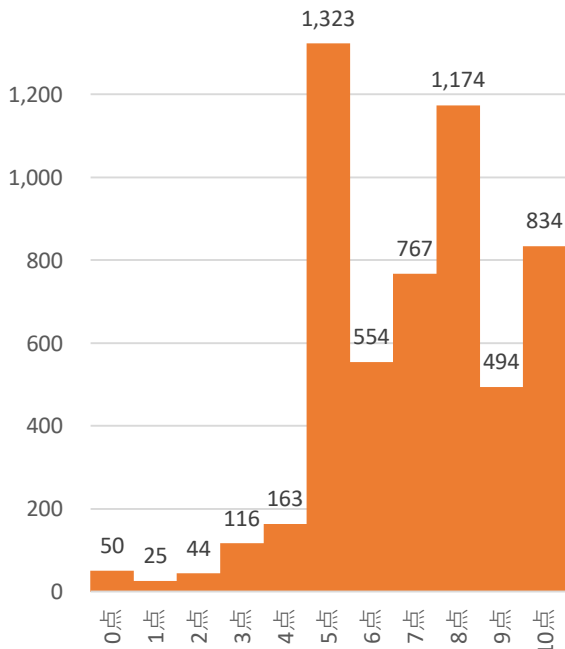
75-84歳（男）



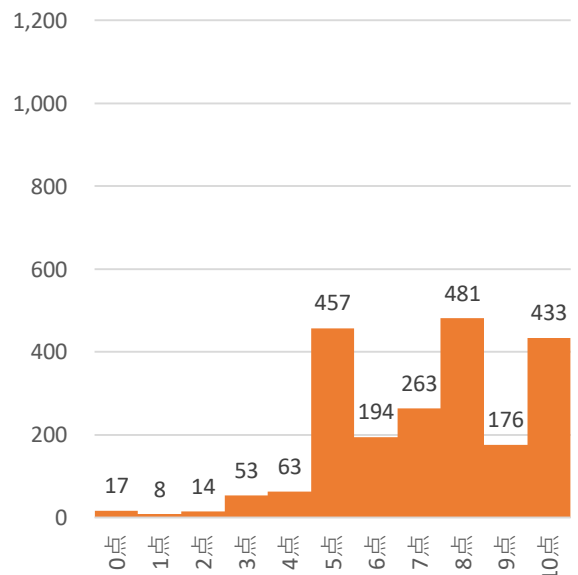
85歳以上（男）



75-84歳（女）



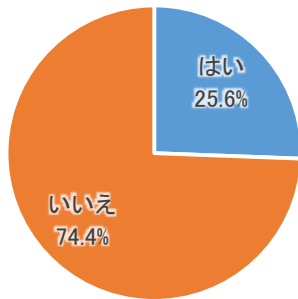
85歳以上（女）



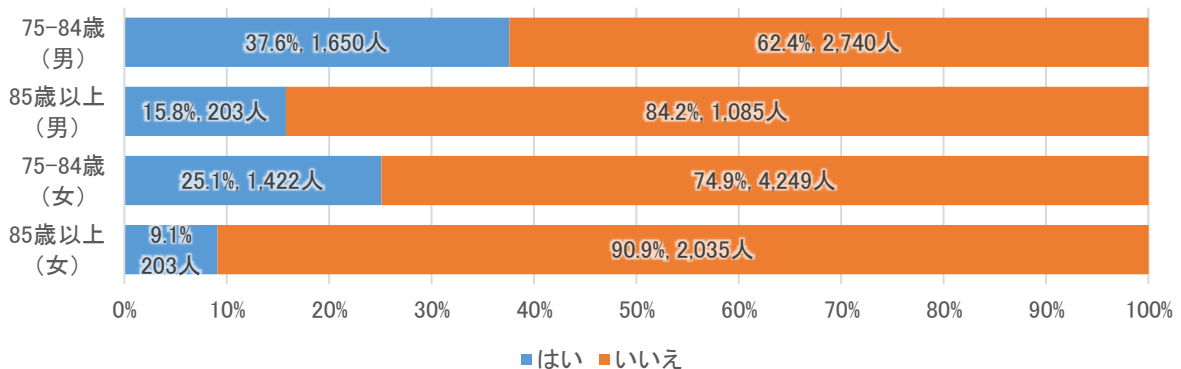
## Ⅱ 集計結果（全体）

### 25. インターネットに関連することについて

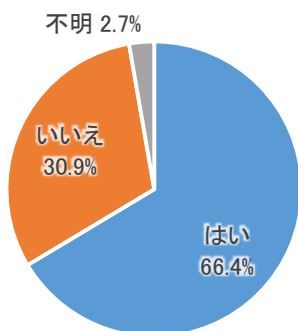
(1) スマートフォンやパソコンを使用して、インターネットやSNSを利用していますか



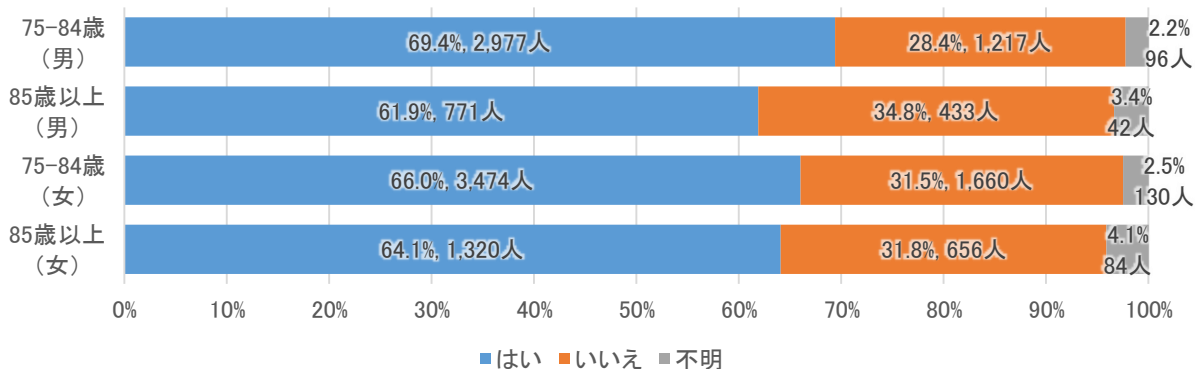
4分の1程度の方は「はい」と回答している。「はい」と回答した人の割合は、84歳以下の男性では4割近くになるものの、85歳以上の女性では1割にも満たない。



(2) 同居家族で、スマートフォンやパソコンを使用している方はいますか



全体の65%以上は「はい」と回答している。男女での差はさほど大きくないが、男性で84歳以下と85歳以上の間に少し差がみられる。

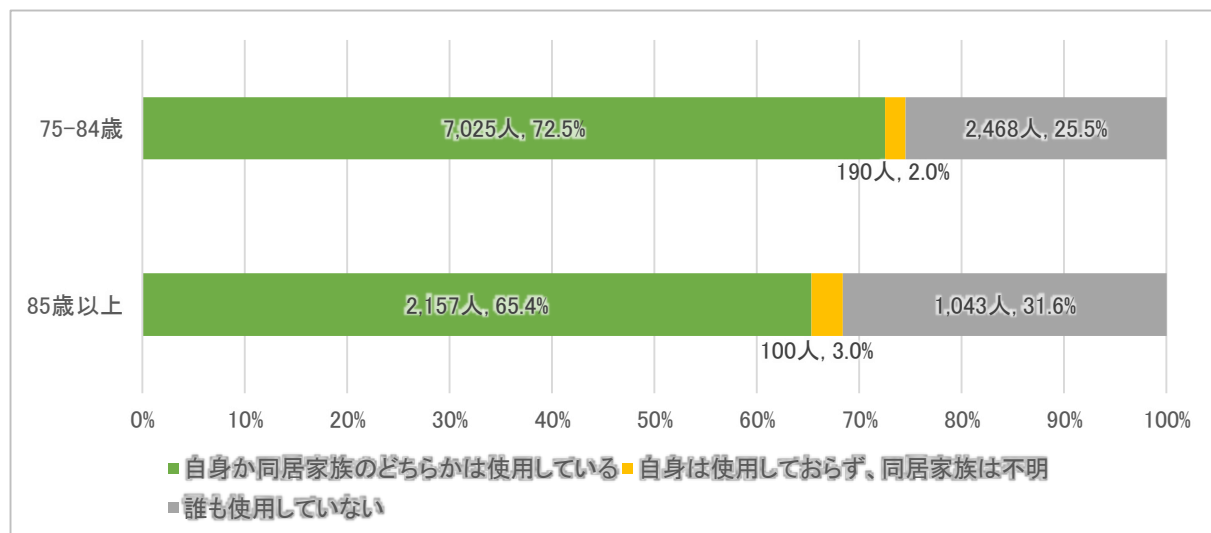
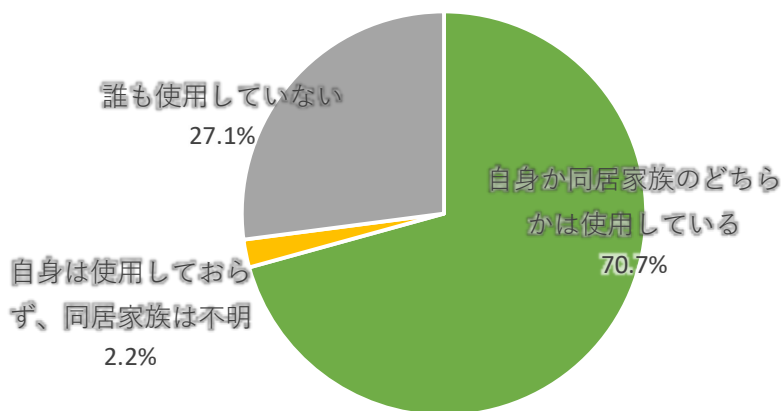


## Ⅱ 集計結果（全体）

### 25. インターネットに関連することについて（続き）

自身のインターネット等の利用状況と、家族のスマホ等の使用状況を併せて集計。  
（自身が利用しておらず、質問26（1）で一人暮らしと回答した場合は、「誰も使用していない」に計上）

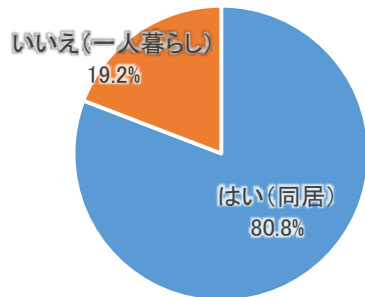
全体の7割が、本人か同居家族のいずれかがインターネット等を利用していると回答している。  
年代別にみると、84歳以下では約72%となっているのに対し、85歳以上では約65%とやや低くなっている。



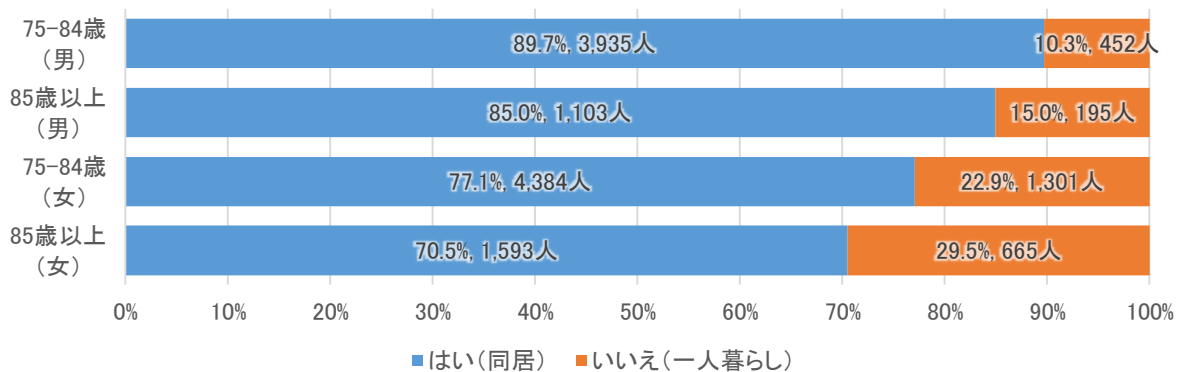
## Ⅱ 集計結果（全体）

### 26. ご家族について

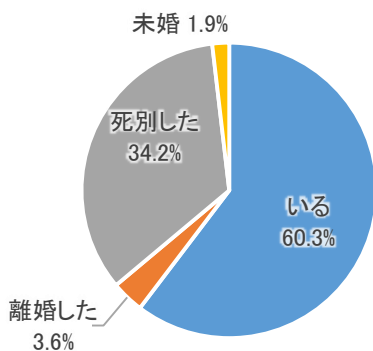
(1) あなたは現在、一緒に住んでいる（敷地内に住んでいる）方はいますか



全体の約2割は一人暮らしと回答している。  
84歳以下より85歳以上の方が1人暮らしと回答する割合が高く、女性は男性の2倍と大きな差が見られる。

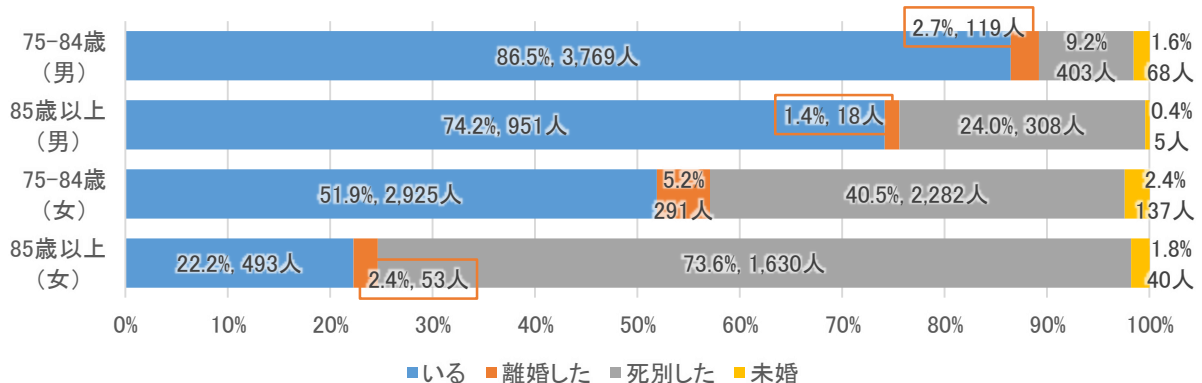


(2) 現在、配偶者はいますか（内縁関係、事実婚含む）



「いる」と回答した割合は、男性の84歳以下で約86%、85歳以上で約74%なのに対し、女性の84歳以下では約52%、85歳以上で約22%と男女間で大きな開きがある。

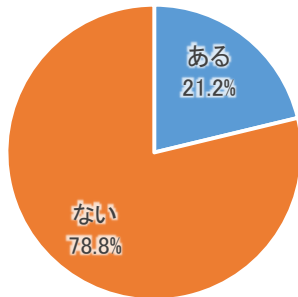
一方で、「死別した」と回答した割合は女性の方が非常に高くなっていることから、男性より女性の方が寿命が長いことがうかがえる。



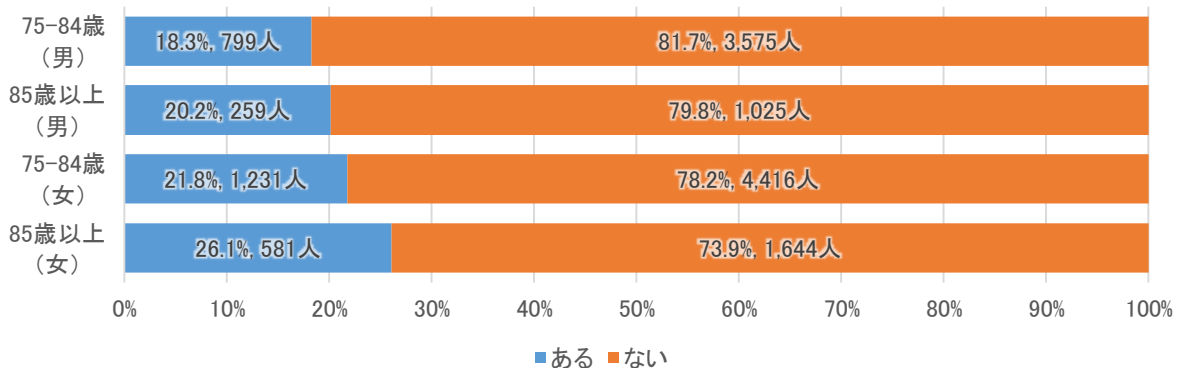
## Ⅱ 集計結果（全体）

### 27. 認知症について

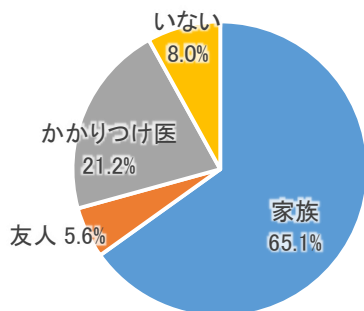
#### （1）自分が認知症でないかと不安に思うことがありますか



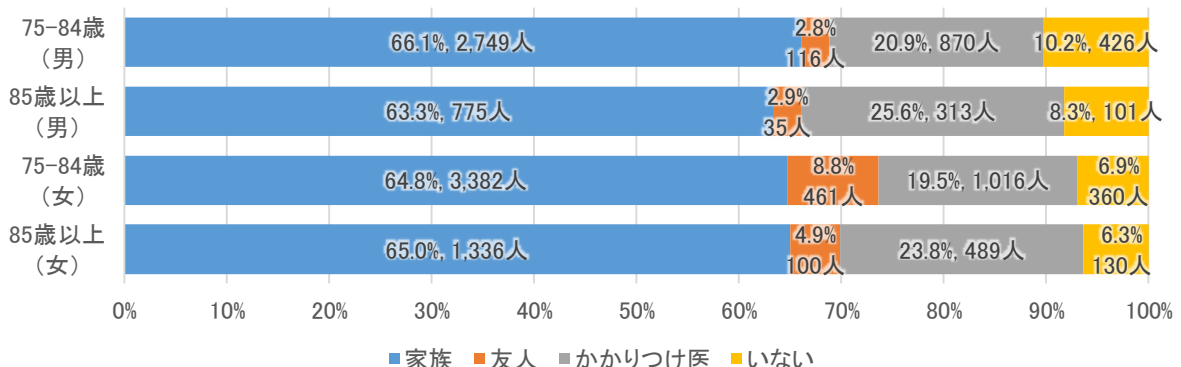
全体では2割程度が不安に思うことがあると回答している。  
年齢・性別で大きな開きはないが、男性より女性の方が、不安に思う割合がやや高くなっている。



#### （2）認知症について相談できる人がいますか



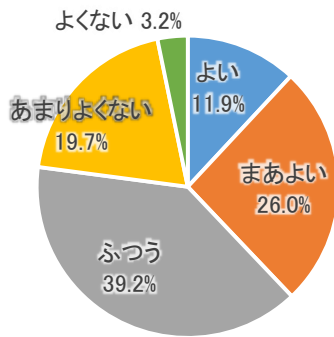
6割以上は家族に相談できると回答している。  
85歳以上では、男女ともに「かかりつけ医」と回答する人の割合がやや高くなっている。  
また、女性は男性より、「友人」と回答する割合が若干高くなっており、84歳以下では男性の3倍程度の割合になっている。



# Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

## 1. あなたの現在の健康状態はいかがですか

【全体の傾向】

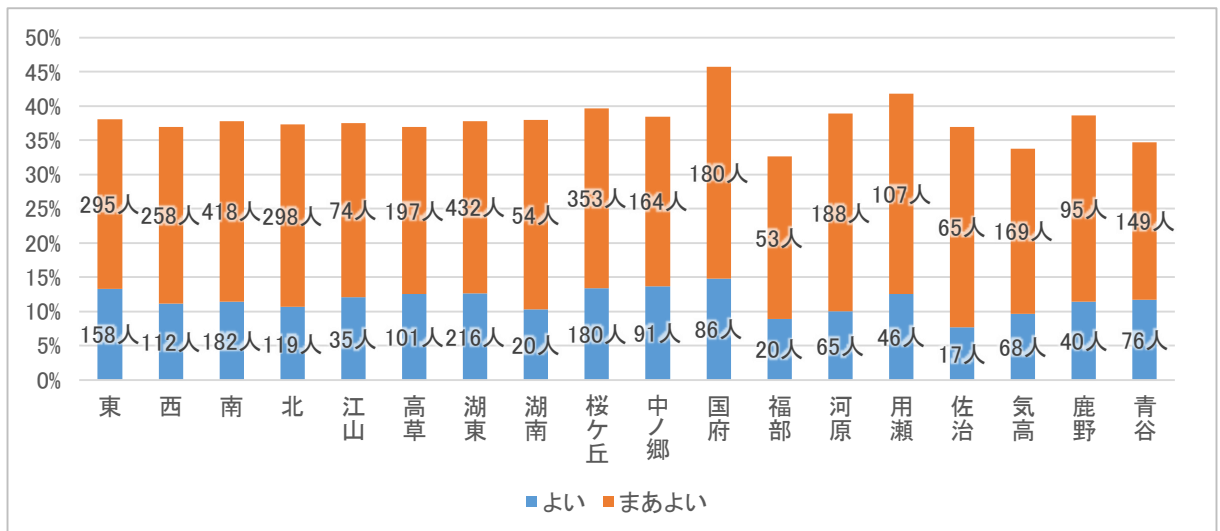


健康状態が「よい」「まあよい」と回答している割合は、国府圏域が最も高く、次いで用瀬圏域となっている。

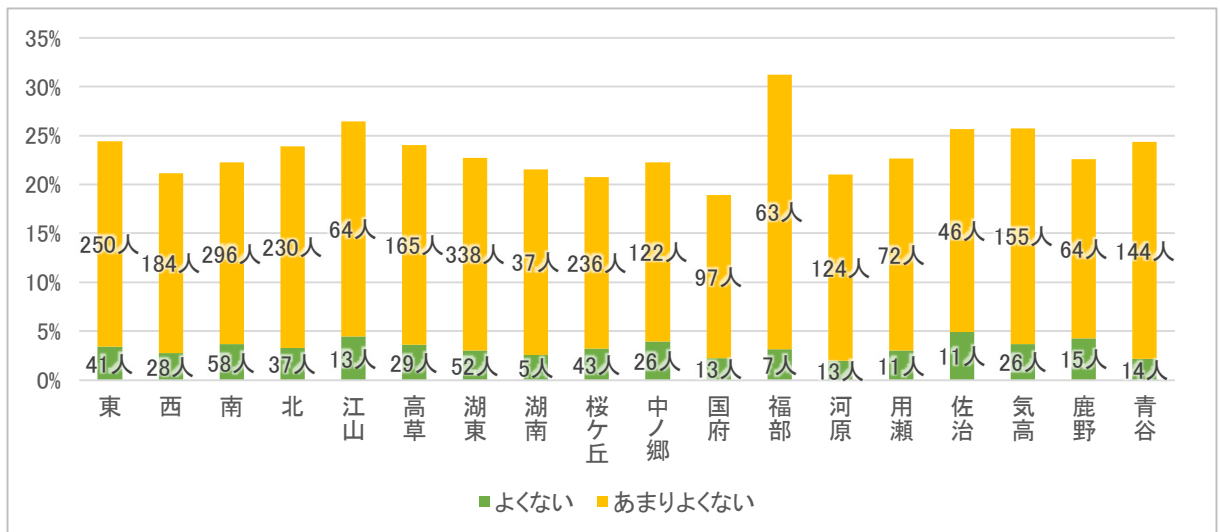
「よくない」「あまりよくない」と回答しているのは、福部圏域が最も高くなっており、次いで江山圏域となっている。

福部圏域は「よい」「まあよい」の割合も最も低くなっていることから、全体的にあまり良くないと感じている住民が多いものと思われる。

【健康状態が「よい」「まあよい」と回答した割合：圏域別】



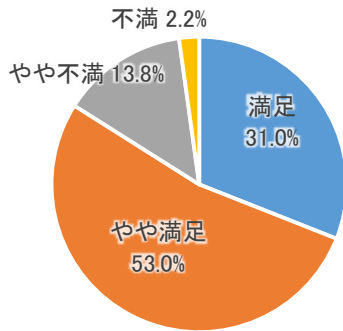
【健康状態が「よくない」「あまりよくない」と回答した割合：圏域別】



# Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

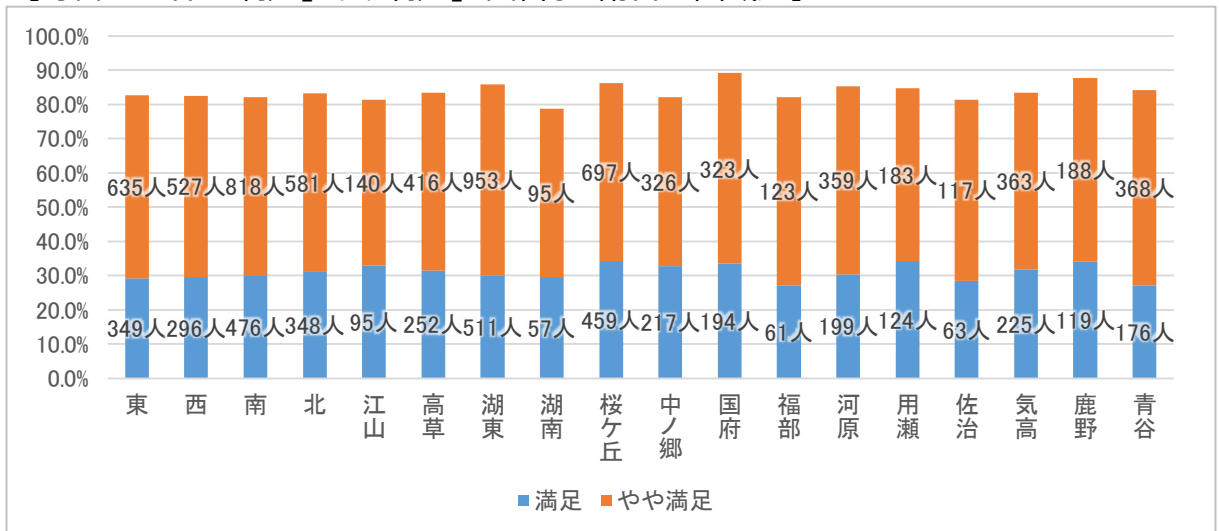
## 2. 毎日の生活に満足していますか

【全体の傾向】

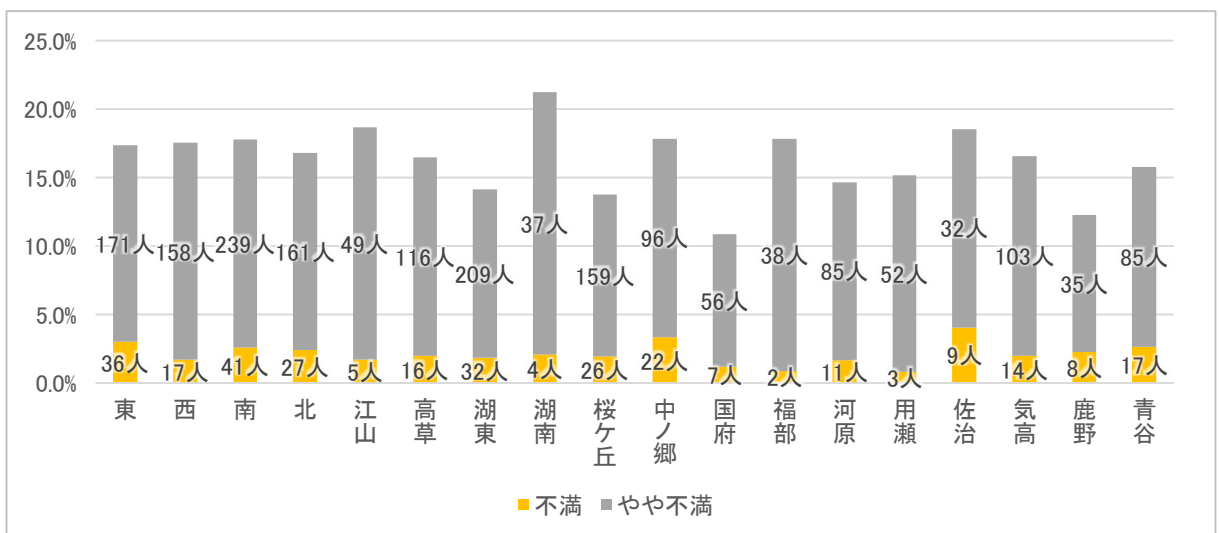


「満足」「やや満足」と回答している人の割合は大半の圏域で8割を超えている。  
 「満足」「やや満足」と回答している割合が最も高いのは国府圏域で、次いで鹿野圏域となっている。  
 逆に、最も低いのは湖南圏域となっており、国府圏域との差は約10ポイントとなっている。

【毎日の生活に「満足」「やや満足」と回答した割合：圏域別】



【毎日の生活に「不満」「やや不満」と回答した割合：圏域別】



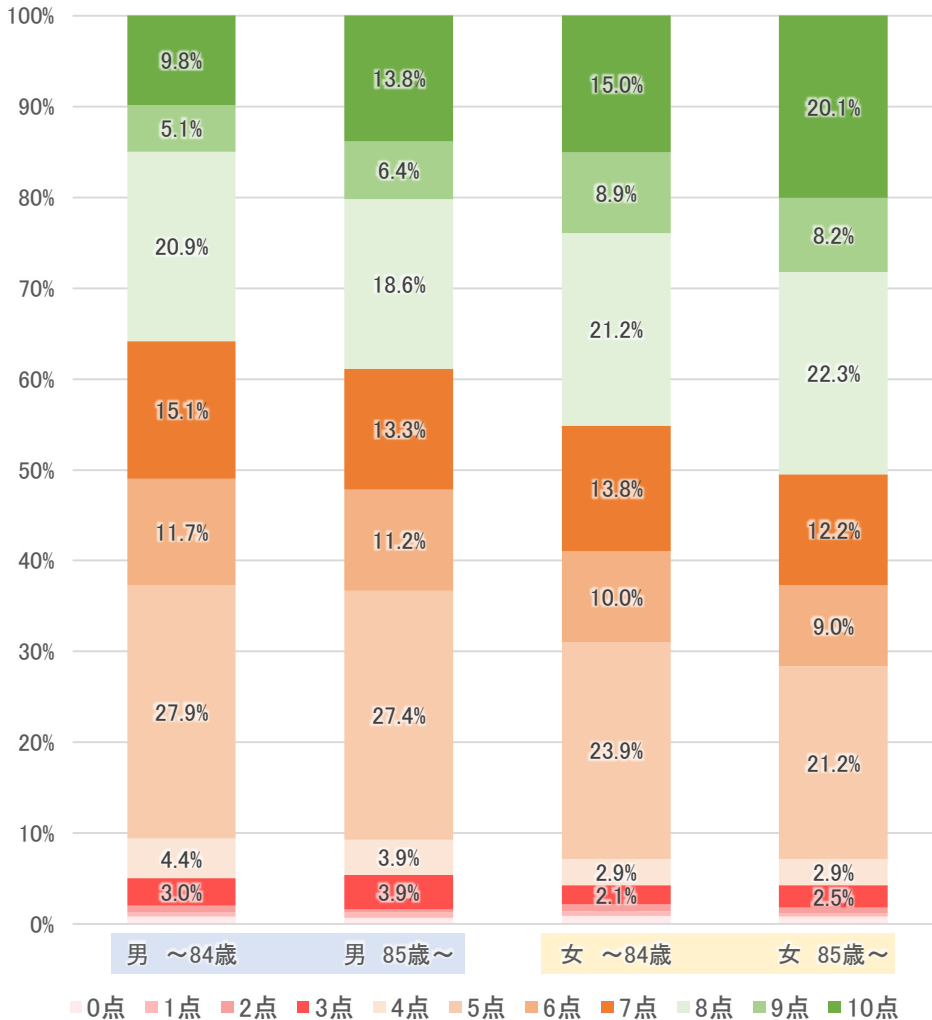


### Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

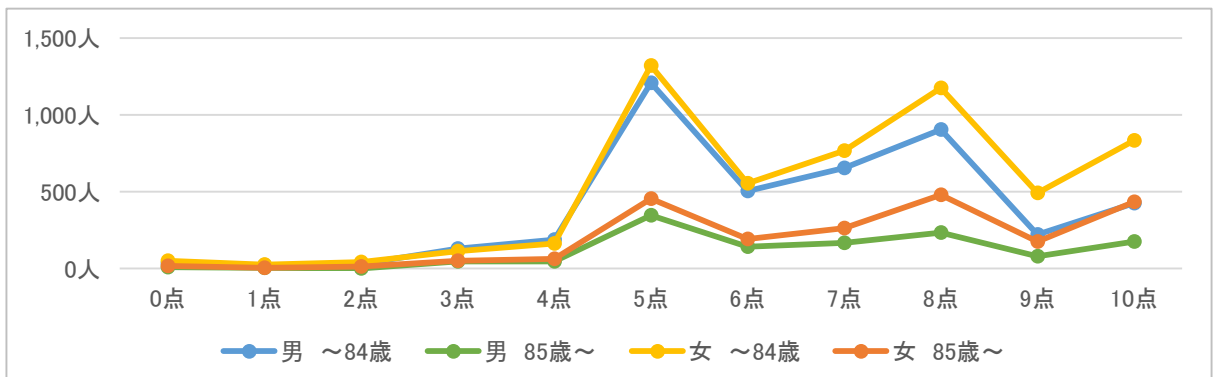
P25で見える傾向と同様、男性より女性の方が高い点数をつける割合が高くなっている。  
 また、84歳以下より85歳以上の方が、高い点数をつける割合が高くなっており、84歳以下の男性と85歳以上の女性で比較すると、10点を付けた割合が2倍になっている。

#### 質問24「現在、どの程度幸せですか」の回答を性別・年代別で集計

【質問24の回答者の性別・年代別の割合】



【人数の分布】



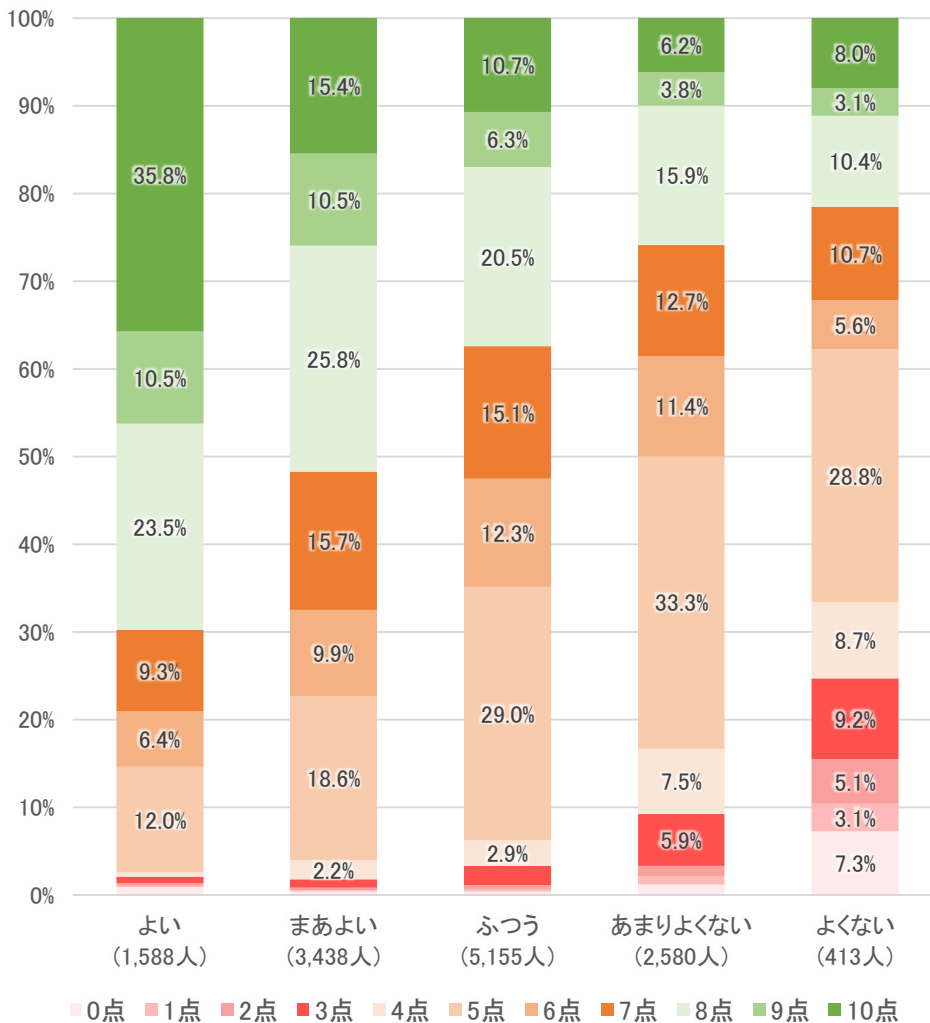
※幸福度は、0点が一番低く10点が一番高い。

### Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

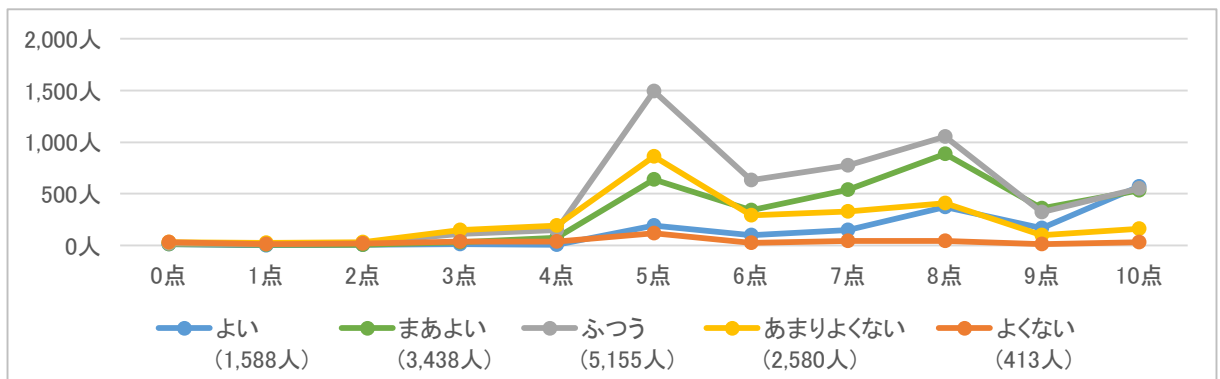
自身の健康状態を「よい」と認識している人の方が、「よくない」と認識している人よりも幸福度が高くなる傾向にあり、健康と幸福度はある程度関連が見られる。  
健康状態がよくないと感じながらも、8点以上を点けている人が2割以上程度いる。

#### 質問1「あなたの現在の健康状態はいかがですか」の回答と、質問24「現在、どの程度幸せですか」との相関。

【質問1の回答それぞれに対する質問24の回答者の割合】



#### 【人数の分布】



※幸福度は、0点が一番低く10点が一番高い。

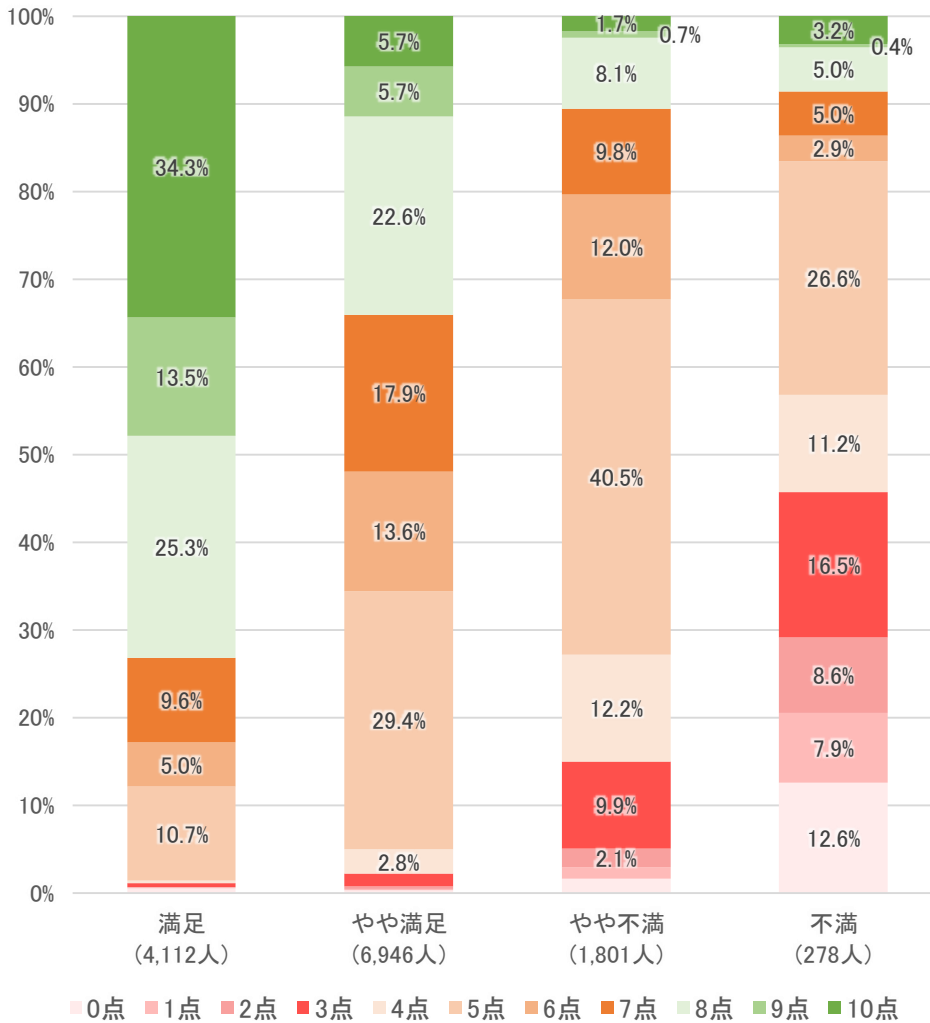
### Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

毎日の生活には「満足」と回答しているが、幸福度は5点とした人が1割、それより低い点数も1%いる。

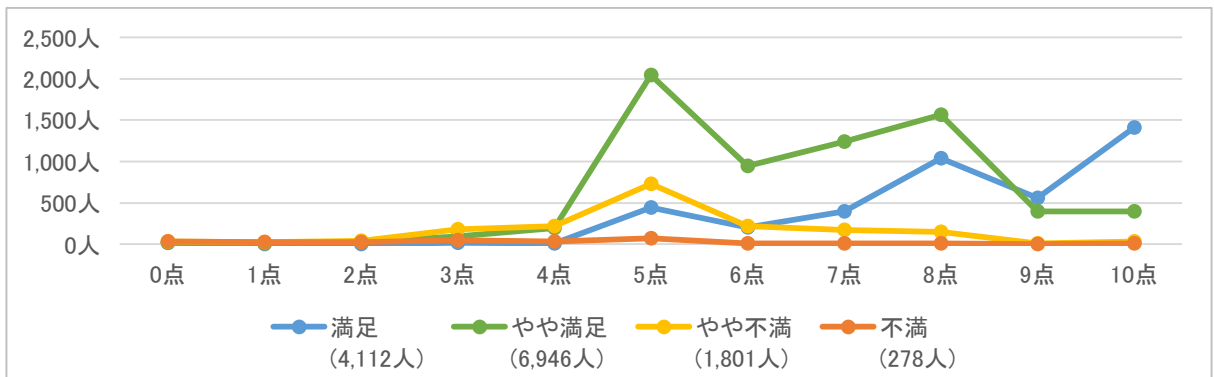
逆に、「やや不満」「不満」と回答している人でも、8点以上の人それぞれ1割前後いる。

#### 質問2「毎日の生活に満足していますか」の回答と、質問24「現在、どの程度幸せですか」との相関。

【質問2の回答それぞれに対する質問24の回答者の割合】



#### 【人数の分布】



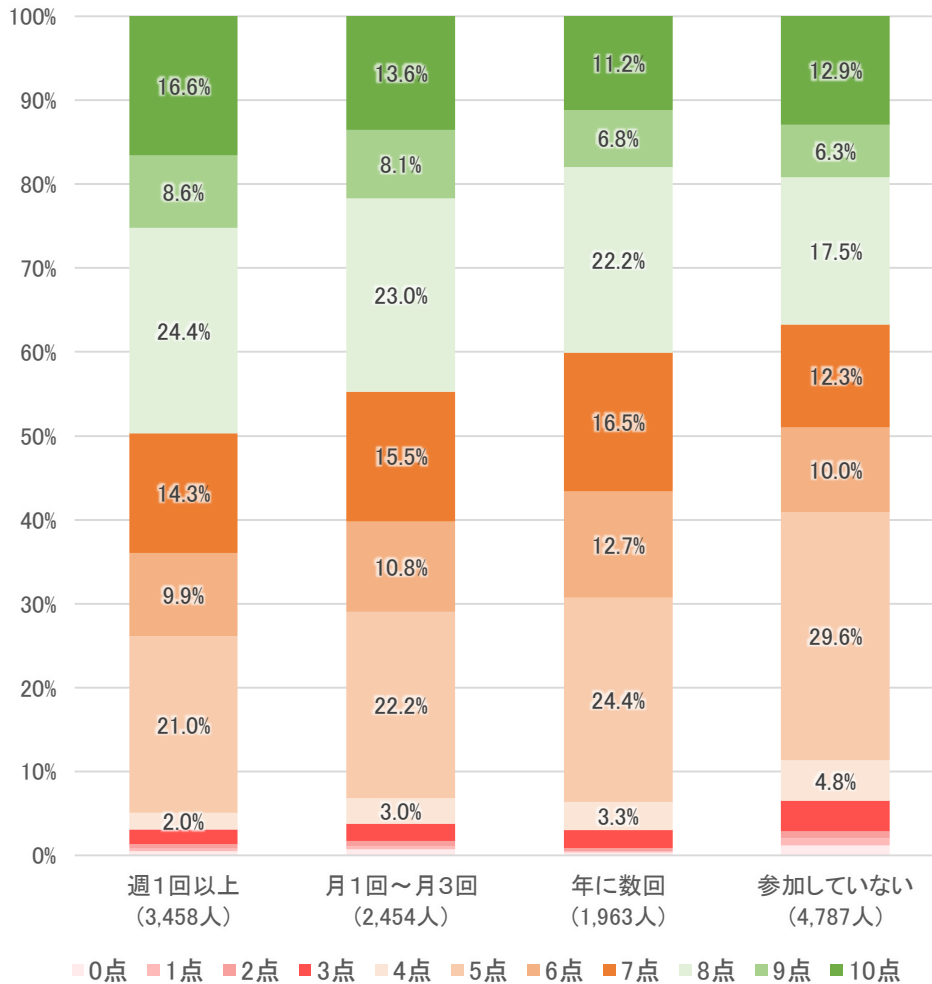
※幸福度は、0点が一番低く10点が一番高い。

### Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

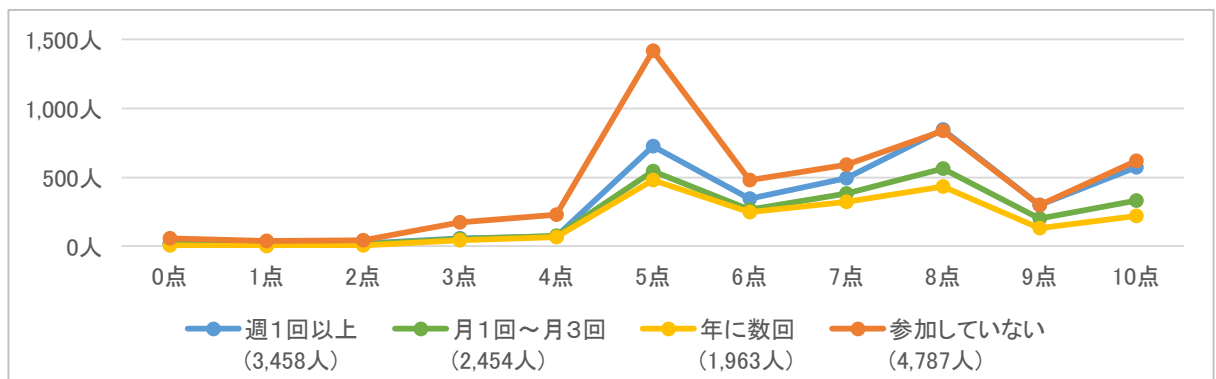
何かしらの集まりに参加する頻度が高いほど、幸福度が8点以上と回答する割合が少しずつ高くなる傾向が見える。

#### 質問21「次のような集まりに、どのくらいの頻度で参加していますか。」の回答と、質問24「現在、どの程度幸せですか」との相関。

【質問21(1)～(5)の「この1年間」の回答のうち、最も頻度が高かった選択肢とそれに対する質問24の回答者の割合】



#### 【人数の分布】



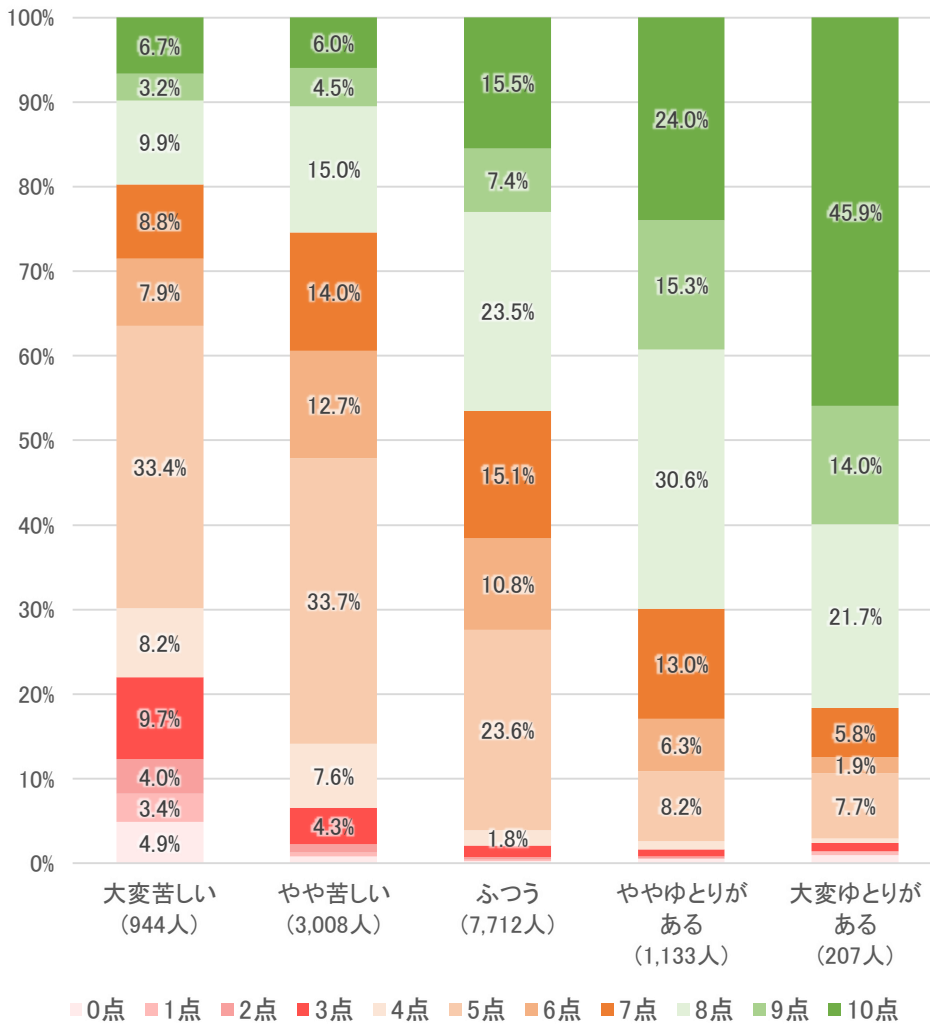
※幸福度は、0点が一番低く10点が一番高い。

### Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

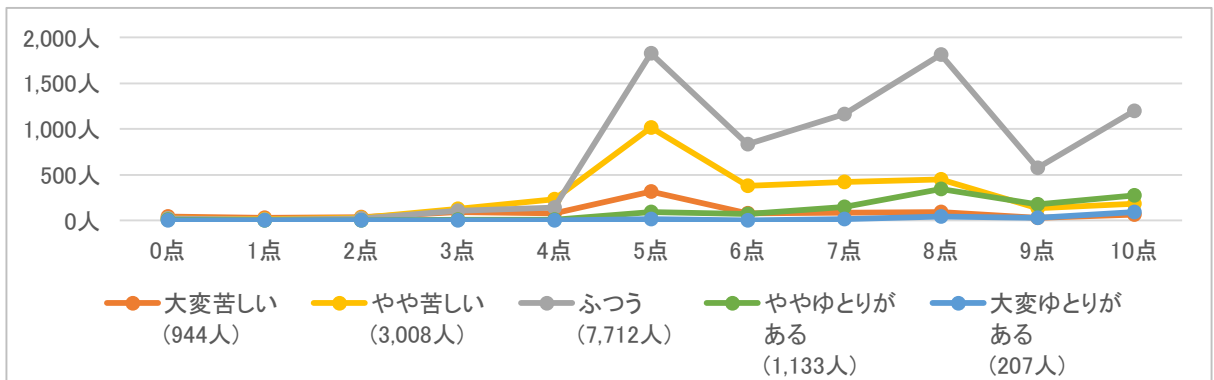
経済的にゆとりがある人の方が、高い点数で回答する割合が高くなっている。  
 「大変苦しい」と回答した人で8点以上を付けた人（幸福度が高い人）が、約20%、「やや苦しい」と回答した人では約25%あった。

#### 質問22（2）「現在の暮らしの状況を、経済的に見てどう感じていますか」の回答と、質問24「現在、どの程度幸せですか」との相関。

【質問22（2）の回答それぞれに対する質問24の回答者の割合】



#### 【人数の分布】



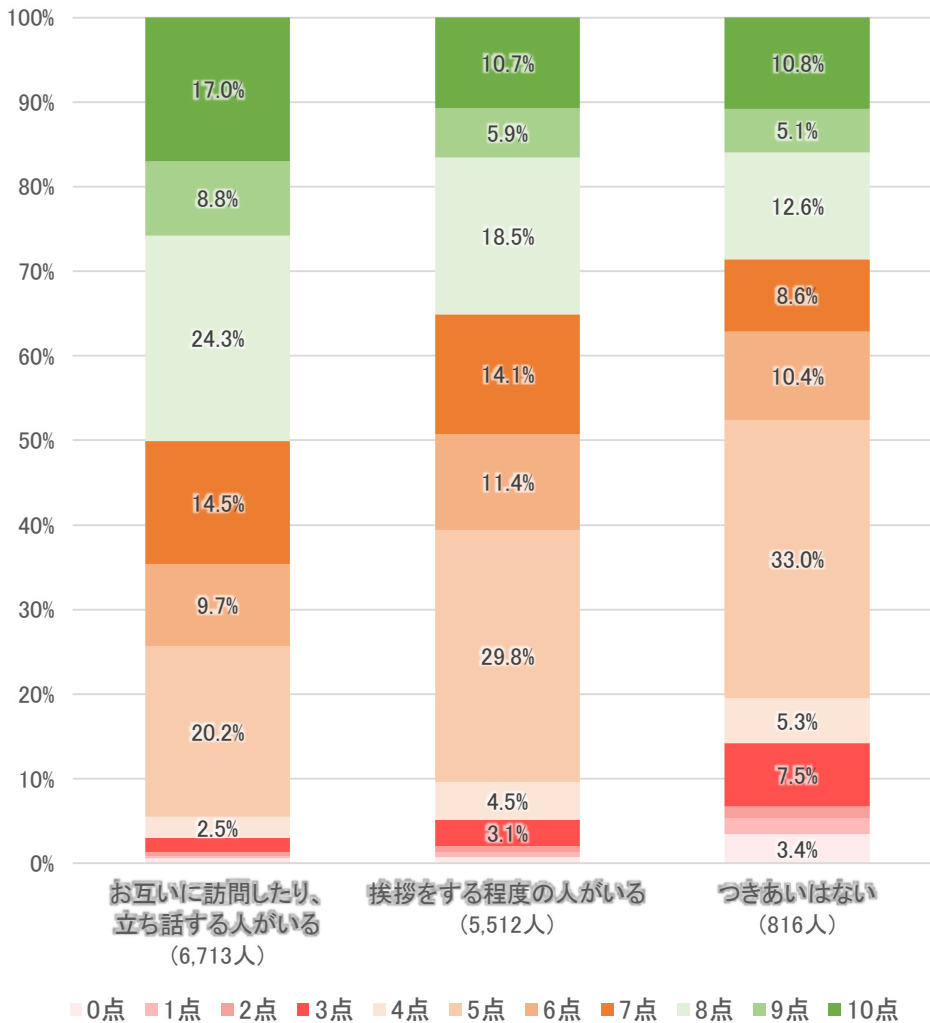
※幸福度は、0点が一番低く10点が一番高い。

### Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

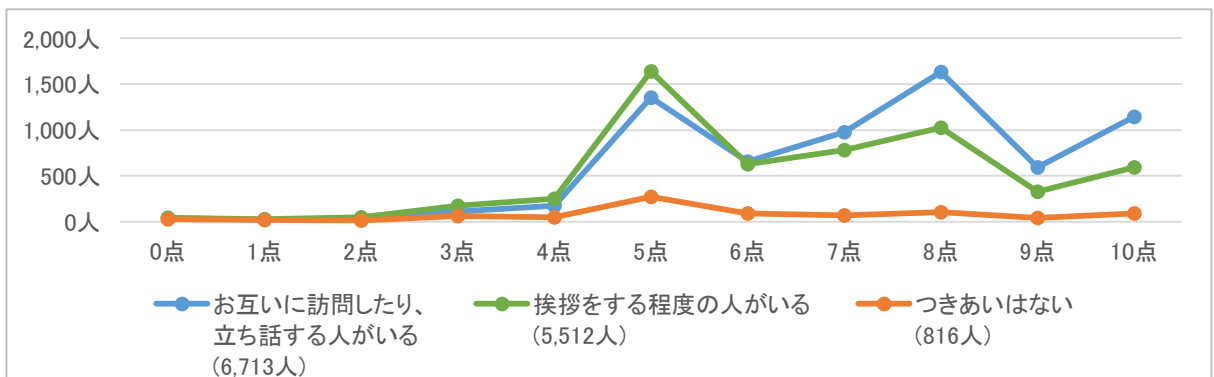
近所づきあいが活発な人の方が、つきあがない人よりも幸福度が高くなる傾向がみられる。「つきあいはない」と回答した人でも、8点以上と回答した人（幸福度が高い人）が3割近くみられる。

#### 質問23（1）「あなたは、近所の人とどの程度のつきあいがありますか」の回答と、質問24「現在、どの程度幸せですか」との相関。

【質問23（1）の回答それぞれに対する質問24の回答者の割合】



#### 【人数の分布】



※幸福度は、0点が一番低く10点が一番高い。

### Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

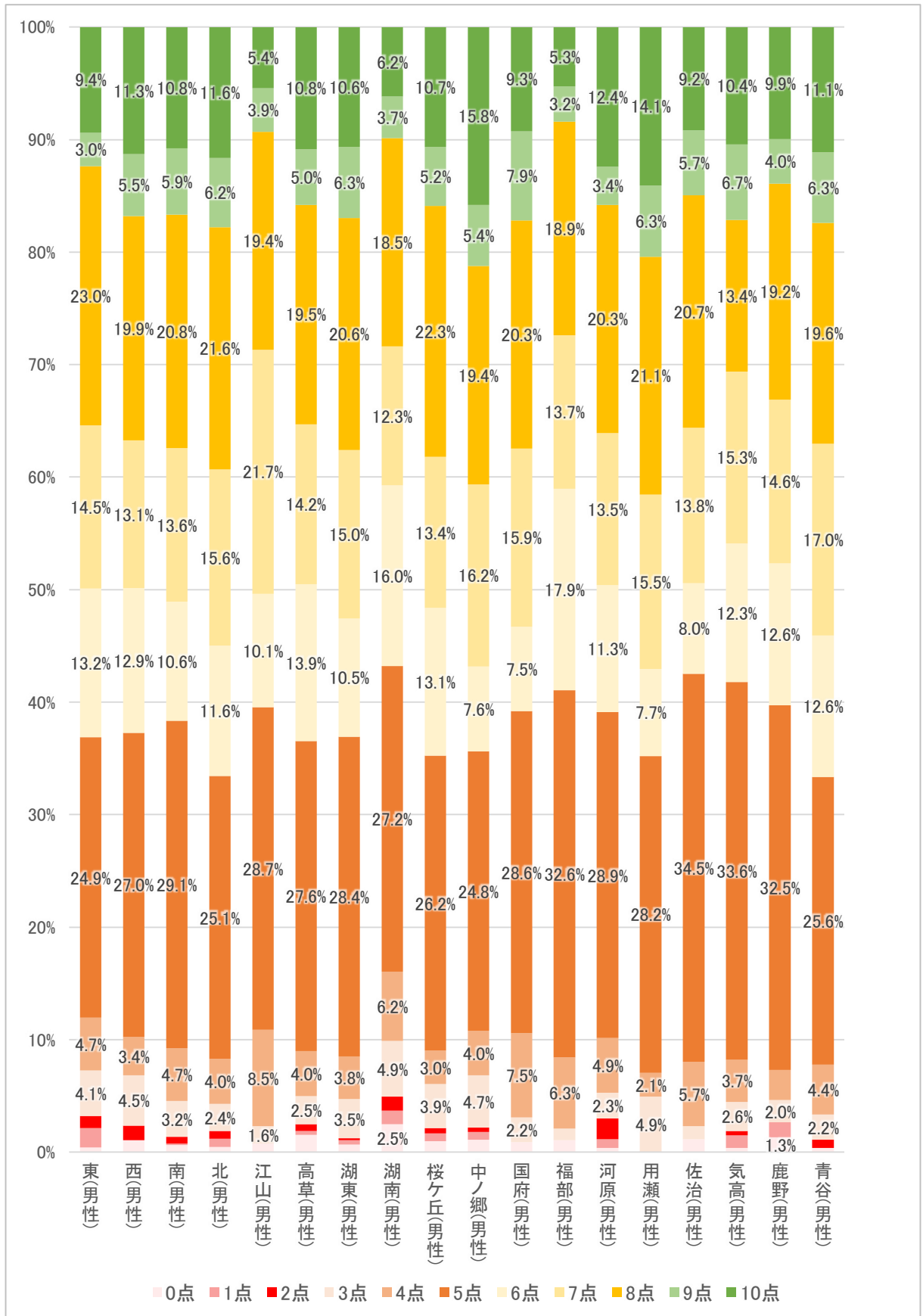
#### 質問24「現在、どの程度幸せですか」回答者数及び平均点（10点が最高）

平均点で比較すると、男性は用瀬圏域、女性では鹿野圏域が最も高くなっている。  
 鹿野圏域や気高圏域では、男女の順位に大きな差がある。  
 北圏域では男女とも3位となっており幸福度が概ね高くなっている一方、福部圏域では男女とも17位、江山圏域では男性16位女性18位と、男女ともに低くなっている。

地区		平均	順位	人数			割合		
				0-3点	4-6点	7-10点	0-3点	4-6点	7-10点
東	男性	6.45	15	34人	201人	234人	7.2%	42.9%	49.9%
	女性	7.13	4	30人	224人	429人	4.4%	32.8%	62.8%
西	男性	6.56	9	26人	165人	190人	6.8%	43.3%	49.9%
	女性	7.02	12	26人	224人	354人	4.3%	37.1%	58.6%
南	男性	6.61	8	30人	293人	337人	4.5%	44.4%	51.1%
	女性	6.80	15	50人	340人	502人	5.6%	38.1%	56.3%
北	男性	6.74	3	18人	172人	232人	4.3%	40.8%	55.0%
	女性	7.13	3	17人	241人	413人	2.5%	35.9%	61.5%
江山	男性	6.39	16	3人	61人	65人	2.3%	47.3%	50.4%
	女性	6.72	18	8人	63人	85人	5.1%	40.4%	54.5%
高草	男性	6.55	10	16人	147人	160人	5.0%	45.5%	49.5%
	女性	7.06	6	16人	173人	268人	3.5%	37.9%	58.6%
湖東	男性	6.65	5	35人	317人	390人	4.7%	42.7%	52.6%
	女性	7.04	9	36人	339人	547人	3.9%	36.8%	59.3%
湖南	男性	6.05	18	8人	40人	33人	9.9%	49.4%	40.7%
	女性	7.05	8	3人	42人	63人	2.8%	38.9%	58.3%
桜ヶ丘	男性	6.61	7	37人	258人	315人	6.1%	42.3%	51.6%
	女性	7.12	5	24人	227人	461人	3.4%	31.9%	64.7%
中ノ郷	男性	6.76	2	19人	101人	158人	6.8%	36.3%	56.8%
	女性	7.03	11	16人	132人	217人	4.4%	36.2%	59.5%
国府	男性	6.62	6	7人	99人	121人	3.1%	43.6%	53.3%
	女性	7.04	10	16人	109人	209人	4.8%	32.6%	62.6%
福部	男性	6.27	17	2人	54人	39人	2.1%	56.8%	41.1%
	女性	6.72	17	7人	50人	65人	5.7%	41.0%	53.3%
河原	男性	6.55	11	14人	120人	132人	5.3%	45.1%	49.6%
	女性	7.01	13	20人	136人	218人	5.3%	36.4%	58.3%
用瀬	男性	6.86	1	7人	54人	81人	4.9%	38.0%	57.0%
	女性	7.05	7	7人	75人	130人	3.3%	35.4%	61.3%
佐治	男性	6.53	12	2人	42人	43人	2.3%	48.3%	49.4%
	女性	6.74	16	9人	49人	70人	7.0%	38.3%	54.7%
気高	男性	6.46	14	12人	133人	123人	4.5%	49.6%	45.9%
	女性	7.15	2	19人	145人	262人	4.5%	34.0%	61.5%
鹿野	男性	6.46	13	7人	72人	72人	4.6%	47.7%	47.7%
	女性	7.18	1	6人	63人	118人	3.2%	33.7%	63.1%
青谷	男性	6.73	4	9人	115人	146人	3.3%	42.6%	54.1%
	女性	6.97	14	17人	122人	211人	4.9%	34.9%	60.3%
合計	男性	6.59		286人	2,444人	2,871人	5.1%	43.6%	51.3%
	女性	7.02		327人	2,754人	4,622人	4.2%	35.8%	60.0%
	全体	6.84		613人	5,198人	7,493人	4.6%	39.1%	56.3%

# Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

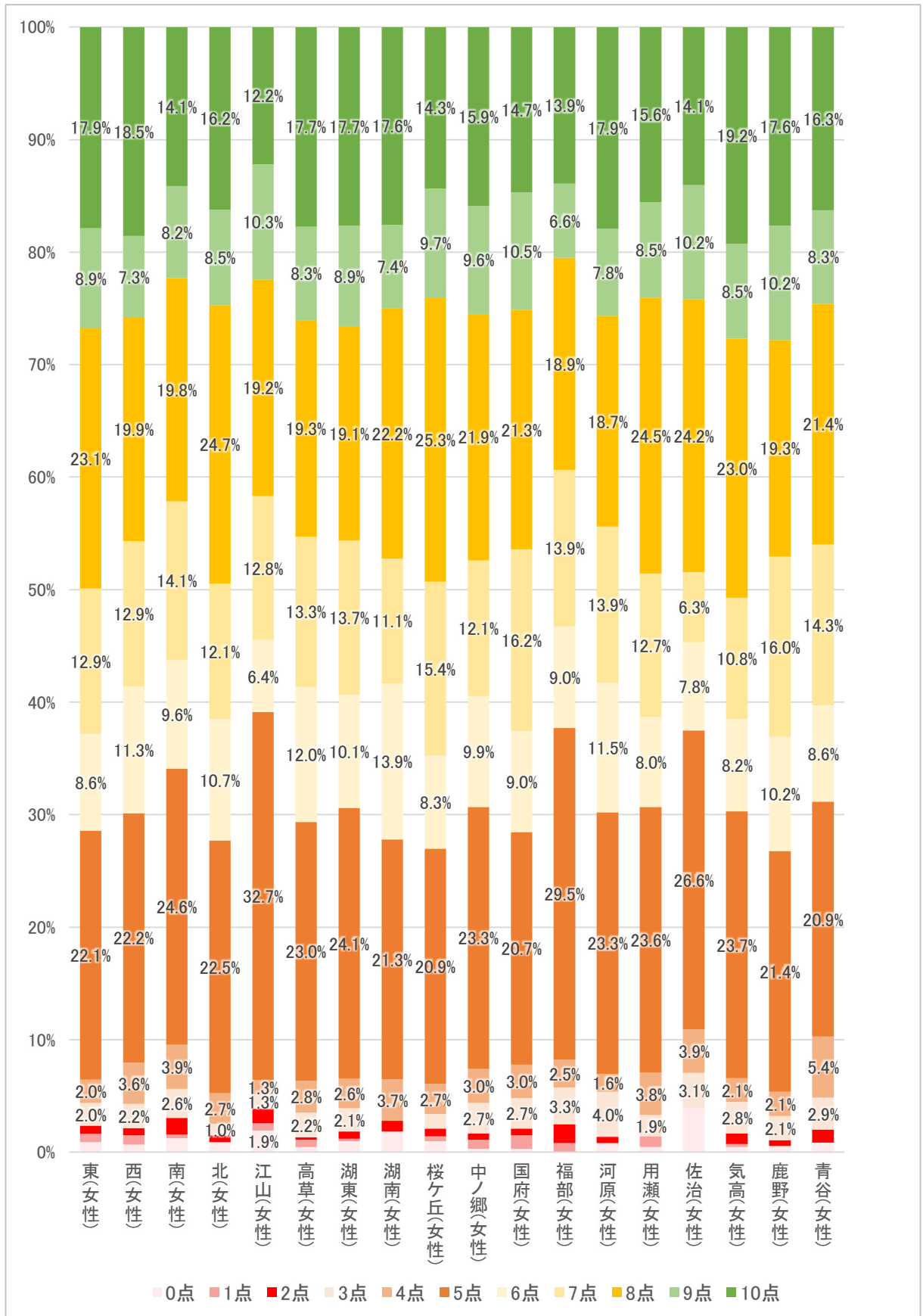
## 質問24「現在、どの程度幸せですか」回答者数の地区別割合（男性）





# Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

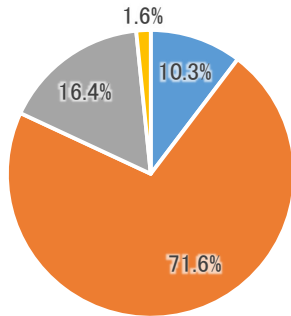
## 質問24「現在、どの程度幸せですか」回答者数の地区別割合（女性）



# Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

## 質問16の身長と体重から算出したBMIの圏域別集計

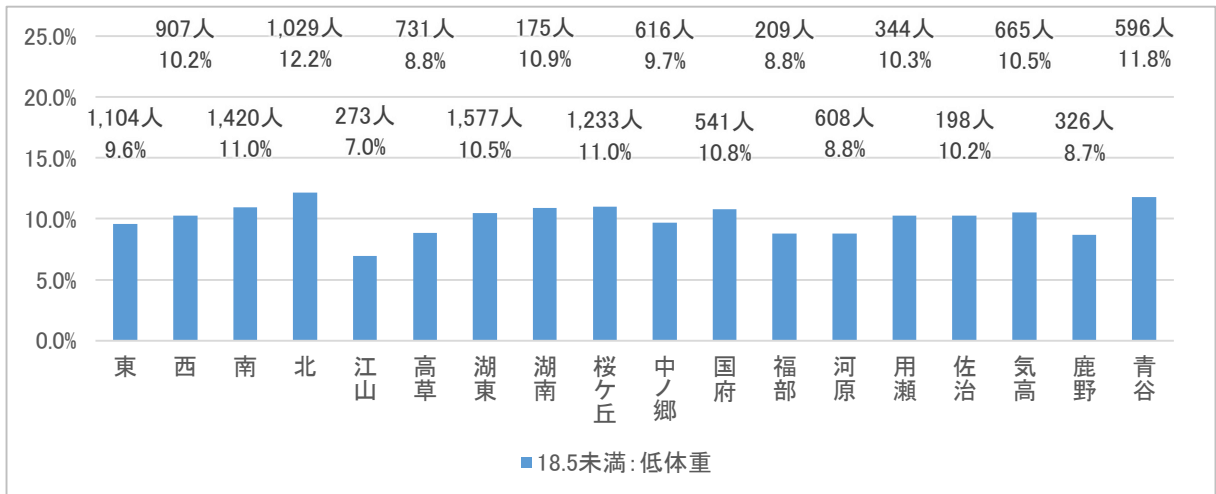
【全体の傾向】



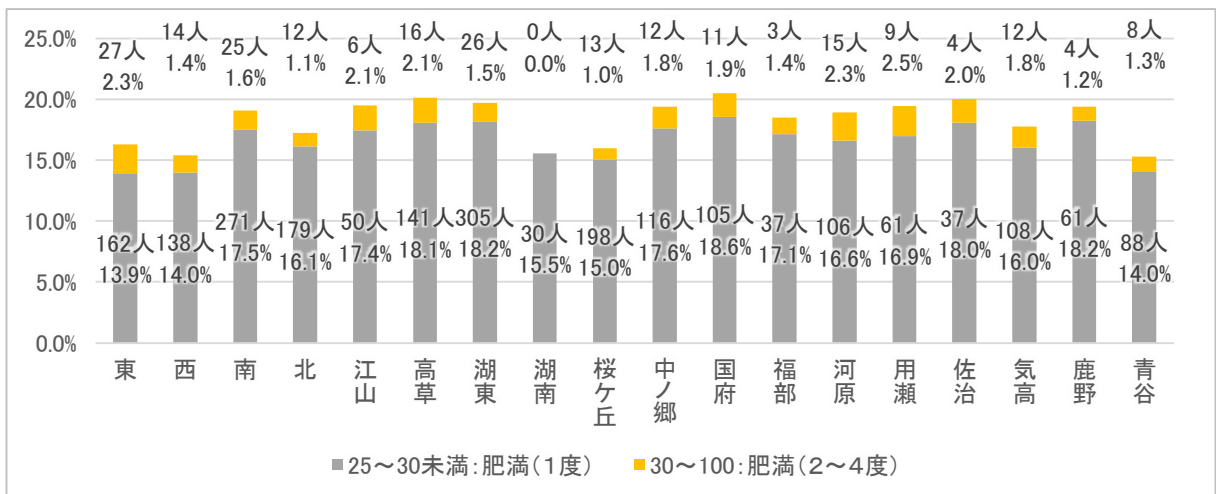
低体重の割合は北圏域が最も高く、江山圏域で最も低くなっている。  
肥満の割合は、国府圏域が最も高く、高草圏域、用瀬圏域も高い。

- 18.5未満: 低体重
- 18.5~25未満: 普通体重
- 25~30未満: 肥満(1度)
- 30~100: 肥満(2~4度)

【BMI18.5未満：低体重】



【BMI25以上：肥満（1度～4度）】

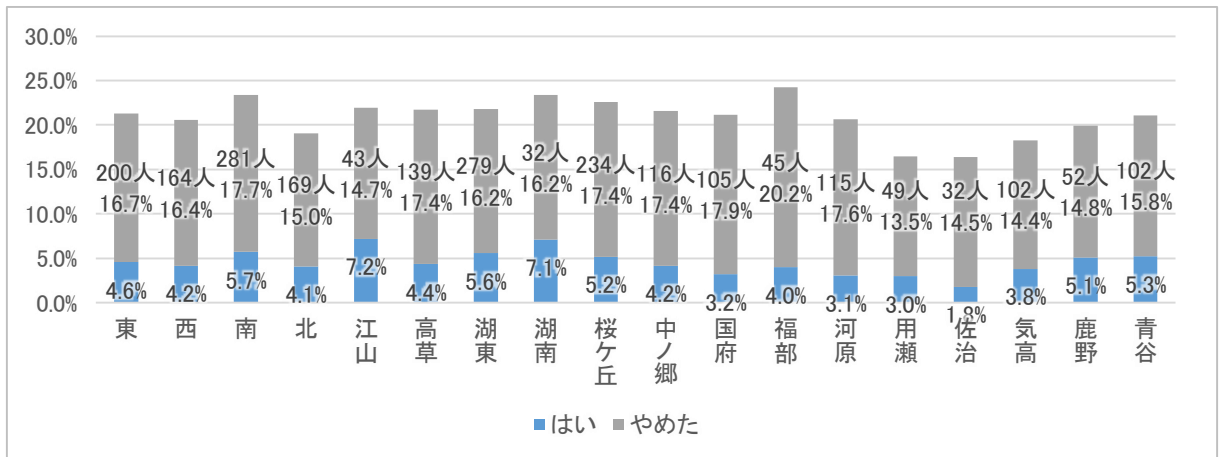
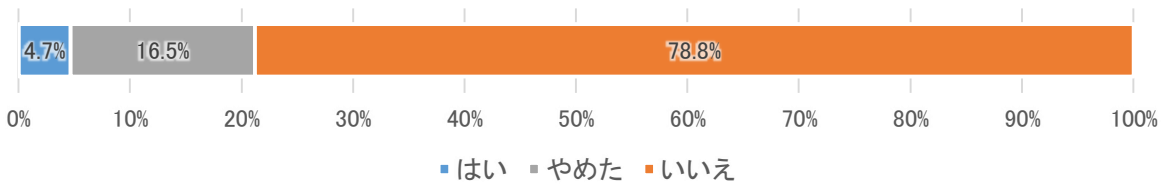


# Ⅲ 体と心の健康状態について（全体・圏域）

## 1 2. あなたはたばこを吸いますか

現在タバコを吸っている人は、江山圏域と湖南圏域が高くなっている。やめた人の割合は福部圏域が高くなっているが、現在吸っている人と合計した喫煙経験者は福部圏域が最も高くなっている。

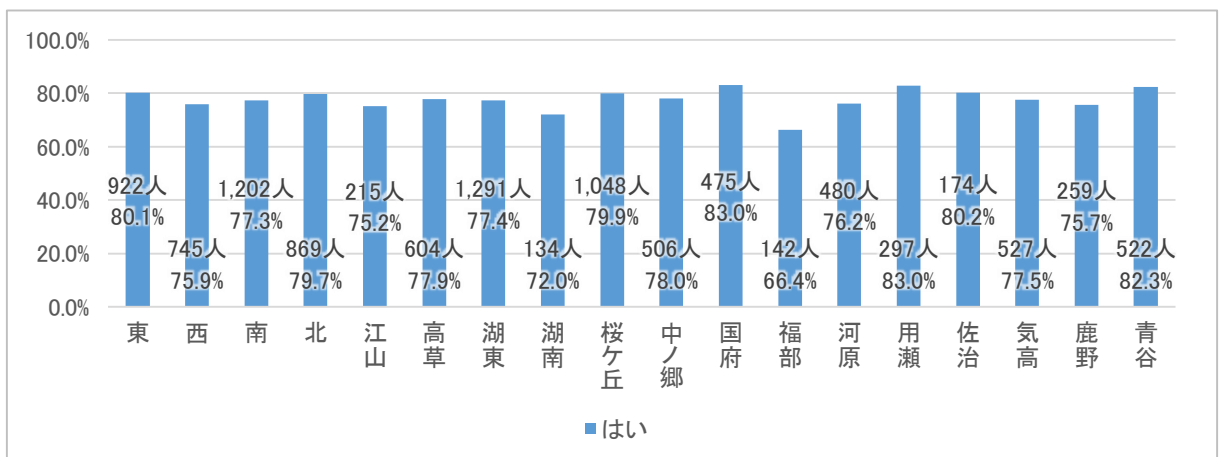
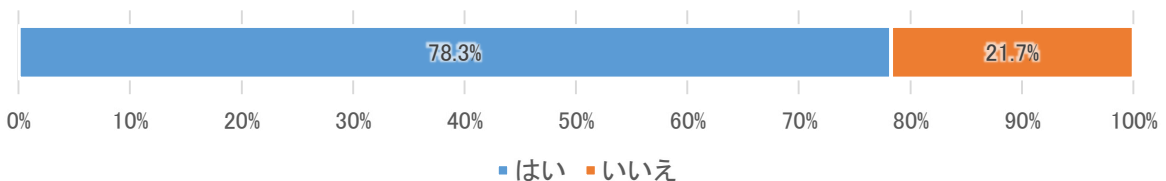
【全体の傾向】



## 1 8. あなたは年に1回程度、健診を受診していますか。

「はい」と回答した割合が最も低いのは福部圏域の約66%となっている。他の圏域ではいずれも7割以上が「はい」と回答している。

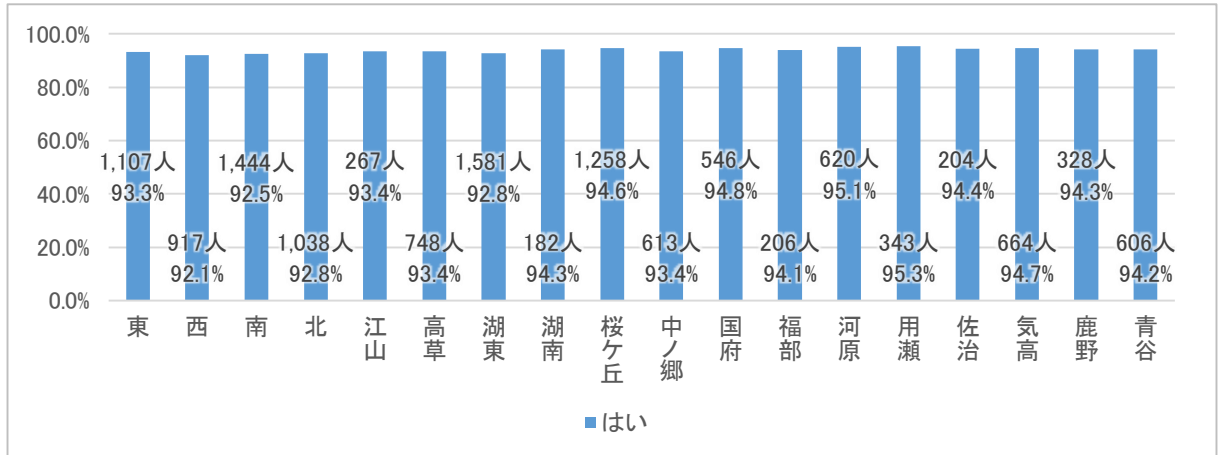
【全体の傾向】



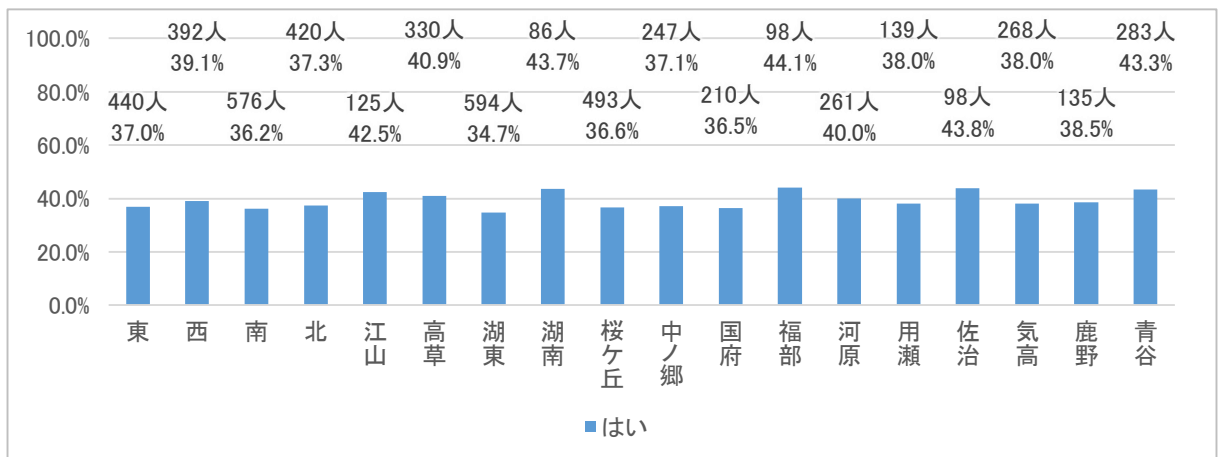
# IV 食習慣・口腔機能について（全体・圏域）

いずれの質問も、圏域での差はほとんど見られない。

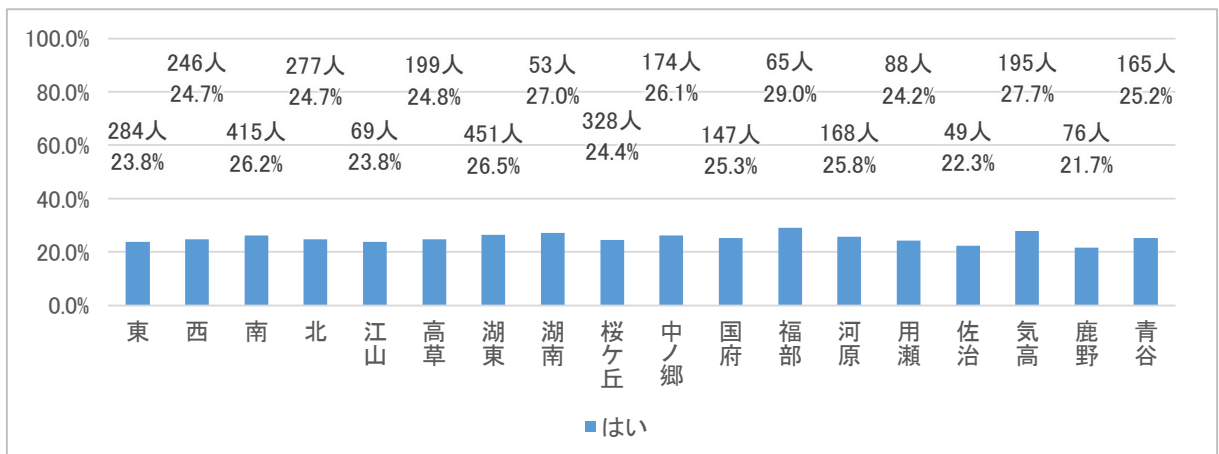
## 3. 1日3食きちんと食べていますか



## 4. 半年前に比べて固いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか



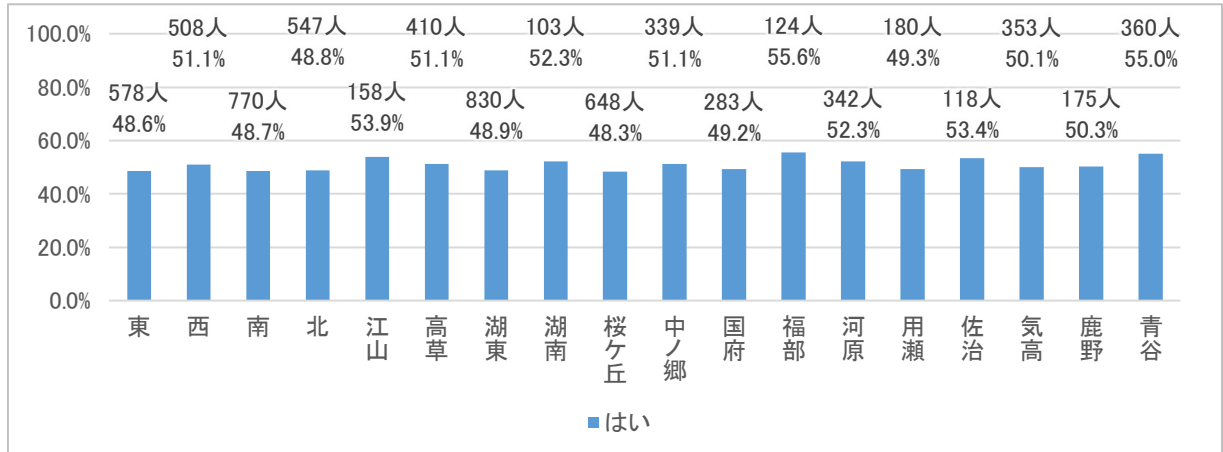
## 5. お茶や汁物などでむせることがありますか



## IV 食習慣・口腔機能について（全体・圏域）

割合が最も高いのは福部の55.6%で、最も低いのは東圏域の48.6%となった。  
 こちらも、圏域ごとの大きな差は見られない。

質問4「半年前に比べて固いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか〔はい/いいえ〕」と質問5「お茶や汁物などでむせることがありますか〔はい/いいえ〕」のいずれかに「はい」と回答した人数と割合。

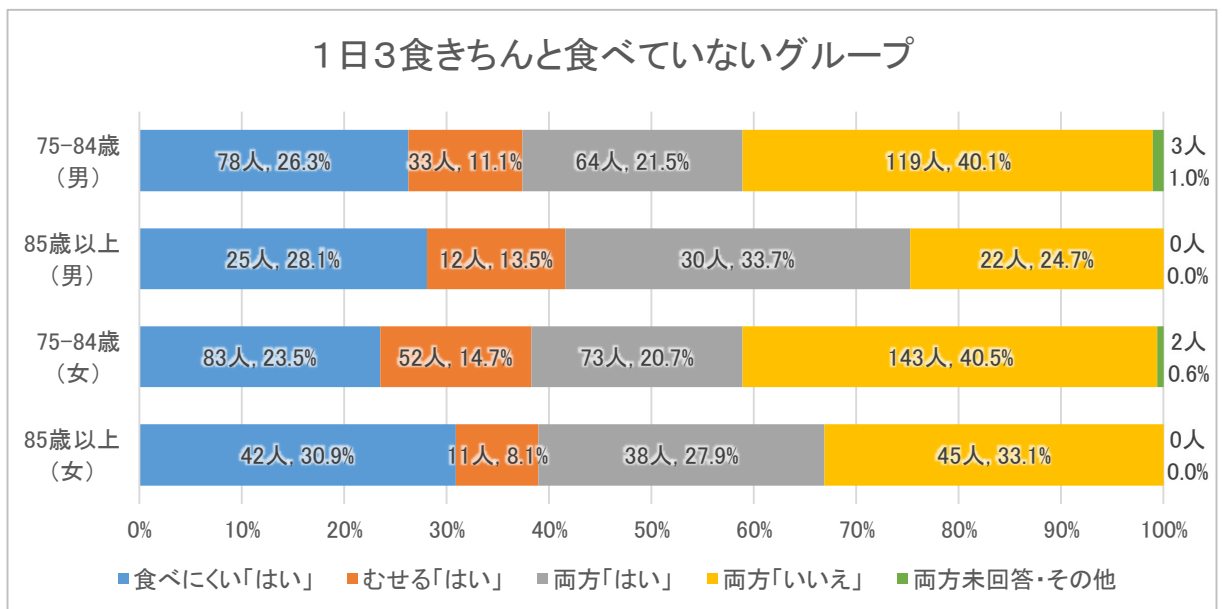
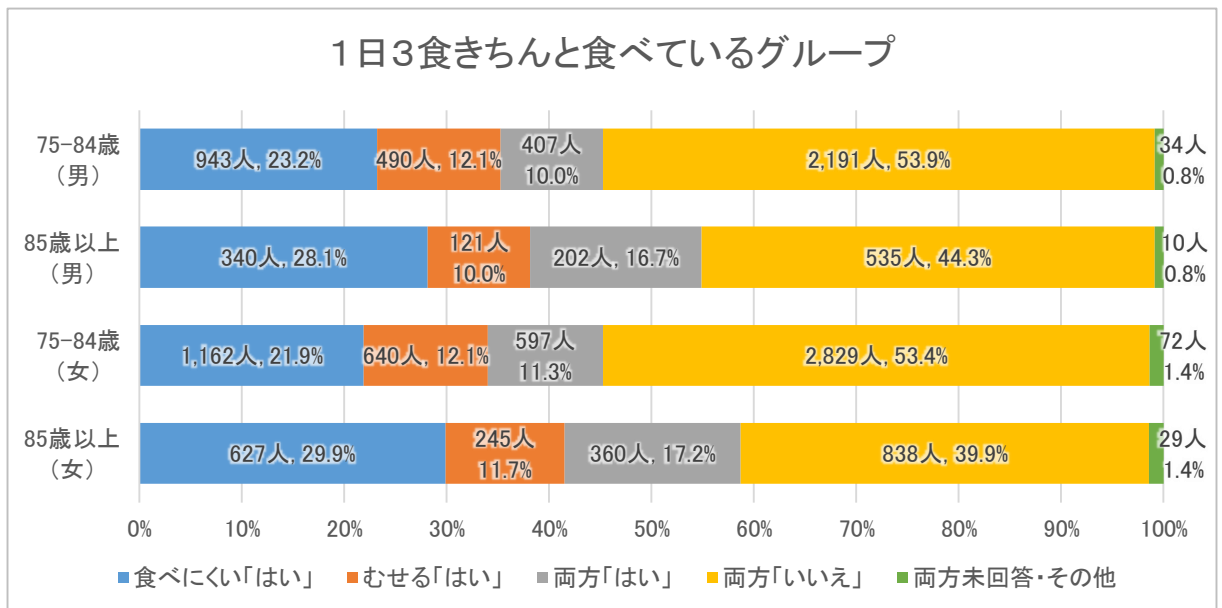


## Ⅳ 食習慣・口腔機能について（全体・圏域）

1日3食きちんと食べると回答したグループより、きちんと食べていないグループの方が食べにくくなってきたり、むせやすいと回答する割合が高くなっている。

特に、85歳以上男性で比較すると、両方「いいえ」と回答している人の割合で20ポイント程度差が出ている。

**質問3「1日3食きちんと食べていますか〔はい/いいえ〕」に対してそれぞれ回答した方のうち、質問4「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか〔はい/いいえ〕」、質問5「お茶や汁物等でむせることがありますか〔はい/いいえ〕」に回答した人数と割合。**

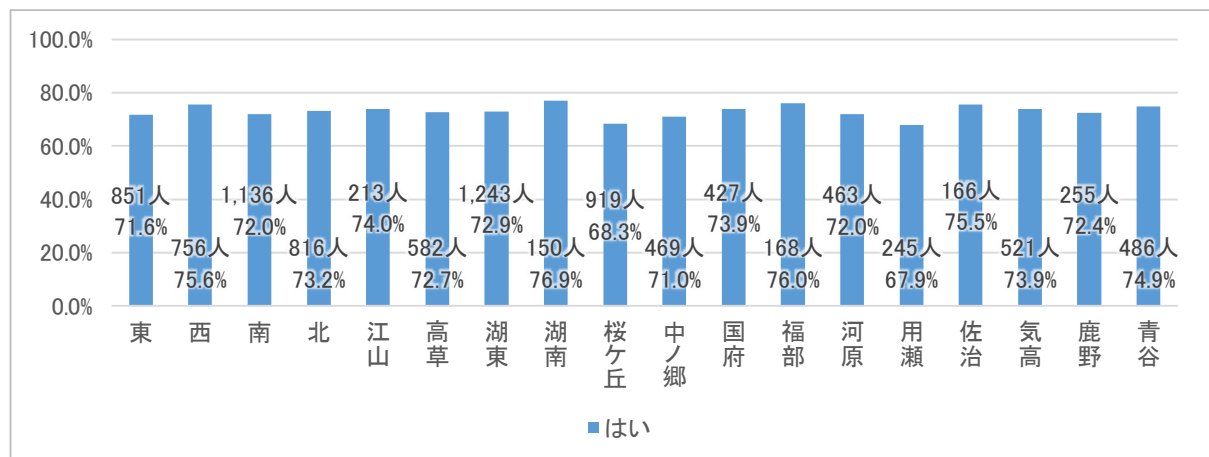


※【食べにくい「いいえ」・むせる「未回答」】や、【食べにくい「未回答」・むせる「いいえ」】の組み合わせは、「その他」として集計。

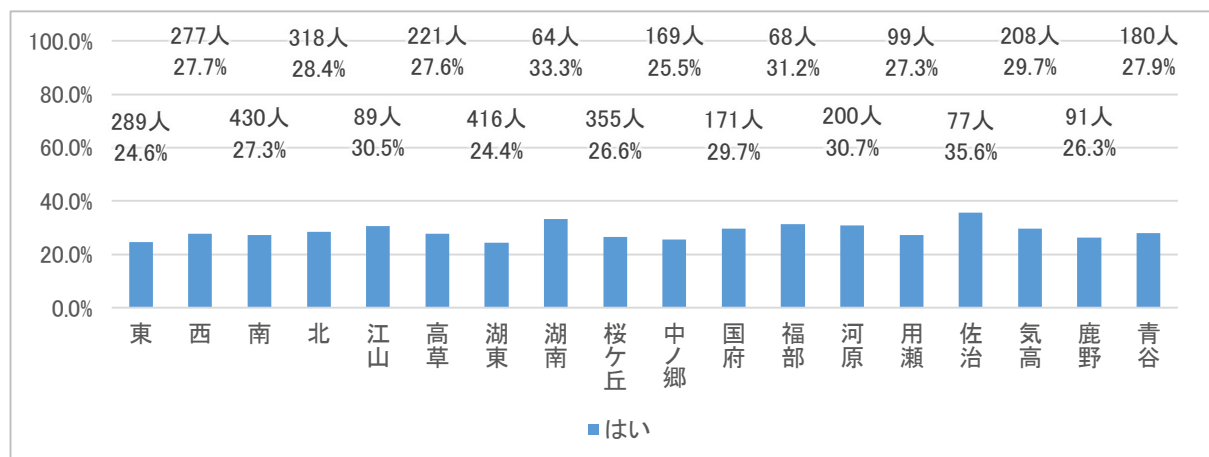
# V 運動・転倒について（全体・圏域）

ウォーキング等の運動をしている人がやや少ない傾向にある江山・湖南・福部・佐治圏域では、歩く速度が遅くなってきたと感じる人や、この1年間に転倒した経験のある人も若干多くなっている。

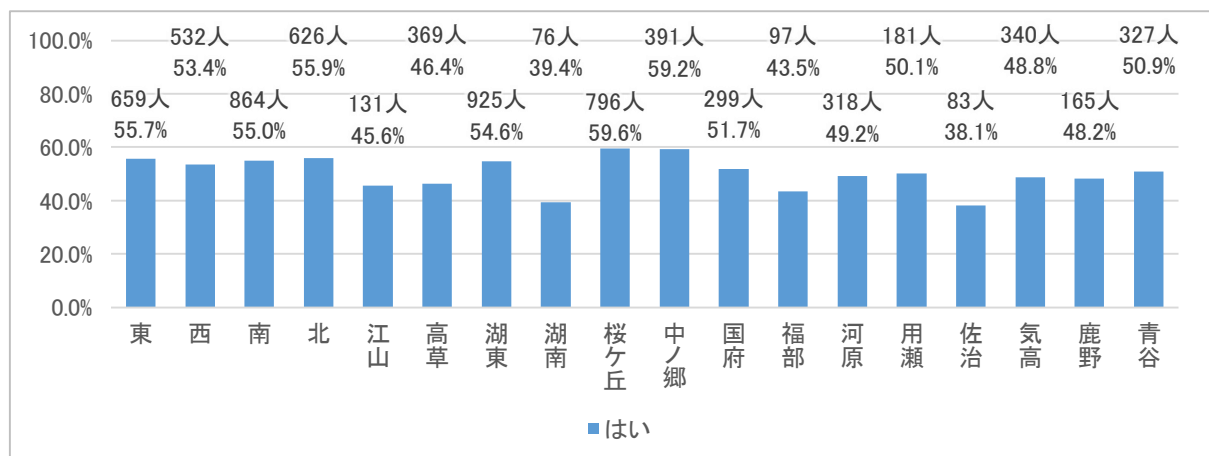
## 6. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか



## 8. この1年間に転んだことがありますか



## 9. ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか

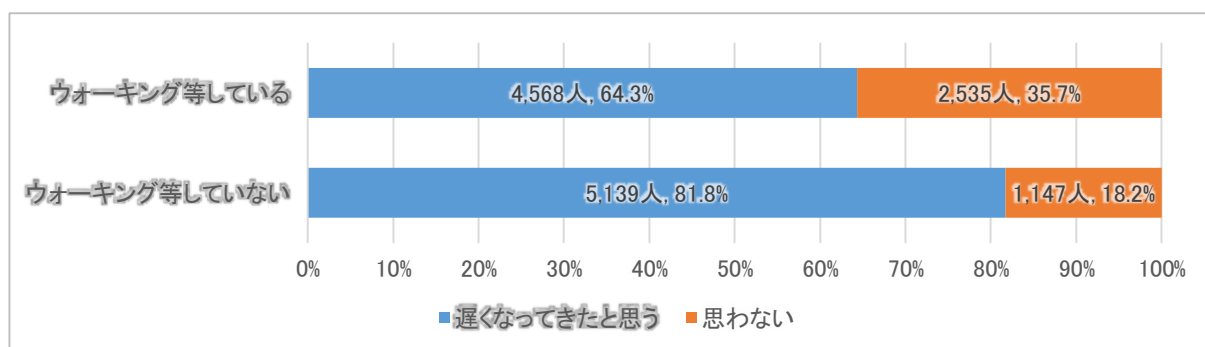


## V 運動・転倒について（全体・圏域）

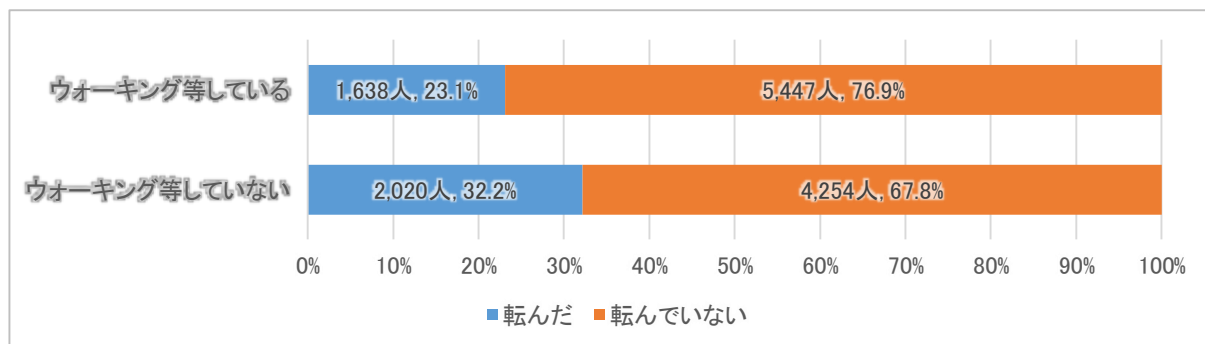
歩く速度が遅くなってきたと感じる人の割合は、ウォーキング等の運動をしている人の方が、していない人よりも15ポイント程度低い。

同様に、ウォーキング等している人の方が、していない人より、この1年間に転んだことがあると回答した割合が10ポイント程度低い。

**質問9「ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか〔はい/いいえ〕」に対してそれぞれ回答した方のうち、質問6「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか〔はい/いいえ〕」と回答した人数と割合。**



**質問9「ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか〔はい/いいえ〕」に対してそれぞれ回答した方のうち、質問8「この1年間に転んだことがありますか〔はい/いいえ〕」と回答した人数と割合。**

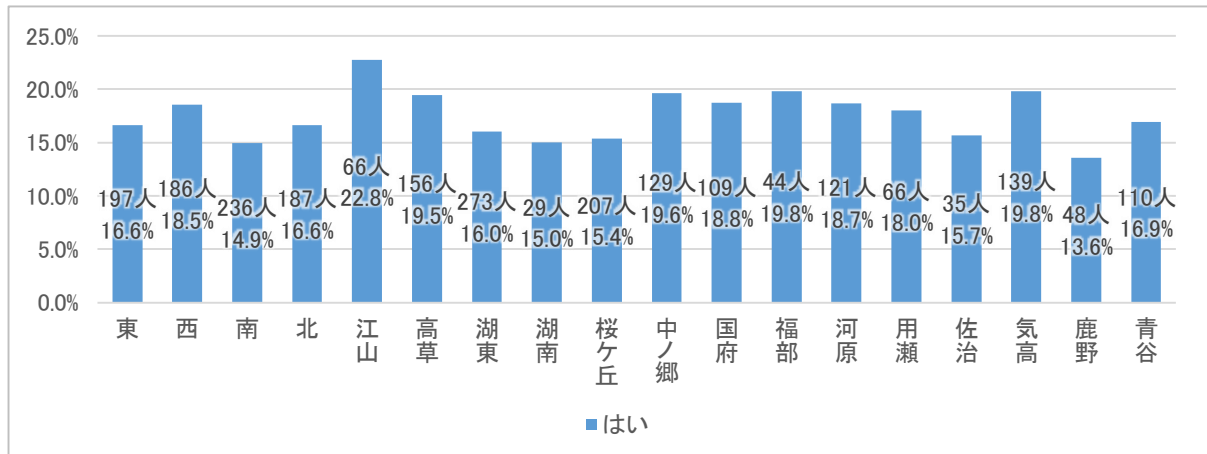




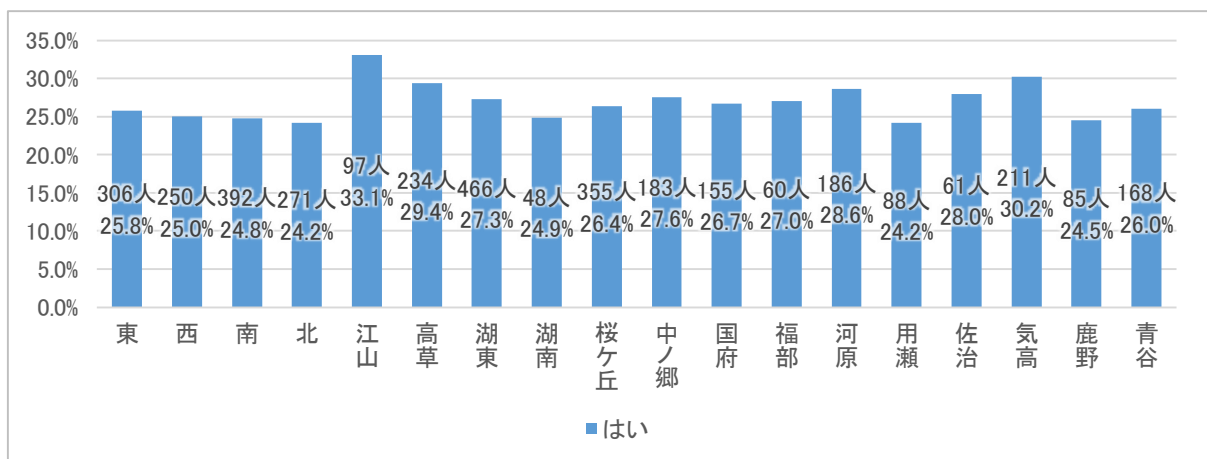
## Ⅵ 認知機能について（全体・圏域）

周囲に物忘れがあるとと言われると回答した人の割合が最も高い江山圏域では、日付がわからない時があると回答している人の割合も最も高くなっている。

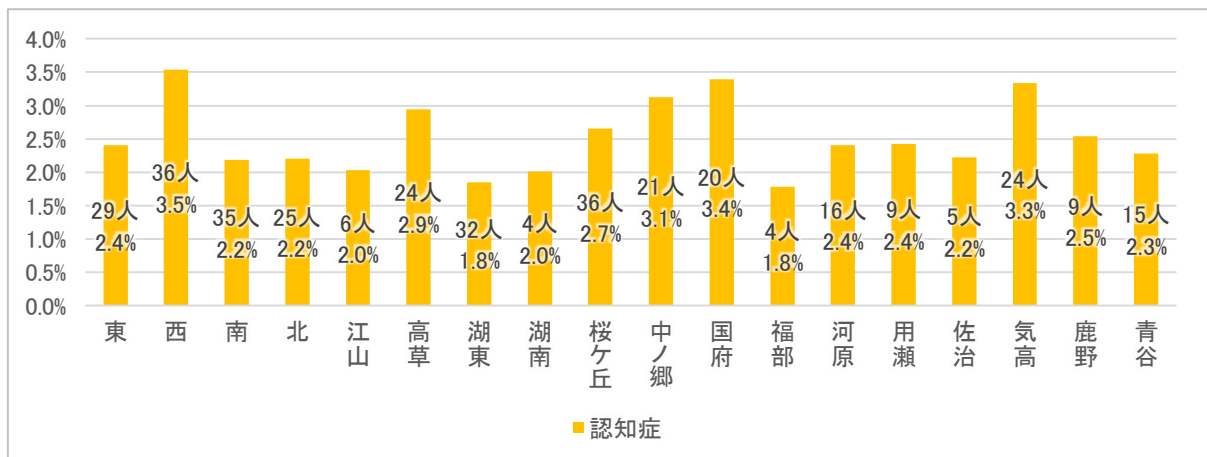
### 10. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか



### 11. 今日が何月何日かわからない時がありますか



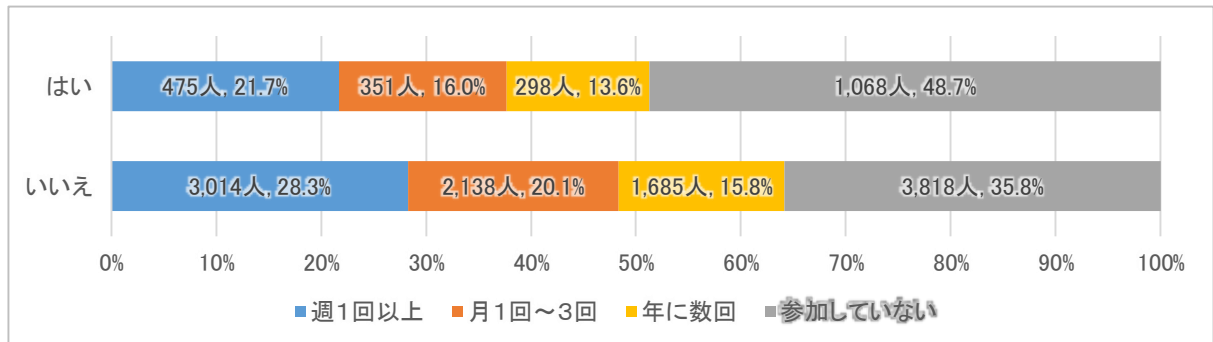
### 19. 現在、次のような病気や病気の後遺症をお持ちですか。（認知症を抜粋）



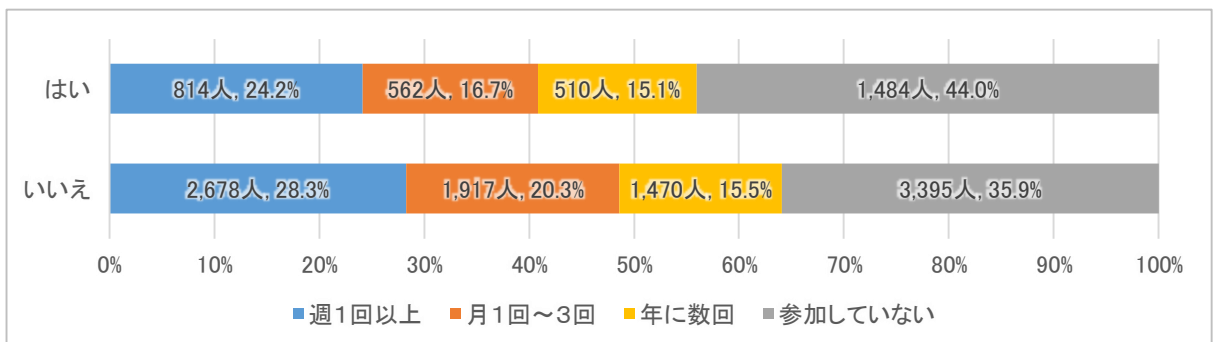
## VI 認知機能について（全体・圏域）

何かしらの集まりに参加している人（外出機会や人と関わる機会が多いと思われる人）の方が、そうでない人より、物忘れの傾向（質問10で「はい」と回答する割合、質問11で「はい」と回答する割合）が低い。

**質問 10「周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか〔はい/いいえ〕」に対してそれぞれ回答した方のうち、質問 2 1で何かしらの集まりにどの程度参加しているかの人数と割合。**



**質問 1 1「今日が何月何日かわからない時がありますか〔はい/いいえ〕」に対してそれぞれ回答した方のうち、質問 2 1で何かしらの集まりにどの程度参加しているかの人数と割合。**



### 【参考】

質問 2 1：次のような集まりに、どのくらいの頻度で参加していますか。

- (1) 介護予防・認知症予防・健康づくりを目的とした集まり（体操、軽い運動、脳トレ等）
- (2) スポーツをするための集まり（上記（1）以外）
- (3) 趣味活動や学習・教養のための集まり
- (4) ボランティアや地域・社会貢献活動のための集まり（町内会での活動も含む）
- (5) (1)～(4)以外の住民同士の交流を主目的とした集まり（サロン、コミュニティカフェ等）

※「この1年間」と「コロナ前の1年間」でそれぞれ回答されたもののうち、ここでは「この1年間」の回答をもとにグラフを作成。

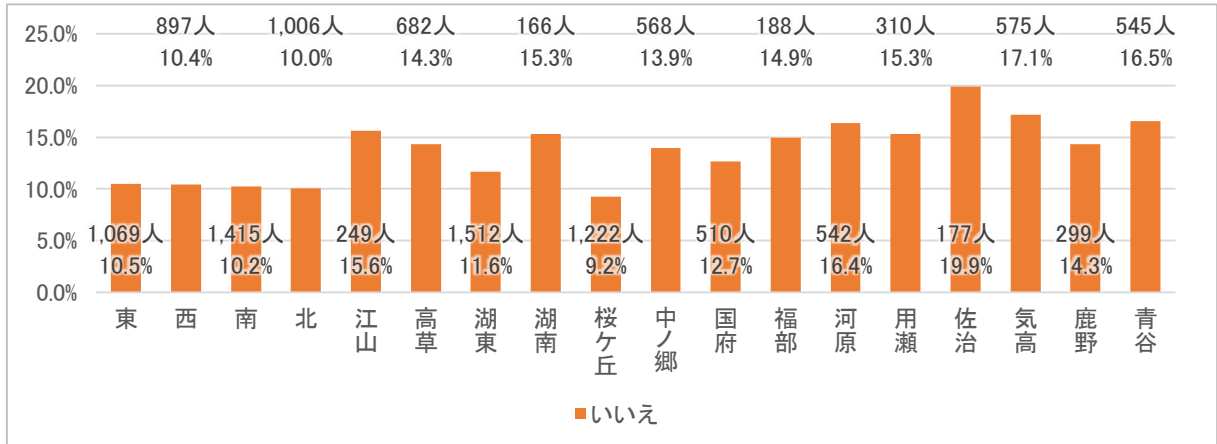
## Ⅶ 社会参加等について（全体・圏域）

週1回以上の外出では、旧郡部や、中心地から離れた圏域で「いいえ」と回答する割合がやや高くなる傾向がある。

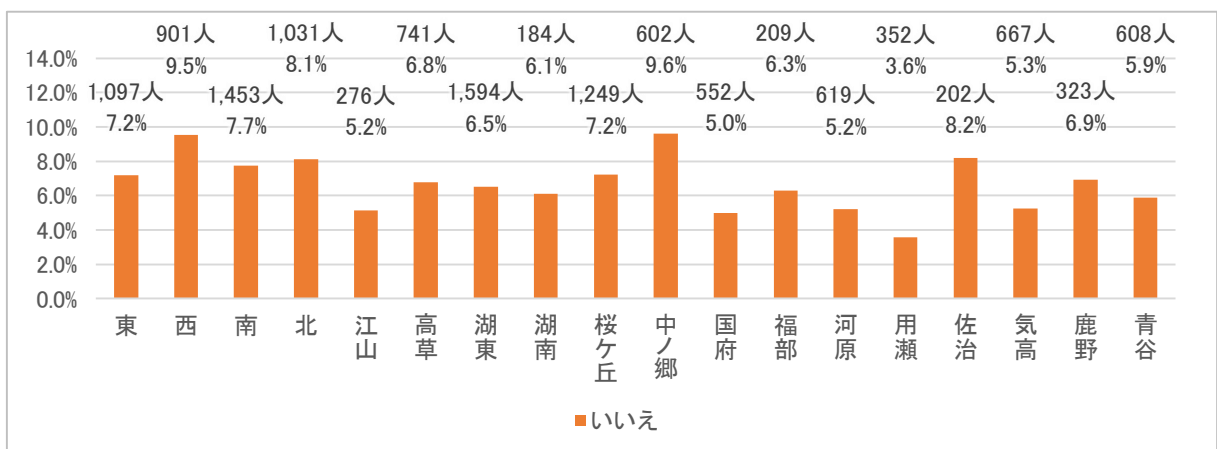
家族や友人との付き合いで「いいえ」と回答する割合（孤立の傾向）が最も高いのは中ノ郷圏域となっており、最も低い用瀬圏域とは6ポイントの差がある。

どの圏域でも、体調が悪い時に身近に相談できる人がいないと回答した人の割合は1割以下だった。

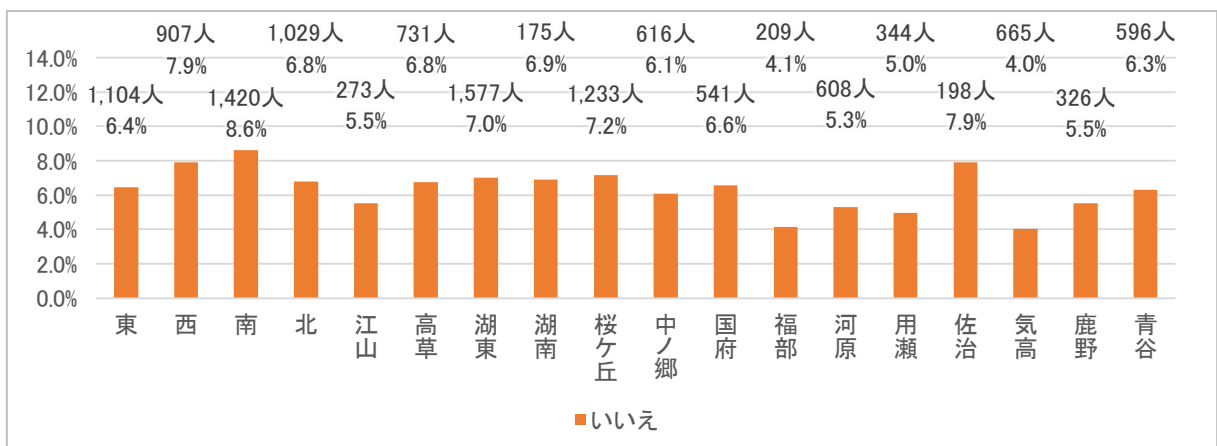
### 1 3. 週に1回以上は外出していますか



### 1 4. ふだんから家族や友人と付き合いがありますか



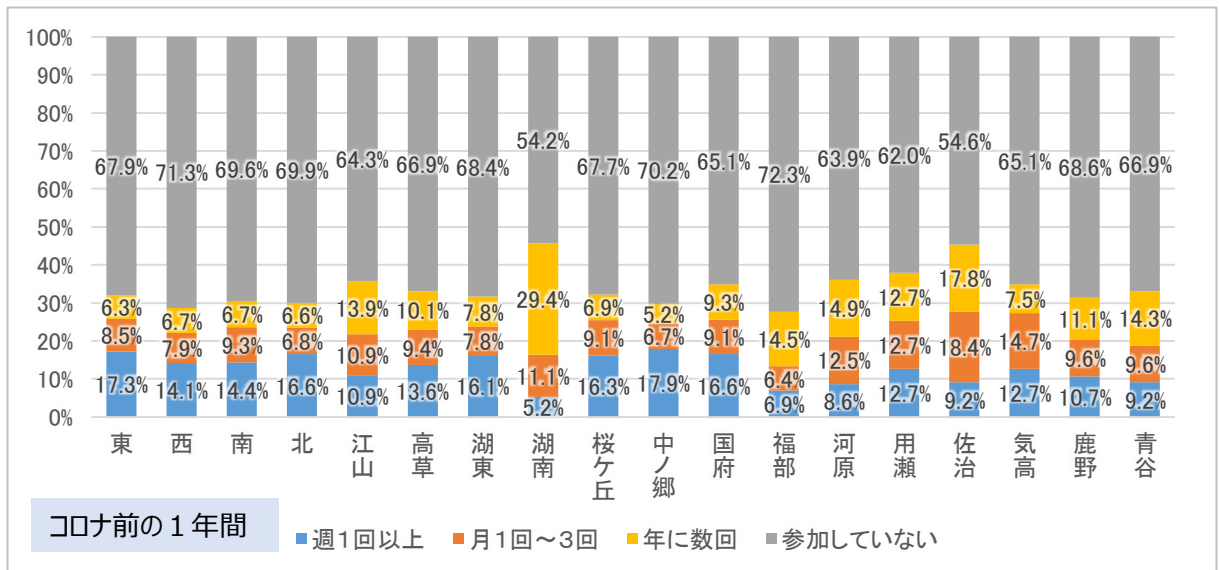
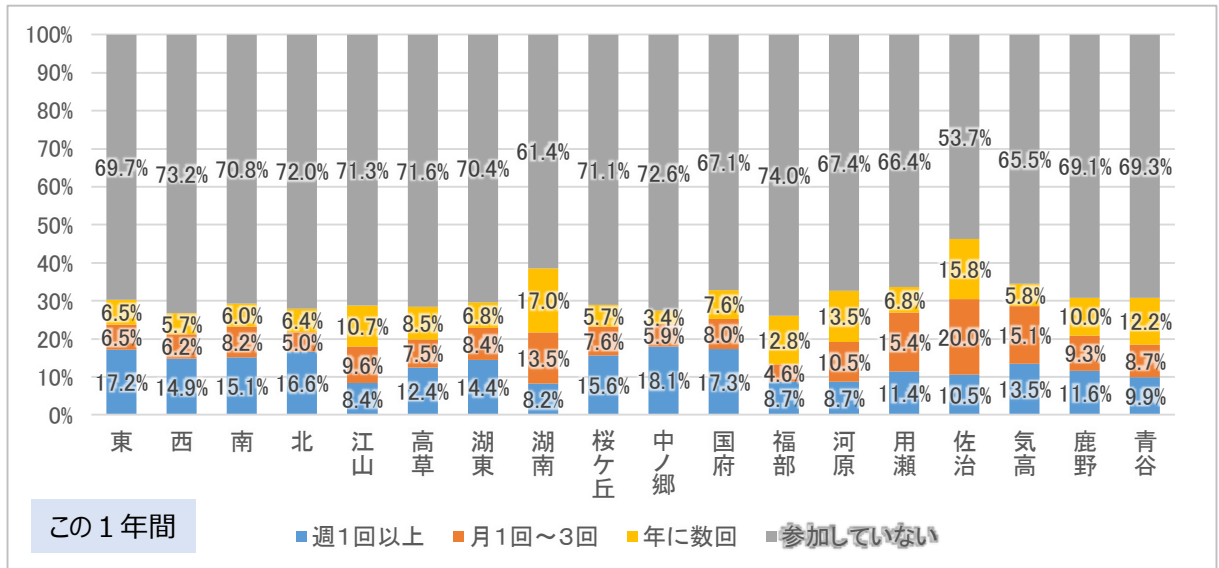
### 1 5. 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか



## Ⅶ 社会参加等について（全体・圏域）

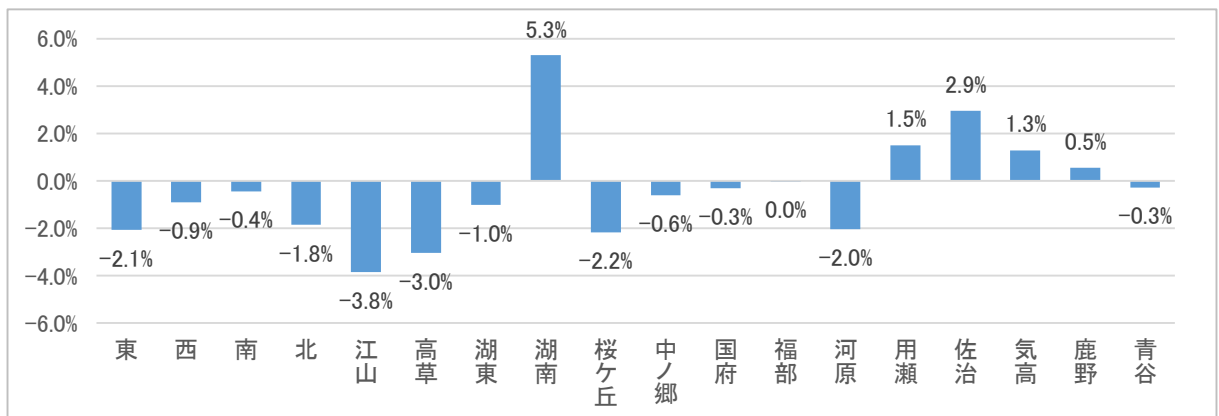
質問 2 1「次のような集まりに、どのくらいの頻度で参加していますか。それぞれの集まりで、該当する回答 1 つに○をしてください。」

(1) 介護予防・認知症予防・健康づくりを目的とした集まり(体操、軽い運動、脳トレ等)



「週1回以上」又は「月に1回～3回」と回答した人の、コロナ前後の比較。

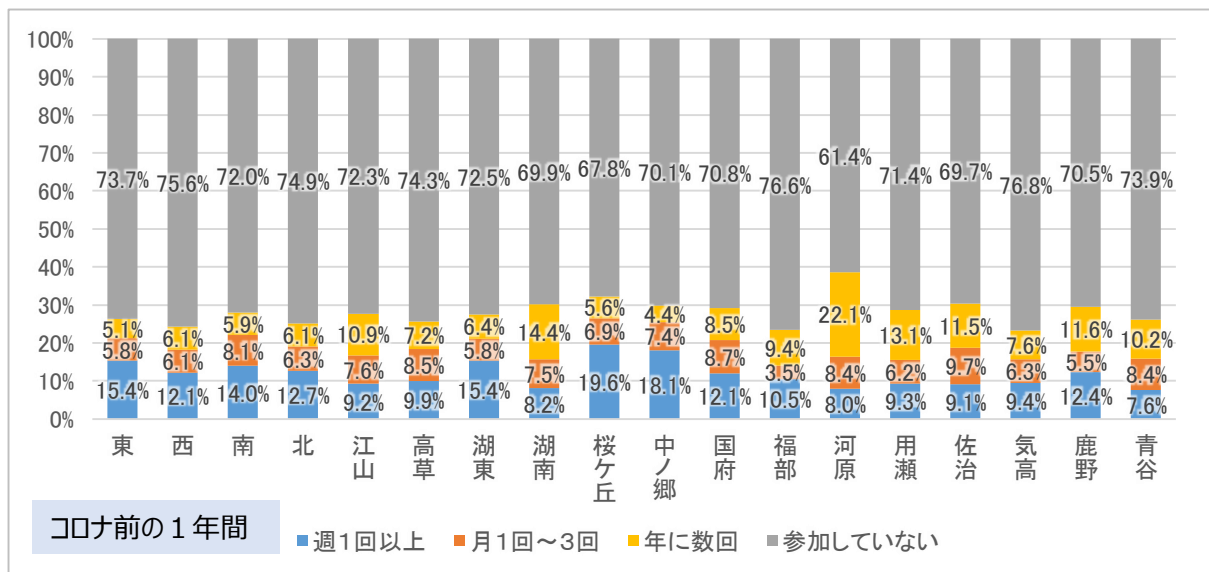
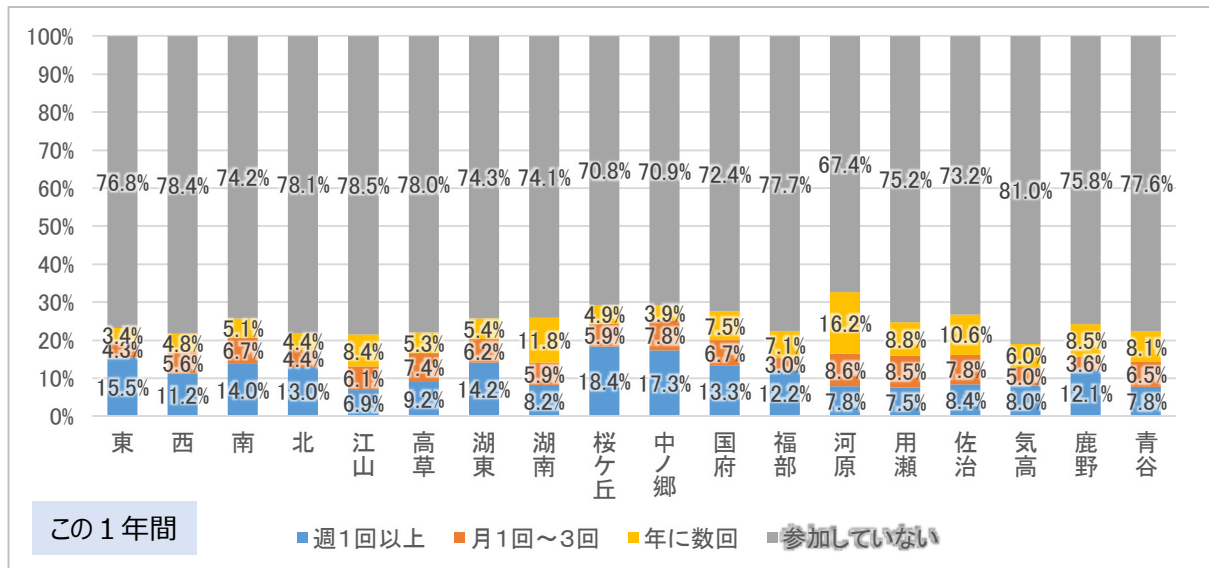
※「週1回以上」又は「月に1回～3回」と回答した人の割合について、この1年からコロナ前の1年を減じた割合の差。



# Ⅶ 社会参加等について（全体・圏域）

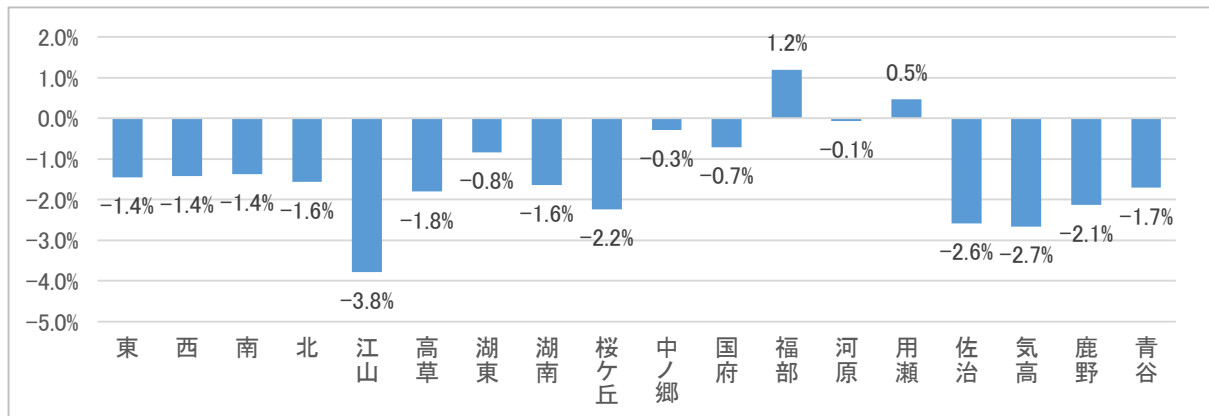
質問 2 1「次のような集まりに、どのくらいの頻度で参加していますか。それぞれの集まりで、該当する回答 1 つに○をしてください。」

（2）スポーツをするための集まり（（1）以外）



「週1回以上」又は「月に1回～3回」と回答した人の、コロナ前後の比較。

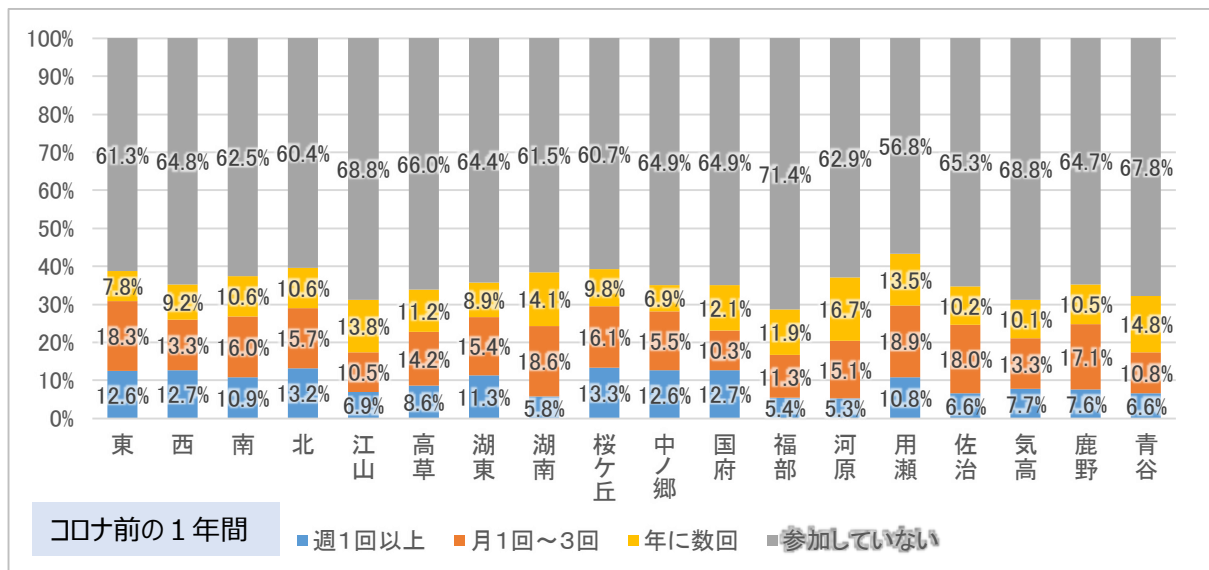
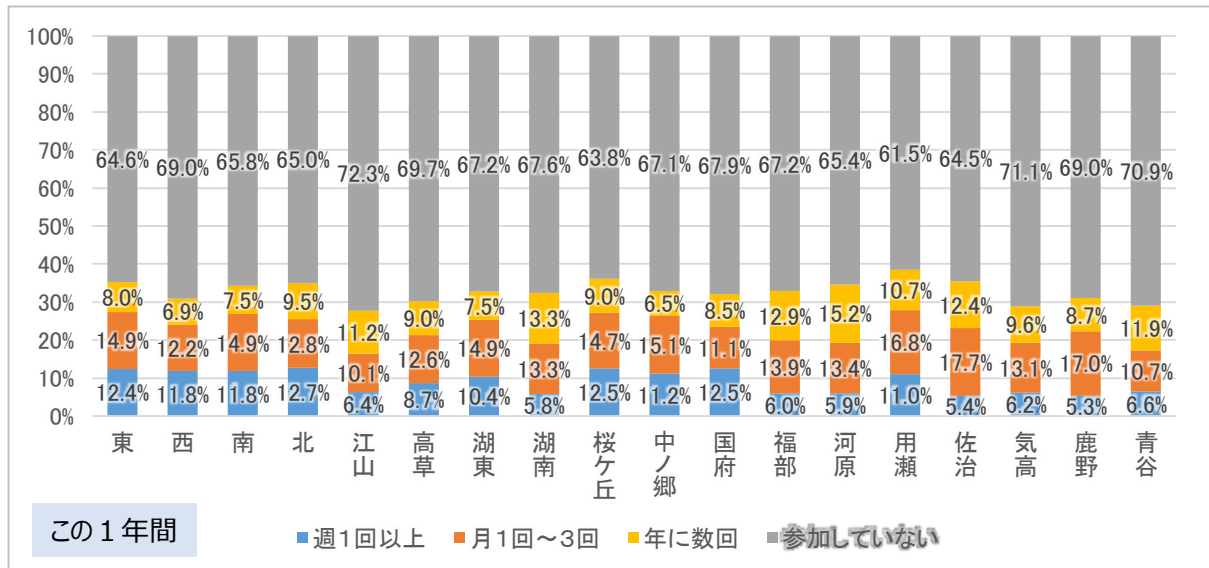
※「週1回以上」又は「月に1回～3回」と回答した人の割合について、この1年からコロナ前の1年を減じた割合の差。



## Ⅶ 社会参加等について（全体・圏域）

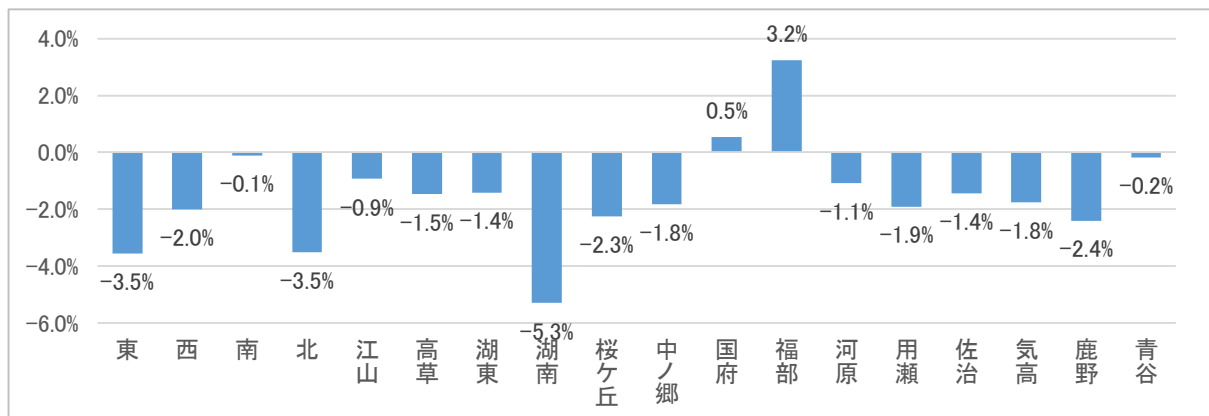
質問 2 1「次のような集まりに、どのくらいの頻度で参加していますか。それぞれの集まりで、該当する回答 1 つに○をしてください。」

（3）趣味活動や学習・教養のための集まり



「週1回以上」又は「月に1回～3回」と回答した人の、コロナ前後の比較。

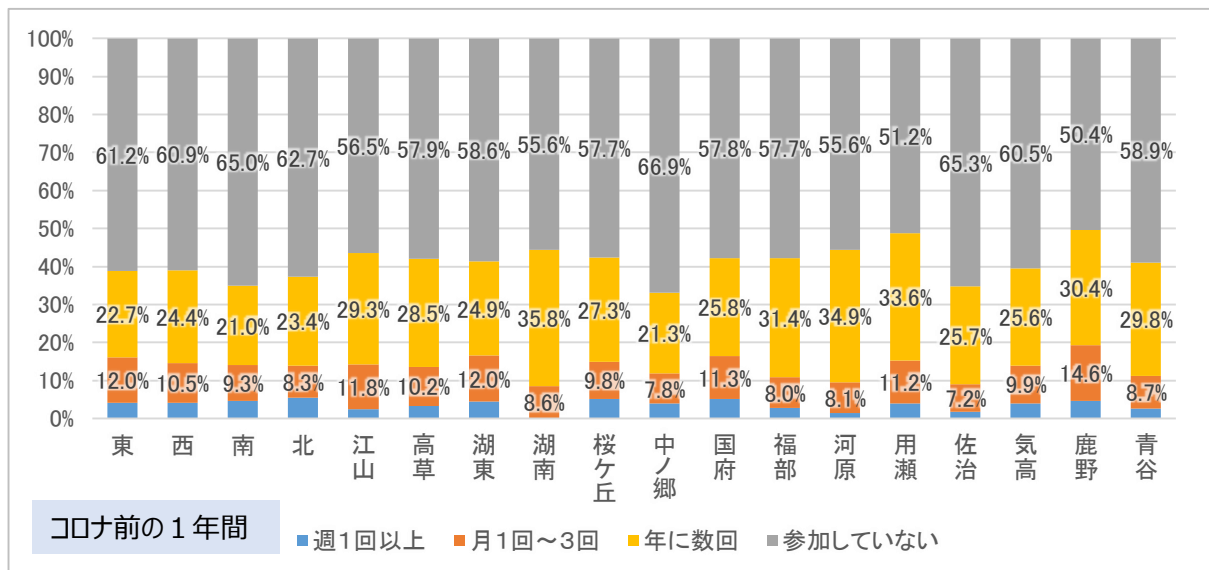
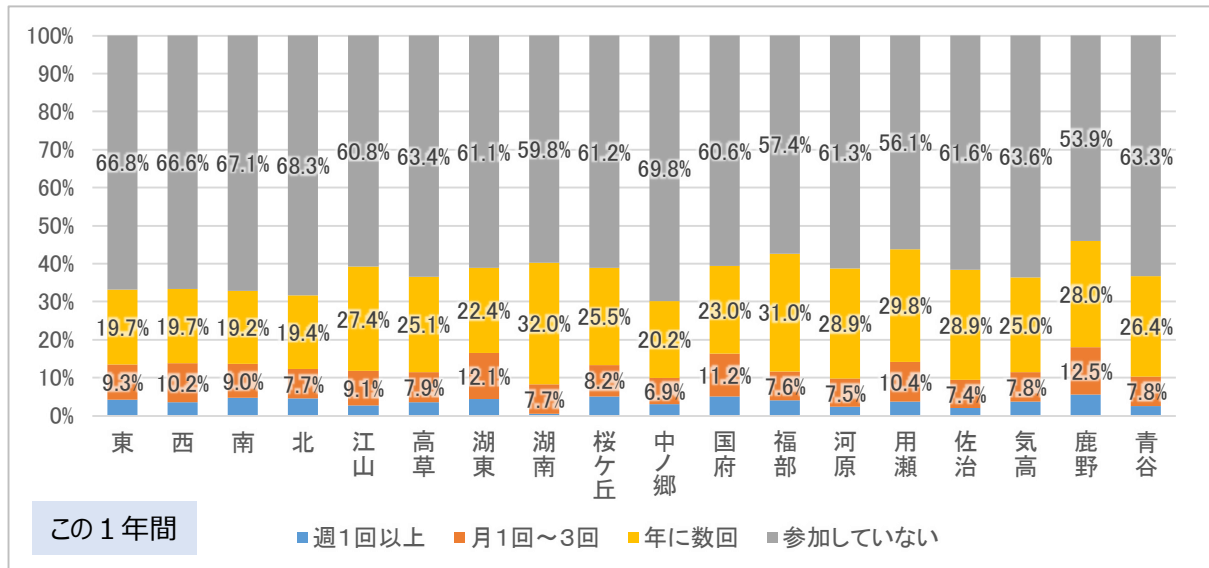
※「週1回以上」又は「月に1回～3回」と回答した人の割合について、この1年からコロナ前の1年を減じた割合の差。



## Ⅶ 社会参加等について（全体・圏域）

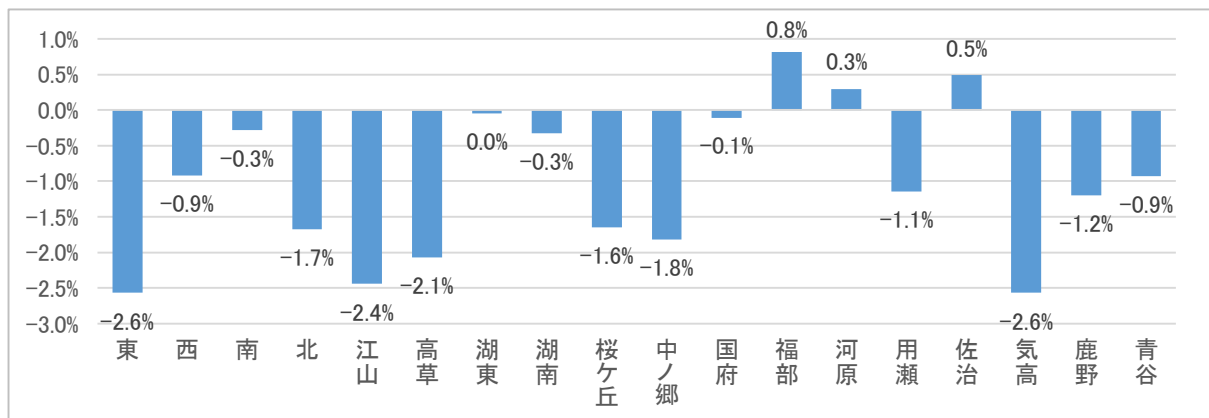
質問 2 1「次のような集まりに、どのくらいの頻度で参加していますか。それぞれの集まりで、該当する回答 1 つに○をしてください。」

（4）ボランティアや地域・社会貢献活動のための集まり(町内会での活動も含む)



「週1回以上」又は「月に1回～3回」と回答した人の、コロナ前後の比較。

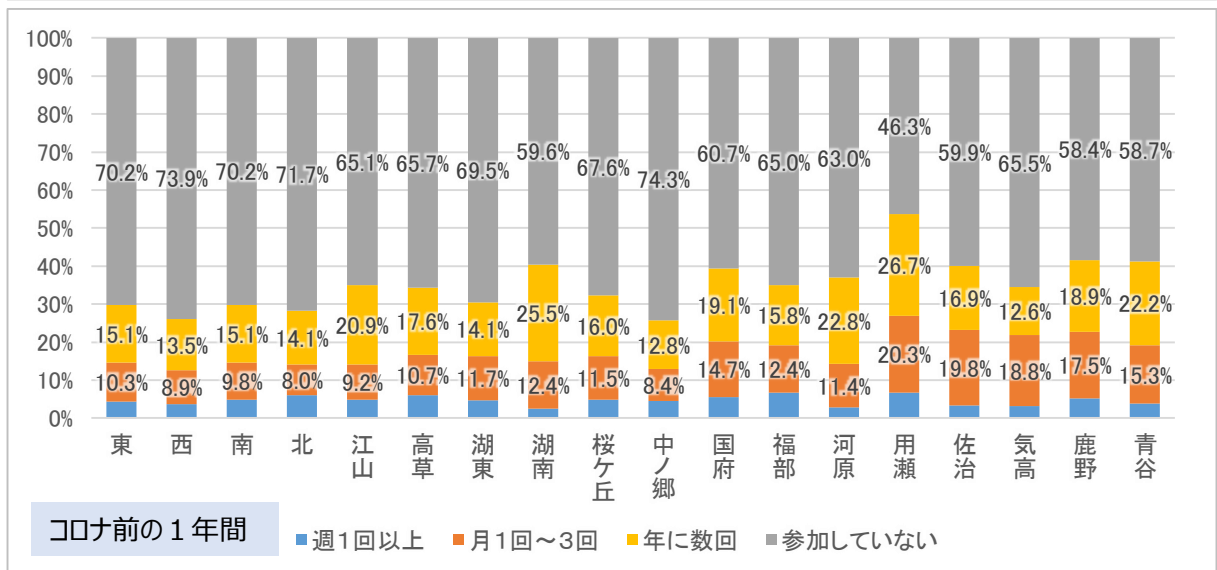
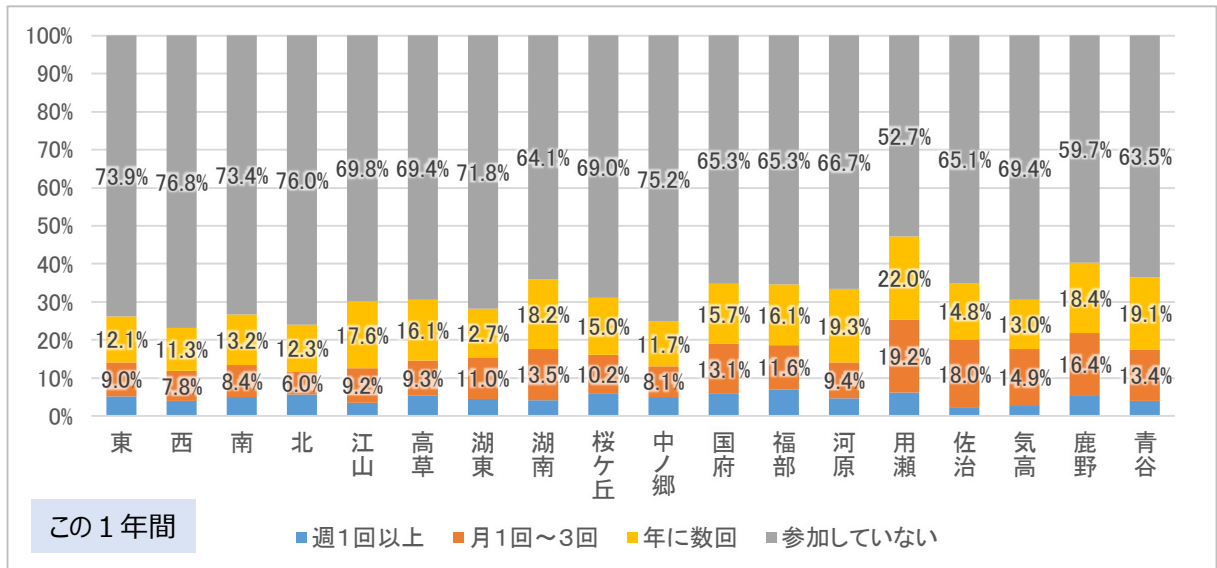
※「週1回以上」又は「月に1回～3回」と回答した人の割合について、この1年からコロナ前の1年を減じた割合の差。



## Ⅶ 社会参加等について（全体・圏域）

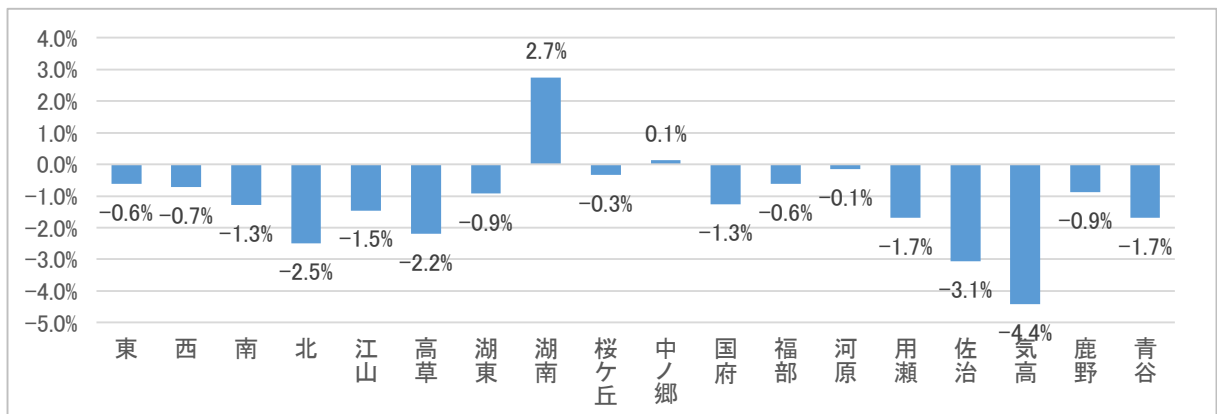
質問 2 1「次のような集まりに、どのくらいの頻度で参加していますか。それぞれの集まりで、該当する回答 1 つに○をしてください。」

(5) (1)～(4)以外の住民同士の交流を主目的とした集まり(サロン、コミュニティカフェ等)



「週1回以上」又は「月に1回～3回」と回答した人の、コロナ前後の比較。

※「週1回以上」又は「月に1回～3回」と回答した人の割合について、この1年からコロナ前の1年を減じた割合の差。





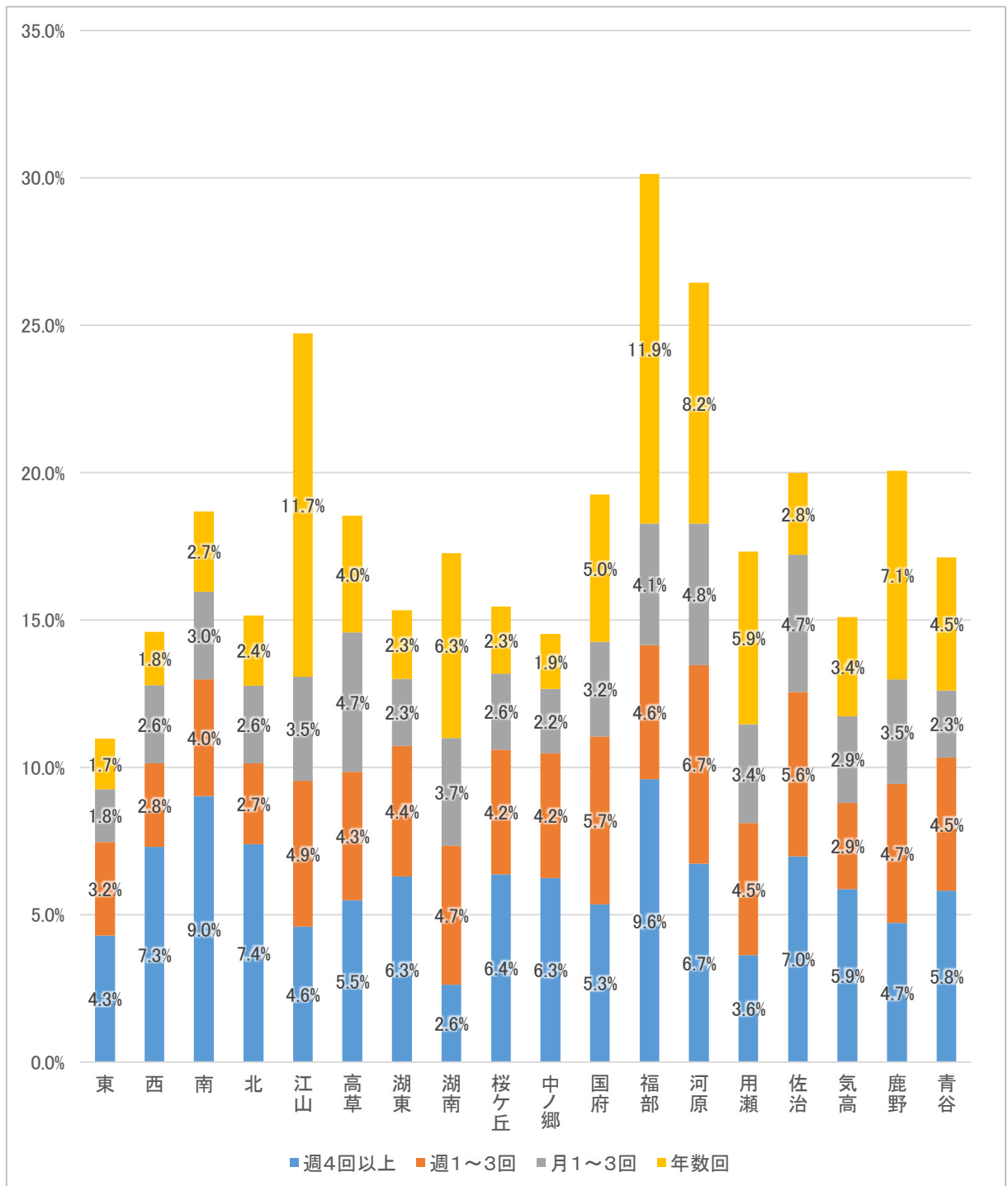
## Ⅶ 社会参加等について（全体・圏域）

福部圏域が最も高くなっており、河原圏域、江山圏域の順に高くなっている。

84歳以下と85歳以上を比較すると、東圏域と湖南圏域は、84歳以下よりも85歳以上で大きく減少が見られる一方で、福部圏域では週4回以上仕事をしている人の割合が微増となっているなど、変化があまり見られない圏域もある。

### 22. 経済状況について、それぞれの質問で該当する回答1つに○をしてください。

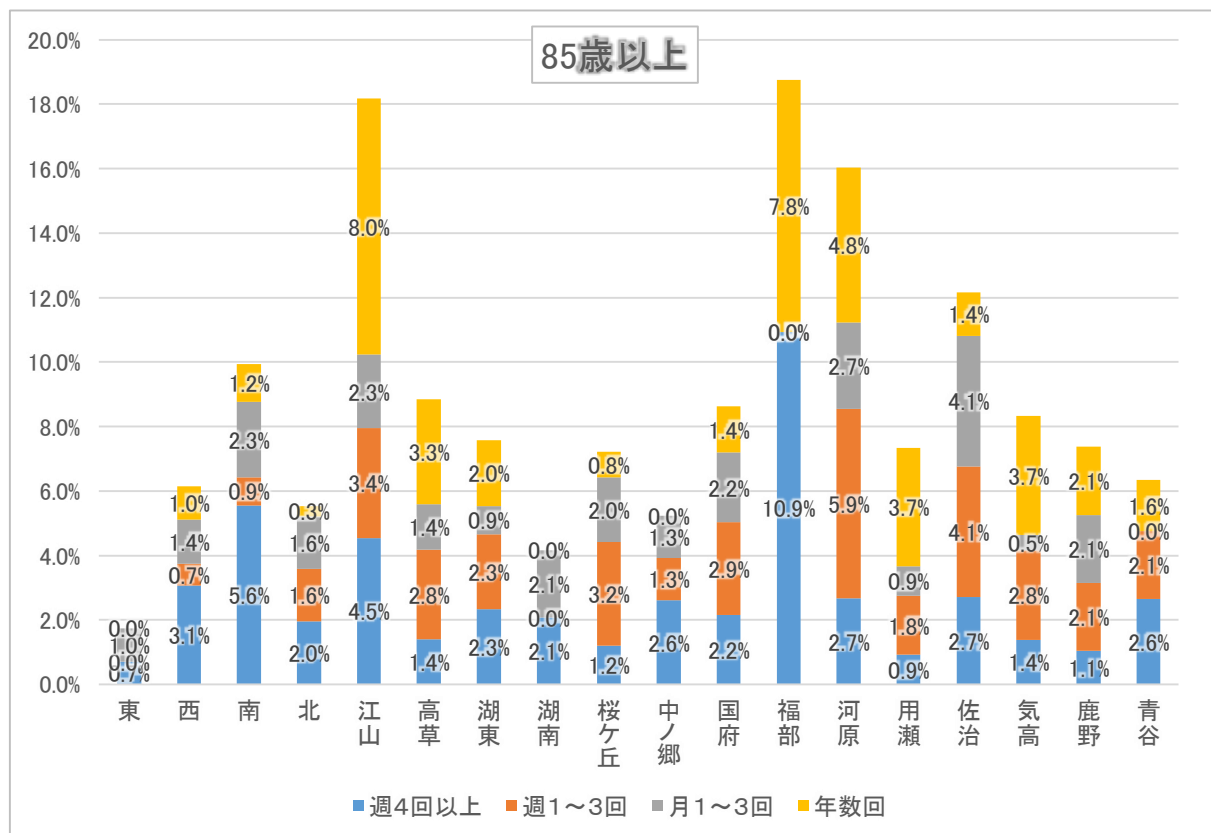
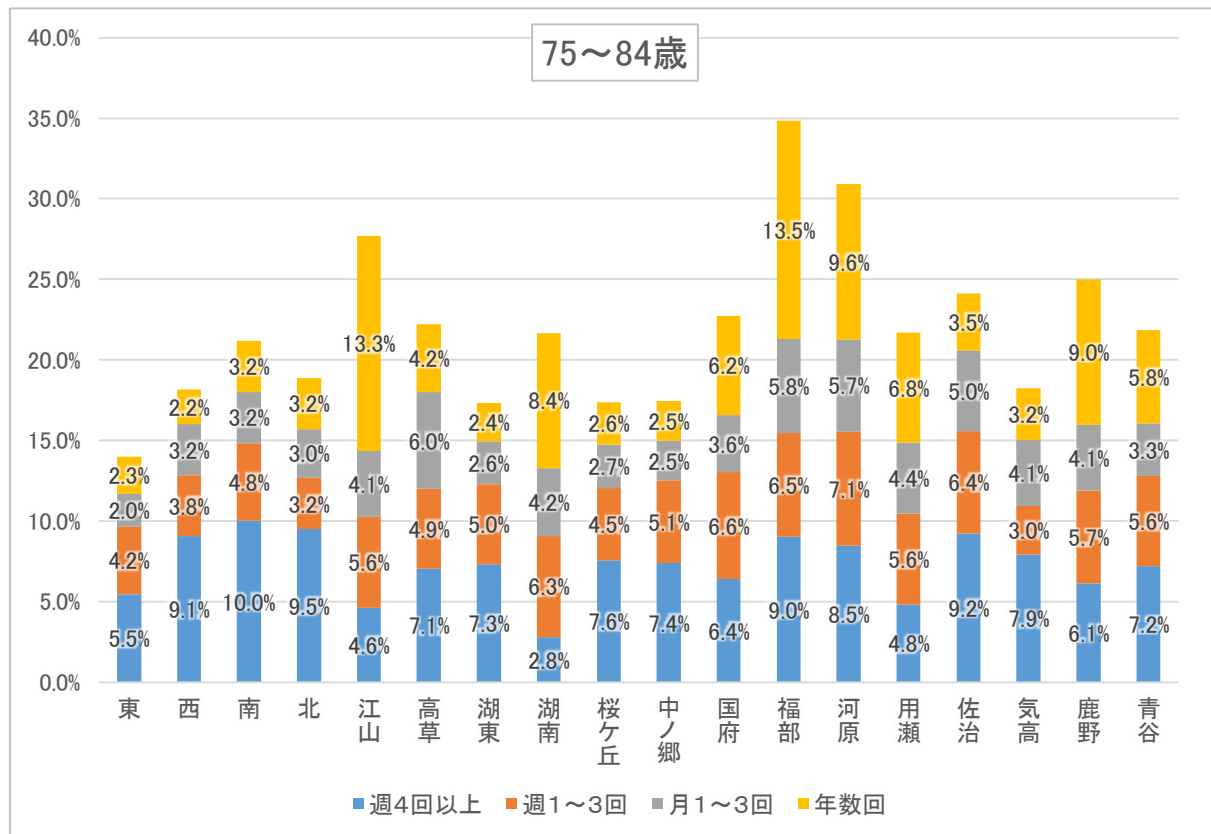
（1）現在、あなたはどれくらいの頻度で収入のある仕事をしていますか



# Ⅶ 社会参加等について（全体・圏域）

## 22. 経済状況について、それぞれの質問で該当する回答1つに○をしてください。

（1）現在、あなたはどれくらいの頻度で収入のある仕事をしていますか（続き）  
（年代別・再掲）



※目盛りの上限が異なっていることに注意（上表：40%、下表：20%）

# Ⅶ 社会参加等について（全体・圏域）

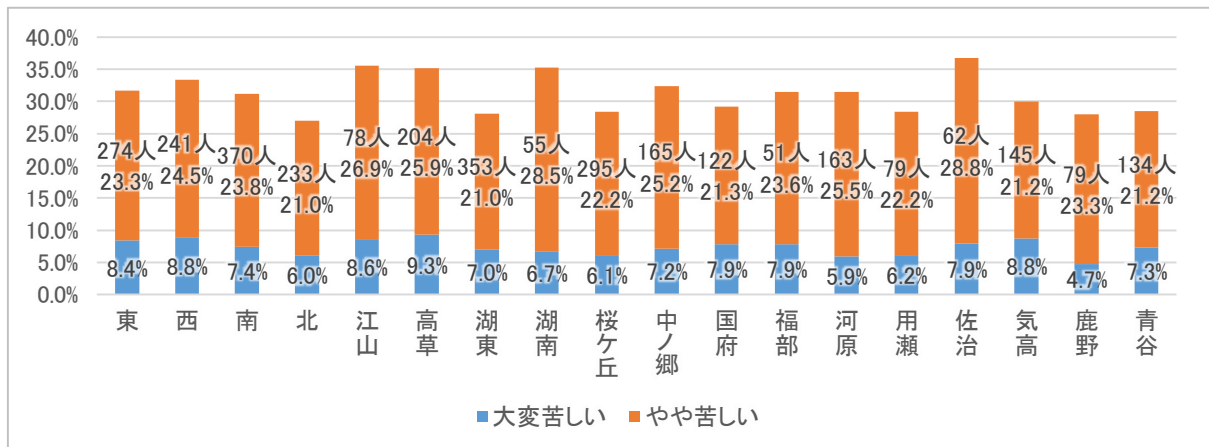
経済的に苦しいと回答している人の割合は、佐治圏域が最も高くなっており、江山・高草・湖南の各圏域がほぼ横並びで続いている。

あいさつ以上の近所づきあいがある人の割合は、どの圏域でも90%以上となっている。

取り残されていると感じることが「よくある」と回答した割合は佐治圏域が最も高くなっているが、「ときどきある」を含めた割合では福部圏域が最も高くなっている。

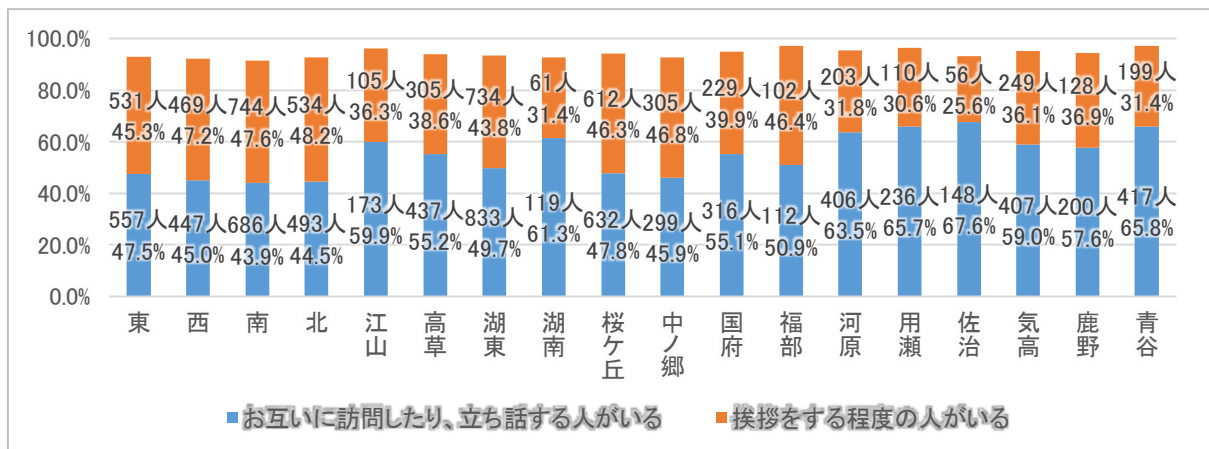
## 22. 経済状況について、それぞれの質問で該当する回答1つに○をしてください。

(2) 現在の暮らしの状況を、経済的に見てどう感じていますか。

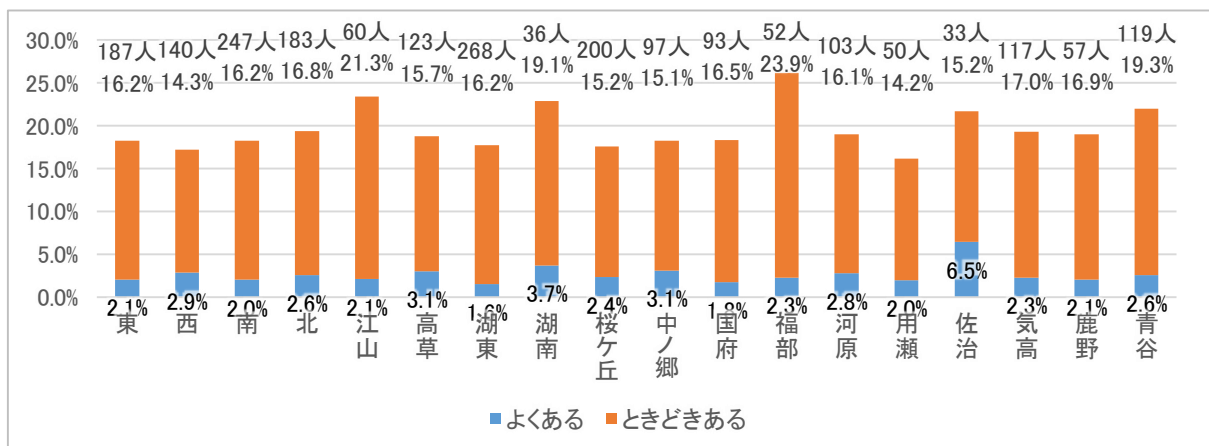


## 23. 以下の質問について、該当する回答1つに○をしてください。

(1) あなたは、近所の人とどの程度のつきあいがありますか



(2) 自分は他の人達から取り残されていると感じることはありますか



## 1 鳥取市全体の傾向

- 健康状態、生活の満足度、経済状況は幸福度に大きな影響を与えており、何かしらの集まりに参加することや近所づきあいの程度は、幸福度にやや影響を与えていると考えられる。(P34-38)
- どの圏域でも、男性より女性の方が幸福度が高くなっている。(P39)
- 食習慣や口腔の状態については、圏域ごとの大きな差は見られない。(P44-45)
- 固いものが食べにくくなってきた、又は汁物等でむせることがあると回答しているのは全体の半数近くに上っている。オーラルフレイルは身体的フレイルにもつながるため、対策が必要と思われる。(P46)
- 各種の集まりについて、「週1回」「月1回～3回」と回答した人の割合をコロナ前の1年間でこの1年間で比較したところ、ほとんどの圏域で減少している。一方で、集まりの種類によっては増加している圏域もあり、そういった圏域の状況を検証することで他の圏域にも有効な取り組みを広げられる可能性がある。(P52-56)
- 収入のある仕事の頻度について、85歳以上では、週4回以上と回答した割合が福部圏域で突出して高くなっている。週1～3回とやや頻度が高い人も含めると、福部に続いて河原・江山・佐治圏域の順に高くなっている。経済状況と照らしてみると、佐治・江山圏域は苦しいと回答した人が高くなっているものの、福部・河原圏域では上位ではない。(P58-59)

## 2 日常生活圏域別の傾向 (1/4)

圏域	傾向
東	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防・健康づくり等を目的とした集まりやスポーツをするための集まりに参加する人の割合は、各圏域の中でも高い傾向がある。さらに、健診受診している割合も高い傾向がみられることから、健康に対する個人の意識は高い傾向にあると考えられる。</li> <li>一方で、ボランティアや地域活動等の集まりに月1回以上の頻度で参加する人の割合がコロナ前後で減少していたり、近所づきあいなどがあまり活発ではない傾向がみられる。</li> <li>そのため、健康づくりを目的とした住民同士の交流を活発にすることで、地域の活性化や幸福度の向上につなげることができると考えられる。</li> </ul>
西	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族や近所とのかかわりがやや薄くなっている傾向が見られ、また健診を毎年受けていると回答する割合も、やや低い傾向がある。</li> <li>物忘れを指摘されると回答する割合が若干高くなっているほか、認知症を有していると回答している割合が最も高くなっているものの、介護予防・認知症予防・健康づくり等を目的とした集まりに「参加していない」と回答した割合がワースト2位となっていることから、認知症対策事業の周知と充実が必要と思われる。</li> </ul>
南	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回以上外出する人の割合は高い傾向があるものの、近所づきあいはあまり活発ではない。また、体調について身近に相談できる人がいないと回答した割合が最も高くなっていることも、女性の幸福度がやや低くなっている一因と思われる。</li> <li>BMIで見ると低体重や肥満の割合がやや高くなっているほか、汁物等でむせることがあると回答した割合がやや高い傾向にあるため、食事に関連した啓発が必要と思われる。</li> </ul>
北	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済的にゆとりがあると感じている人の割合が最も高く、幸福度は男女とも3位と高くなっている。</li> <li>ウォーキング等の運動を週に1回以上していると回答した人の割合が高い傾向にあるが、低体重や肥満に該当する人も高い傾向にある。</li> <li>近所の人との関係もやや薄い傾向がみられるため、ご近所同士で参加するウォーキングイベントなどを開催することで、強みを活かし弱みを改善することができるかもしれない。</li> </ul>

## 2 日常生活圏域別の傾向 (2/4)

圏域	傾向
江山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的に苦しいと回答している人の割合が高い傾向にあり、そのためか幸福度は女性が全体で最も低く、男性もワースト3位と低くなっている。</li> <li>・ また、85歳以上で月1回以上仕事をしている人の割合が3番目に高くなっている。</li> <li>・ 健診を毎年受診していると回答した人の割合は平均的だが、現在たばこを吸っている人の割合は最も高く、ウォーキング等の運動を週に1回以上行っている人の割合が低かったり、各種の集まりに月1回以上参加する人の割合がコロナ前後で減少する傾向がやや高めに見られるため、健康に対する意識はあまり高くないものと考えられる。</li> <li>・ そのため、禁煙による健康面と経済面のメリットを啓発することが考えられる。</li> </ul>
高草	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウォーキング等の運動を週に1回以上している人の割合がやや低い傾向にあり、BMIでは肥満の割合が高めになっている。</li> <li>・ 周囲から物忘れを指摘されたり、日付がわからない時があると回答する人の割合が高い傾向にあり、認知症を持っている人の割合もやや高くなっている。</li> <li>・ 健診受診の割合や喫煙者の割合は平均的で、健康に対する意識は低くないと思われるが、認知機能に課題が見える中、介護予防・認知症予防・健康づくり等を目的とした集まりに月1回以上参加する割合はコロナ前後で3%減少しており江山圏域に次ぐ減少幅となっている。</li> <li>・ このことから、まずは認知症対策を中心とした集まりに参加する人を増やしていくことが重要と思われる。</li> </ul>
湖東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的にゆとりがあると感じている人の割合がやや高くなっており、そのためか毎日の生活に満足している人の割合も高い傾向がみられる。</li> <li>・ 各種の集まりに月1回以上参加する人の割合は減少傾向がみられるものの、減少幅はさほど大きくなく、他圏域と比較しても参加率は悪くないことから、集まりへの参加が定着しているものと思われる。</li> <li>・ 一方で、健診を受けている人の割合はあまり高くなく、喫煙者の割合がやや高いことや、BMIで肥満に該当する人の割合が高くなっていることから、健診受診勧奨を軸にした健康啓発が必要と思われる。</li> </ul>
湖南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的に苦しいと回答した人の割合が高い傾向にあり、毎日の生活に不満を感じている人の割合が最も高くなっている。</li> <li>・ 幸福度は、女性は平均的だが、男性は最も低くなっている。</li> <li>・ 健診受診の割合が低く、たばこを吸っている人の割合も高い傾向がある。</li> <li>・ またウォーキング等の運動を週に1回以上している人の割合は低くなっており、歩く速さの低下や転倒経験があると回答した人の割合も高くなっていることから、歩行機能に関連したリスクが高いものと考えられる。</li> <li>・ 一方で、介護予防等を目的とした集まりや、サロン等の集まりに月1回以上参加する人の割合はコロナ前より上昇していることから、この流れを維持し、それらの集まりを通じて歩行のリスク改善や健康啓発を行うことが有効と思われる。</li> </ul>
桜ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健診を年1回程度受診している人の割合がやや低かったり、たばこを吸っている人の割合が若干高いものの、全体としては平均的かやや良い傾向がみられる。</li> <li>・ ウォーキング等の運動を週1回以上行っている人の割合や、スポーツをするための集まりに週1回以上参加する人の割合が最も高くなっており、歩行スピードの低下を感じる人や転倒経験者の割合はやや低くなっている。</li> <li>・ 運動事業が効果をあげていると考えられるが、近所同士の交流がやや低いため、スポーツのための集まりを住民同士の交流の活性化につなげることで、幸福度の向上が期待できる。</li> </ul>

## 2 日常生活圏域別の傾向 (3/4)

圏域	傾向
中ノ郷	<ul style="list-style-type: none"> <li>幸福度について、男性は2番目に高くなっているが女性は11番目と平均的。</li> <li>介護予防等を目的とした集まりや、スポーツ等を目的とした集まりに参加する割合が高く、ウォーキング等の運動を週に1回以上している人の割合も高い傾向にある。そのためか、歩行スピードの低下を感じる人や、この1年間に転んだことがあると回答した人の割合が低くなっている。</li> <li>しかし、BMIで見ると肥満に該当する割合がやや高くなっているため、現在運動等に取り組んでいない人を巻き込む必要があると思われる。</li> <li>また、物忘れを指摘されたことがある人や、日付がわからない時がある人の割合がやや高くなっており、認知症であると回答した人の割合も高くなっていることから、認知機能のリスクが高いものと考えられる。</li> </ul>
国府	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態がよいと認識している人の割合と、毎日の生活に満足している人の割合がともに最も高くなっているが、幸福度は男性6位、女性10位とあまり高くない。</li> <li>年に1回程度健診を受けている人の割合も高いが、BMIで見ると肥満に該当する人の割合が高い。</li> <li>また、介護予防・認知症予防・健康づくり等を目的とした集まりに週1回以上参加する人の割合が高くなっているが、認知症と回答した人の割合が高くなっている。</li> <li>その他の各種集まりも参加している人の割合は低くない傾向がみられるため、そういった機会を捉えて健診結果活用の啓発や、認知機能改善の取り組みを効果的に組み込むことにより、リスク解消と幸福度の向上も期待できると思われる。</li> </ul>
福部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種の集まりに参加している人の割合はあまり高くない傾向がみられるものの、スポーツのための集まり、趣味等の集まり、ボランティア等の集まりなどで、コロナ前より月1回以上参加する人の割合は増加している。</li> <li>また、たばこを「やめた」と回答した人の割合が最も高くなっているため、健康に対する意識が高まっているのかもしれない。</li> <li>ただし、現状は、健康状態がよくないと認識している人の割合が高く、歩くのが遅くなってきたと感じている人や1年以内に転倒経験がある人の割合が高くなっている。また固いものが食べにくくなったり汁物等でむせることがあると回答した割合も高くなっている。</li> <li>その影響もあってか、幸福度も男女とも17位と非常に低くなっている。</li> <li>まずは各種集まりへの参加者増加の流れを維持しつつ、歩行機能や口腔機能に関する啓発などを実施することが有効と思われる。</li> </ul>
河原	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふだんから家族や友人との付き合いがあると回答した人の割合が高く、近所の人とお互い訪問したり立ち話すると回答する人の割合も高いことから、人間関係が良好であることがうかがえる。</li> <li>歩行速度の低下を感じる人は多くないが、この1年間に転倒経験のある人はやや多くなっている。</li> <li>収入のある仕事をしている人の割合が高く、85歳以上で月1回以上仕事をする人の割合は最も高い。</li> <li>各種の集まりに月1回以上参加している人の割合はあまり高くないため、円滑な人間関係を活かして参加者を募ることが有効と思われる。</li> </ul>
用瀬	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態がよいと感じている人の割合が高く、毎日の生活に満足している人の割合もやや高くなっている。</li> <li>趣味等の集まりや、サロン等の集まりに月1回以上参加している人の割合が最も高く、その他の集まりも高めの傾向がみられる。</li> <li>また、普段から家族や友人と付き合いがあると回答した人の割合も最も高く、他の人たちから取り残されていると感じている人は少ない。</li> <li>その影響もあってか、男性の幸福度は最も高くなっている。</li> <li>年に1回程度健診を受診している人の割合は最も高いが、BMIで肥満に該当する人が若干高くなっている。</li> <li>現在の状況を維持・向上させていくことが必要と思われる。</li> </ul>

## 2 日常生活圏域別の傾向（4/4）

圏域	傾向
佐治	<ul style="list-style-type: none"> <li>• たばこを吸っている人の割合は最も低い。</li> <li>• 近所の人と互いに訪問したり立ち話をする回答した割合が最も高く、サロン等に月1回以上参加している人の割合も高かった。</li> <li>• また、介護予防や健康づくり等を目的とした集まりに月1回以上参加している人の割合がコロナ前より増加しており、割合も最も高くなっている。</li> <li>• しかし、ウォーキング等の運動を週に1回以上行っている人の割合は最も低く、この1年の転倒経験者も割合が高くなっているほか、口腔機能の低下を感じている人の割合も高くなっている。</li> <li>• 経済的に苦しいと回答した割合が高く、85歳以上で仕事をしている人の割合も高いことから、仕事の合間を縫って参加できる健康教室などを実施することが有効と思われる。</li> </ul>
気高	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 幸福度について、女性は2番目に高くなっているが、男性は14番目と大きく差がある。</li> <li>• ボランティア等の集まりや、サロン等の集まりに月1回以上の頻度で参加している割合は、いずれもコロナ前と比べて減少している。</li> <li>• また、週に1回以上の外出をしない人の割合が高い傾向にある。</li> <li>• 物忘れを指摘されたり、日付が分からなくなると回答した割合が高くなっており、認知症があると回答した人の割合も高くなっていることから、認知機能が課題として考えられる。</li> </ul>
鹿野	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 毎日の生活に満足している人の割合が高く、経済的な苦しさを感じている人の割合は低い傾向にある。</li> <li>• 幸福度は女性で1番高くなっているものの、男性は13位とやや低くなっている。</li> <li>• 物忘れを指摘される人や日付がわからない時がある人の割合は低くなっている。</li> <li>• 各種の集まりに参加する割合は平均的だが、ボランティアや地域活動等の集まり、サロン等の集まりには参加する割合が高い傾向がみられることから、住民同士のつながりはある程度円滑に行われているものと思われる。</li> <li>• BMIで見ると肥満に該当する割合がやや高くなっている。</li> <li>• 目立った課題は見られないが、男性が楽しんで参加できる集まりを充実させることで、地域のつながりを活性化し、男性の幸福度を向上させることが期待できる。</li> </ul>
青谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 年に1回程度健診を受診している人の割合が高く、BMIでは低体重になる人の割合が高いものの、肥満に該当する割合は最も低かった。</li> <li>• 各種の集まりに参加する割合はいずれも平均的で、近所の人と訪問したり立ち話をする割合は高かったが、週に1回以上外出している人の割合は低い傾向にある。</li> <li>• 固いものが食べにくくなったり、汁物等でむせることがあると回答した割合が高くなっていることから、口腔機能の改善に関する啓発が重要と考えられる。</li> </ul>





